

## 5. 子ども手当の使途等

### (1) 調査期間中に実際使用された使途

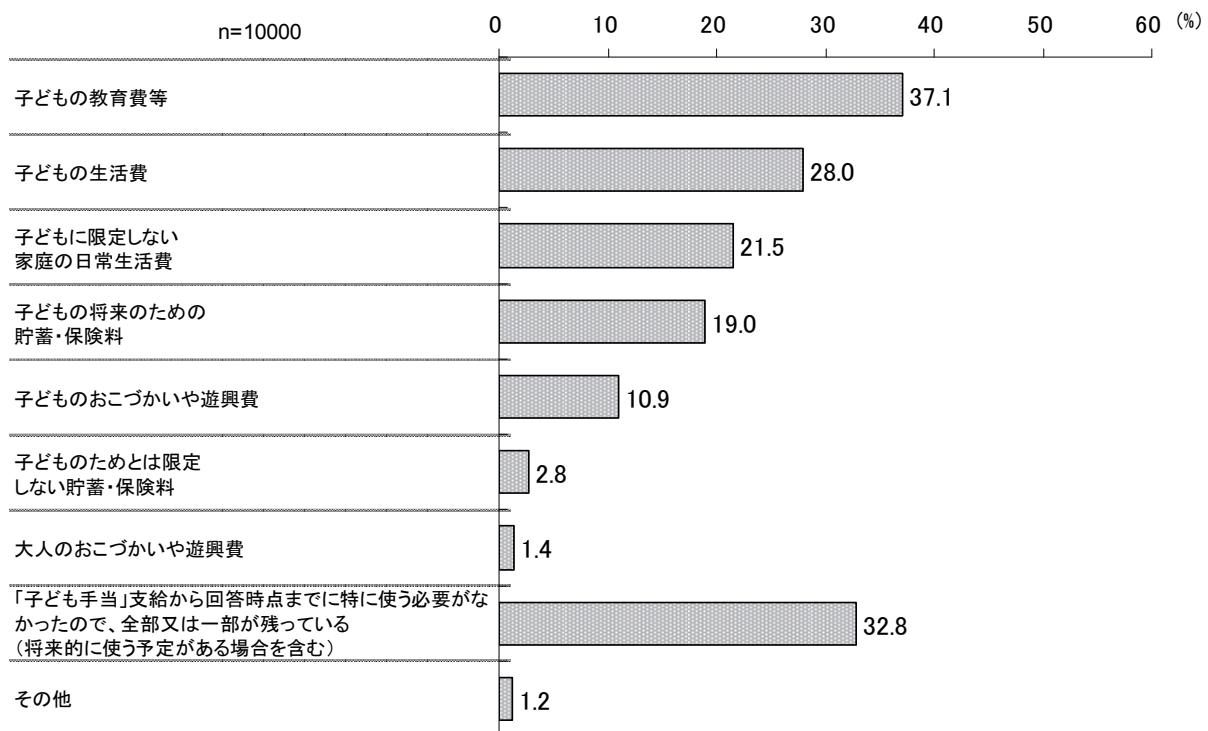
#### ① 全体

調査期間中（6月の子ども手当支給後から9月末日まで）に実際に使用された子ども手当の使途（複数回答）及び使途別の使用金額について、回答を得た。

使途について最も回答が多かったのは「子どもの教育費等」で37.1%、次いで、「子どもの生活費」（28.0%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」（21.5%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（19.0%）、「子どものおこづかいや遊興費」（10.9%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」（2.8%）、「大人のおこづかいや遊興費」（1.4%）と続いている。

一方で、「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）」と回答した人は32.8%となっている。これは、9月末時点で6月に支給された「子ども手当」が1円でも残っている人の割合であり、全額が残っている人の割合ではないことに留意されたい。残額がある人については、今後の使用予定についても別途聞いている。（78ページ参照。）

図表Ⅱ-5-1 子ども手当の使途（複数回答）



次に、使途別の使用金額の状況について見てみる。

本調査対象者（10,000人）への支給総額は4億5,007万3,000円となっている。支給総額の4億5,007万3,000円をサンプル数である10,000で除した額が平均支給額であり、45,007円となっている。使途別の使用金額の合計金額をサンプル数である10,000で除したものが使途別の平均金額となる（平均金額欄）。また、6月の支給期に満額（平成23年2月分から5月分までの4か月分、52,000円）の支給を受けた人（7,611人）のみを対象として、使途別の使用金額の合計金額をサンプル数である7,611人で除したものを、満額支給者の平均金額として記載している（平均金額 ※満額(52,000円)支給を受けた者欄）。

6月の支給期に満額（平成23年2月分から5月分までの4か月分、52,000円）の支給を受けた人（7,611人）の中で平均金額をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」で13,466円（25.9%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が7,946円（15.3%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が7,936円（15.3%）、「子どもの生活費」が5,855円（11.3%）、「子どものおこづかいや遊興費」が2,070円（4.0%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」が805円（1.5%）、「大人のおこづかいや遊興費」が236円（0.5%）の順となっている。

一方で、満額支給を受けた人における「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）の平均金額（残額の平均）は13,134円（25.3%）となっている。

図表Ⅱ-5-2 子ども手当の使途別金額

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 n=10,000	50000円未満	150000円未満	210000円未満	320000円未満	530000円未満	552000円未満	520000円	平均金額	平均金額		※平均金額 支給額を受けた者 (52000円)	
	回答者数	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	3,709	1.2	2.2	7.4	6.3	8.6	0.9	10.5	¥11,550	25.7%	¥13,466	25.9%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	2,146	1.4	1.2	4.4	3.3	4.0	0.2	7.1	¥6,638	14.7%	¥7,946	15.3%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	1,895	1.2	0.9	3.1	1.9	2.2	0.4	9.3	¥6,747	15.0%	¥7,936	15.3%
子どもの生活費	2,795	3.0	3.6	9.9	5.3	3.4	0.2	2.7	¥5,248	11.7%	¥5,855	11.3%
子どものおこづかいや遊興費	1,093	2.3	1.9	3.3	1.4	1.0	0.1	1.0	¥1,722	3.8%	¥2,070	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	280	0.4	0.3	0.7	0.3	0.2	0.1	0.8	¥706	1.6%	¥805	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	144	0.4	0.2	0.5	0.1	0.1	0.0	0.2	¥217	0.5%	¥236	0.5%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）	3,275	2.2	1.3	5.5	3.7	3.7	0.1	16.2	¥11,706	26.0%	¥13,134	25.3%
その他	117	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.6	¥472	1.0%	¥552	1.1%
計	15,454	12.1	11.6	34.7	22.4	23.5	2.0	48.3	¥45,007	100.0%	¥52,000	100.0%

## ② 長子学齢区分別

長子学齢区分別に子ども手当の使途をみると、長子の学齢が高くなるほど「子どもの教育費等」に使用している人が多くなる傾向がみられ、中学1～3年生は回答者の51.5%と半数を超えている。

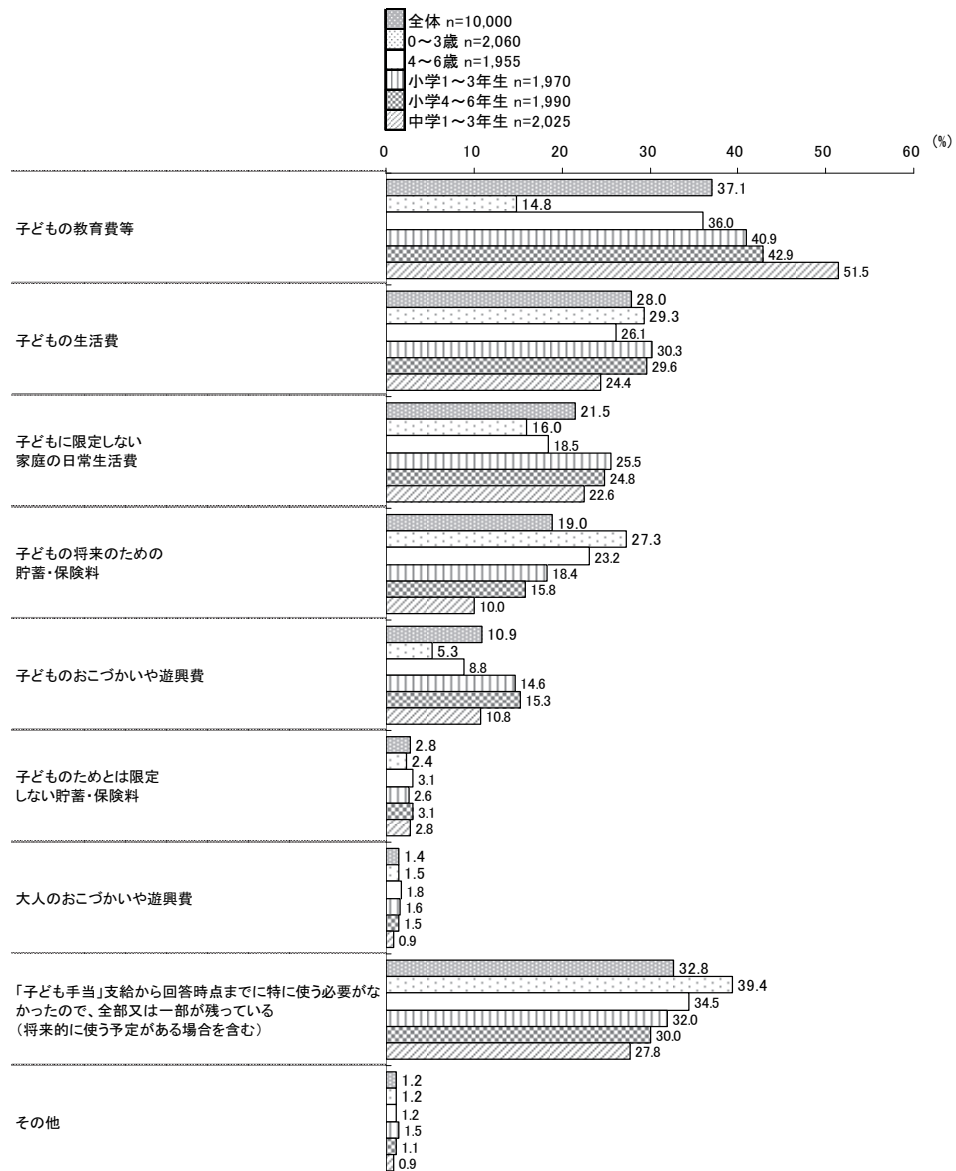
「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合は、長子学齢が低いほど高くなっている。0～3歳は27.3%で他の属性と比べ最も高く、中学1～3年生は10.0%と最も低い。0～3歳の方が中学1～3年生より17.3ポイント高くなっている。

「子どものおこづかいや遊興費」と「子どもに限定しない家庭の日常生活費」に関しては、小学生の割合が平均よりも高くなっている。

「大人のおこづかいや遊興費」は、いずれの学齢においても2%未満と極めて低い割合となっている。

「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、いずれの学齢においても3%台以下と低い割合となっている。

図表Ⅱ-5-3 長子学齢区分別の子ども手当の使途（複数回答）



次に使用金額（満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均、図表Ⅱ-5-5)についてみると、「子どもの教育費等」については、長子の学齢が高くなるほど使用金額が高くなっており、最も使用金額が高い中学1～3年生は20,741円に対して、最も使用金額が低い0～3歳は4,812円で、その差は15,929円である。逆に「子どもの将来のための貯蓄・保険料」については、長子の学齢が高くなるほど使用金額が低くなっており、最も使用金額が高い0～3歳は12,874円に対して、最も使用金額が低い中学1～3年生は3,818円で、その差は9,056円である。

その他、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」は、長子の学齢が小学生である場合に使用金額が高く、「子どもの生活費」は長子の学齢が高くなるほど使用金額が低くなる傾向がある。

また、「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）については、長子の学齢が高くなるほど額(未使用金額)が低くなっており、最も高い0～3歳は17,407円に対して、最も低い中学1～3年生は10,830円で、その差は6,577円である。

図表Ⅱ-5-4 長子学齢区分別の使用金額（平均金額\_全体）

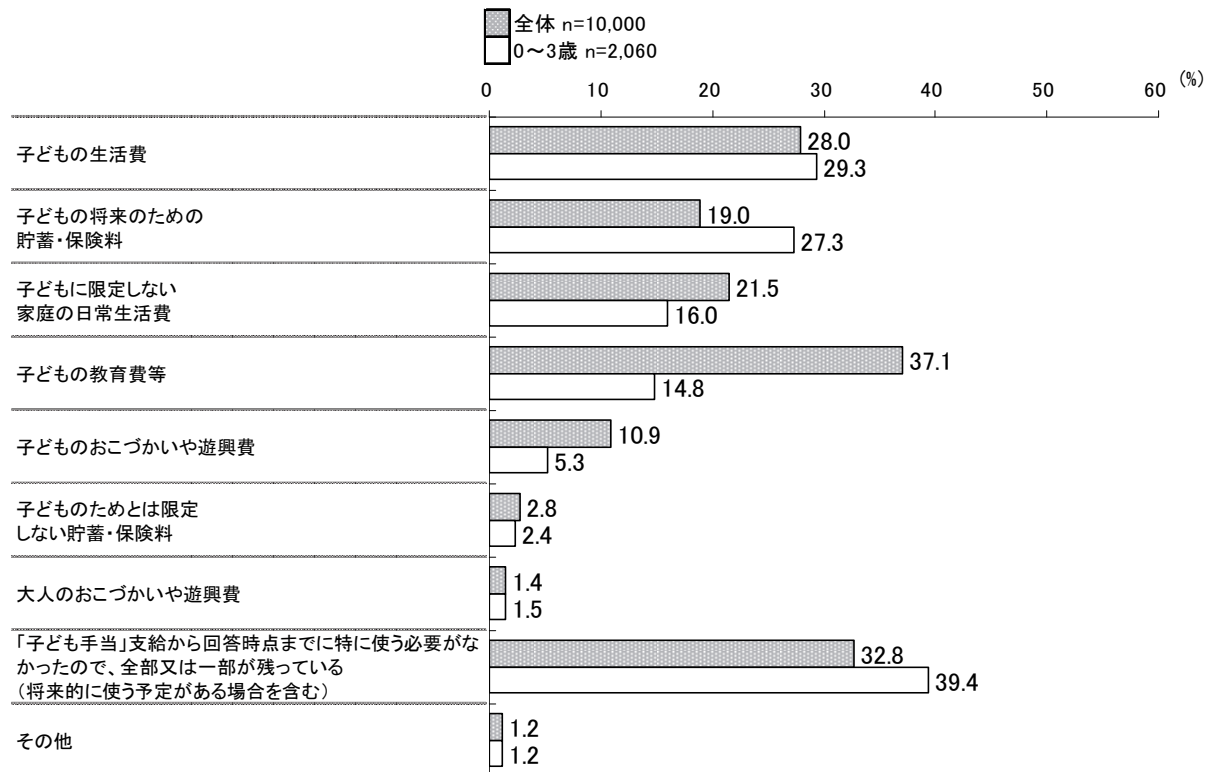
	0～3歳		4～6歳		小学1～3年生		小学4～6年生		中学1～3年生		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥3,949	9.3%	¥11,748	25.3%	¥11,639	25.4%	¥12,888	28.4%	¥17,691	39.4%	¥11,550	25.7%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥10,276	24.1%	¥8,670	18.7%	¥6,465	14.1%	¥5,011	11.1%	¥3,284	7.3%	¥6,747	15.0%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥4,977	11.7%	¥5,748	12.4%	¥7,783	17.0%	¥7,643	16.9%	¥7,084	15.8%	¥6,638	14.7%
子どもの生活費	¥6,821	16.0%	¥4,744	10.2%	¥5,100	11.1%	¥5,333	11.8%	¥4,194	9.3%	¥5,248	11.7%
子どものおこづかいや遊興費	¥857	2.0%	¥1,260	2.7%	¥2,256	4.9%	¥2,648	5.8%	¥1,620	3.6%	¥1,722	3.8%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥605	1.4%	¥697	1.5%	¥581	1.3%	¥821	1.8%	¥828	1.8%	¥706	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	¥231	0.5%	¥267	0.6%	¥246	0.5%	¥180	0.4%	¥164	0.4%	¥217	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥14,446	33.9%	¥12,836	27.6%	¥11,138	24.3%	¥10,405	23.0%	¥9,659	21.5%	¥11,706	26.0%
その他	¥479	1.1%	¥504	1.1%	¥602	1.3%	¥403	0.9%	¥377	0.8%	¥472	1.0%
全体	¥42,641	100.0%	¥46,474	100.0%	¥45,810	100.0%	¥45,332	100.0%	¥44,901	100.0%	¥45,007	100.0%

図表Ⅱ-5-5 長子学齢区分別の使用金額（平均金額\_満額(=52,000円)の支給を受けた者）

	0～3歳		4～6歳		小学1～3年生		小学4～6年生		中学1～3年生		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥4,812	9.3%	¥13,216	25.4%	¥13,288	25.6%	¥14,742	28.4%	¥20,741	39.9%	¥13,466	25.9%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥6,174	11.9%	¥6,692	12.9%	¥9,190	17.7%	¥9,222	17.7%	¥8,370	16.1%	¥7,946	15.3%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥12,874	24.8%	¥9,930	19.1%	¥7,581	14.6%	¥5,734	11.0%	¥3,818	7.3%	¥7,936	15.3%
子どもの生活費	¥8,036	15.5%	¥5,240	10.1%	¥5,568	10.7%	¥5,896	11.3%	¥4,690	9.0%	¥5,855	11.3%
子どものおこづかいや遊興費	¥1,118	2.2%	¥1,454	2.8%	¥2,636	5.1%	¥3,175	6.1%	¥1,919	3.7%	¥2,070	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥683	1.3%	¥803	1.5%	¥640	1.2%	¥899	1.7%	¥992	1.9%	¥805	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	¥263	0.5%	¥289	0.6%	¥266	0.5%	¥185	0.4%	¥174	0.3%	¥236	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥17,407	33.5%	¥13,858	26.7%	¥12,185	23.4%	¥11,644	22.4%	¥10,830	20.8%	¥13,134	25.3%
その他	¥633	1.2%	¥516	1.0%	¥645	1.2%	¥504	1.0%	¥465	0.9%	¥552	1.1%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%

長子学齢区分 0～3 歳の使途についてみると、「子どもの生活費」が 29.3%で最も高い。次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(27.3%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(16.0%)、「子どもの教育費等」(14.8%)、「子どものおこづかいや遊興費」(5.3%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.4%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.5%)と続いている。

図表 II-5-6 長子学齢区分別の子ども手当の使途\_0～3 歳 (複数回答)



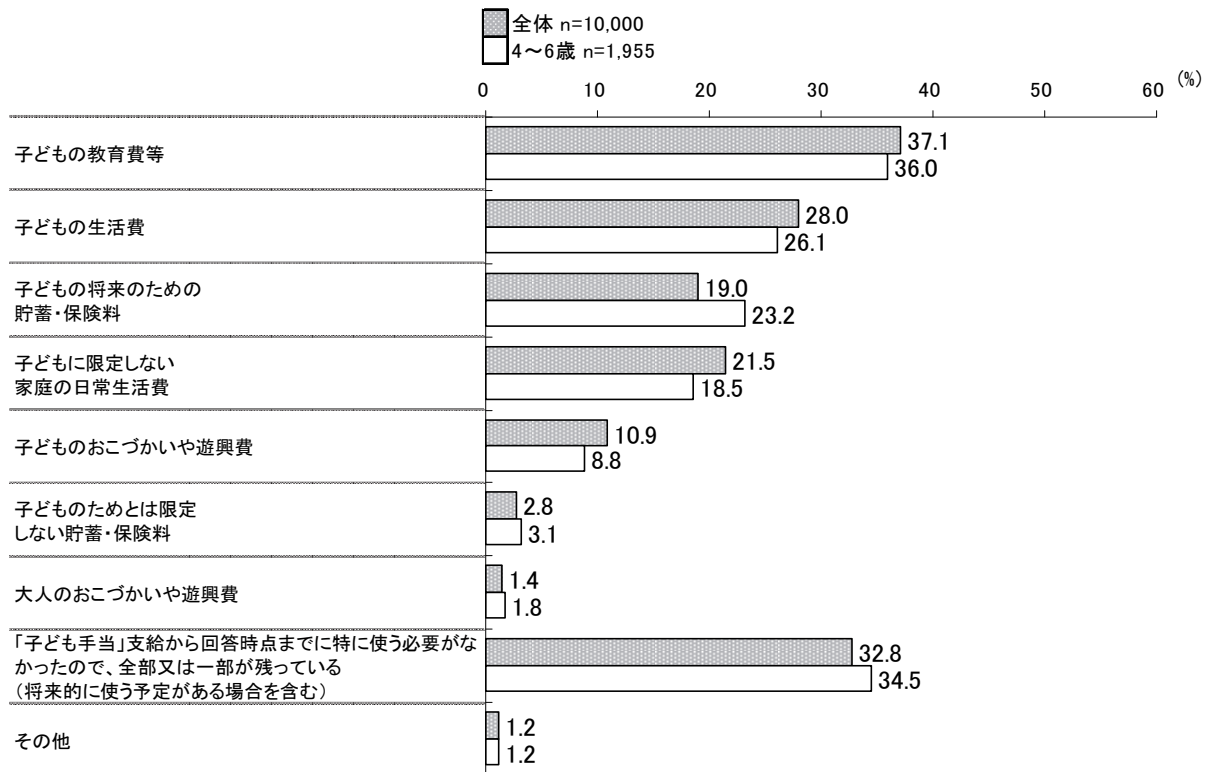
用途別の使用金額（長子学齢 0～3 歳の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 12,874 円 (24.8%)、次いで、「子どもの生活費」が 8,036 円 (15.5%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が 6,174 円 (11.9%)、「子どもの教育費等」が 4,812 円 (9.3%) という順になっている。

図表 II-5-7 長子学齢区分別の子ども手当の用途別金額\_0～3 歳

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (長子学齢区分別_0～3歳) n=2,060	5 0 0 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を受けた者 (52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの将来のための貯蓄・保険料	562	0.6	0.9	5.1	2.6	3.3	0.6	14.2	¥10,276	24.1%	¥12,874	24.8%
子どもの生活費	604	1.8	2.7	10.0	5.0	4.5	0.2	5.0	¥6,821	16.0%	¥8,036	15.5%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	330	1.0	1.0	3.0	2.3	3.5	0.1	5.0	¥4,977	11.7%	¥6,174	11.9%
子どもの教育費等	304	1.2	1.0	3.6	2.4	3.3	0.1	3.1	¥3,949	9.3%	¥4,812	9.3%
子どものおこづかいや遊興費	109	1.0	0.8	1.8	0.7	0.6	0.0	0.4	¥857	2.0%	¥1,118	2.2%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	49	0.3	0.2	0.6	0.2	0.3	0.0	0.6	¥605	1.4%	¥683	1.3%
大人のおこづかいや遊興費	30	0.2	0.4	0.4	0.0	0.1	-	0.2	¥231	0.5%	¥263	0.5%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	811	2.0	1.1	7.4	3.9	4.4	0.3	20.2	¥14,446	33.9%	¥17,407	33.5%
その他	25	0.0	0.1	0.1	-	0.3	0.1	0.5	¥479	1.1%	¥633	1.2%
計	2,824	8.3	8.3	32.1	17.2	20.3	1.6	49.3	¥42,641	100.0%	¥52,000	100.0%

長子学齢区分 4～6 歳の使途をみると、「子どもの教育費等」が 36.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(26.1%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(23.2%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(18.5%)、「子どものおこづかいや遊興費」(8.8%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.1%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.8%) と続いている。

図表 II-5-8 長子学齢区分別の子ども手当の使途\_4～6 歳 (複数回答)





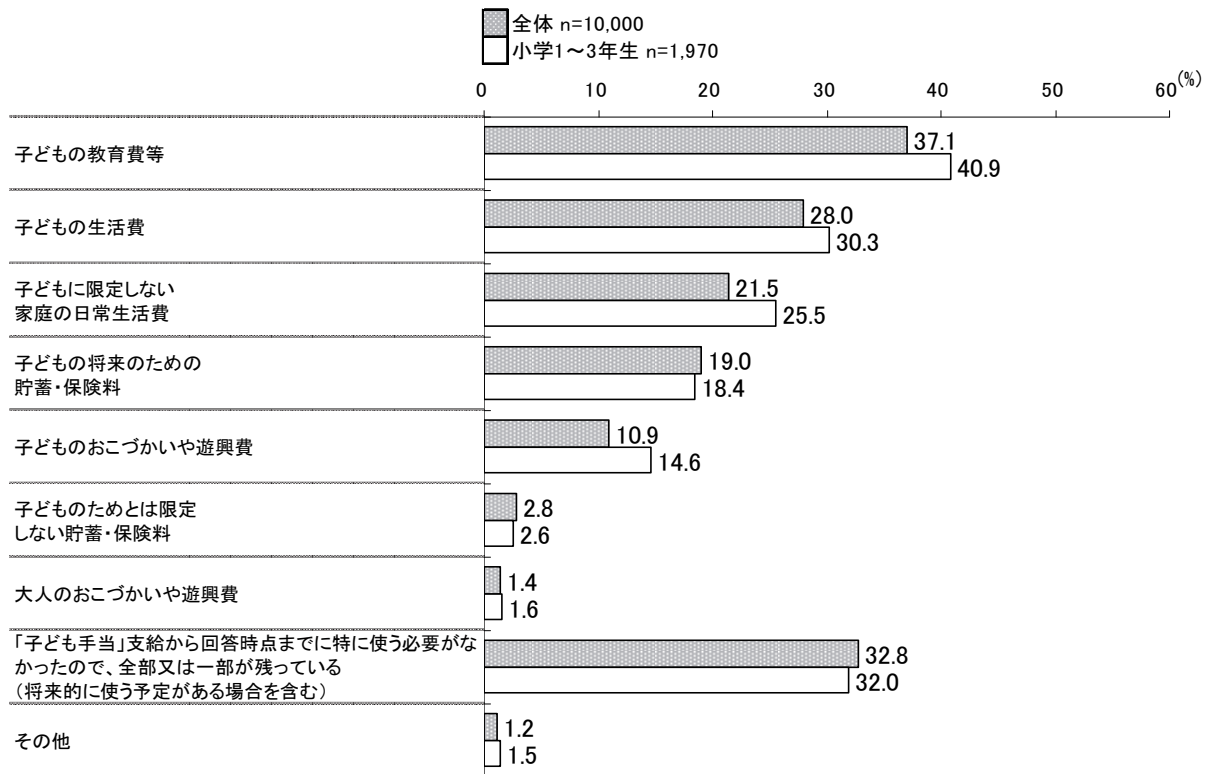
使途別の使用金額（長子学齢 4～6 歳の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」が 13,216 円 (25.4%)、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 9,930 円 (19.1%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が 6,692 円 (12.9%)、「子どもの生活費」が 5,240 円 (10.1%) という順になっている。

図表 II-5-9 長子学齢区分別の子ども手当の使途別金額\_4～6 歳

・金額割合、平均金額の母数は子ども手当支給者(長子学齢区分別_4～6歳) n=1,955	5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円未満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 円未満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 円未満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円未満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 円未満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 円未満	5 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
								回答者数				
子どもの教育費等	703	1.4	2.0	5.8	5.5	9.1	1.1	11.1	¥11,748	25.3%	¥13,216	25.4%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	453	1.3	1.0	3.2	1.8	2.9	0.4	12.4	¥8,670	18.7%	¥9,930	19.1%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	362	1.3	0.9	4.1	2.5	2.7	0.1	6.9	¥5,748	12.4%	¥6,692	12.9%
子どもの生活費	511	3.1	3.8	9.5	4.0	3.1	0.4	2.3	¥4,744	10.2%	¥5,240	10.1%
子どものおこづかいや遊興費	173	2.3	1.6	2.4	1.2	0.7	-	0.7	¥1,260	2.7%	¥1,454	2.8%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	61	0.7	0.4	0.7	0.3	0.2	0.1	0.8	¥697	1.5%	¥803	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	35	0.7	0.2	0.4	0.2	0.2	-	0.2	¥267	0.6%	¥289	0.6%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	674	1.8	1.4	5.4	3.6	3.8	0.2	18.3	¥12,836	27.6%	¥13,858	26.7%
その他	23	-	-	0.1	0.1	0.3	0.1	0.7	¥504	1.1%	¥516	1.0%
計	2,995	12.6	11.3	31.5	19.2	22.9	2.3	53.4	¥46,474	100.0%	¥52,000	100.0%

長子学齢区分小学1～3年生の使途についてみると、「子どもの教育費等」が40.9%で最も高い。次いで「子どもの生活費」(30.3%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(25.5%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(18.4%)、「子どものおこづかいや遊興費」(14.6%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.6%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.6%)と続いている。

図表Ⅱ-5-10 長子学齢区分別の子ども手当の使途\_小学1～3年生(複数回答)



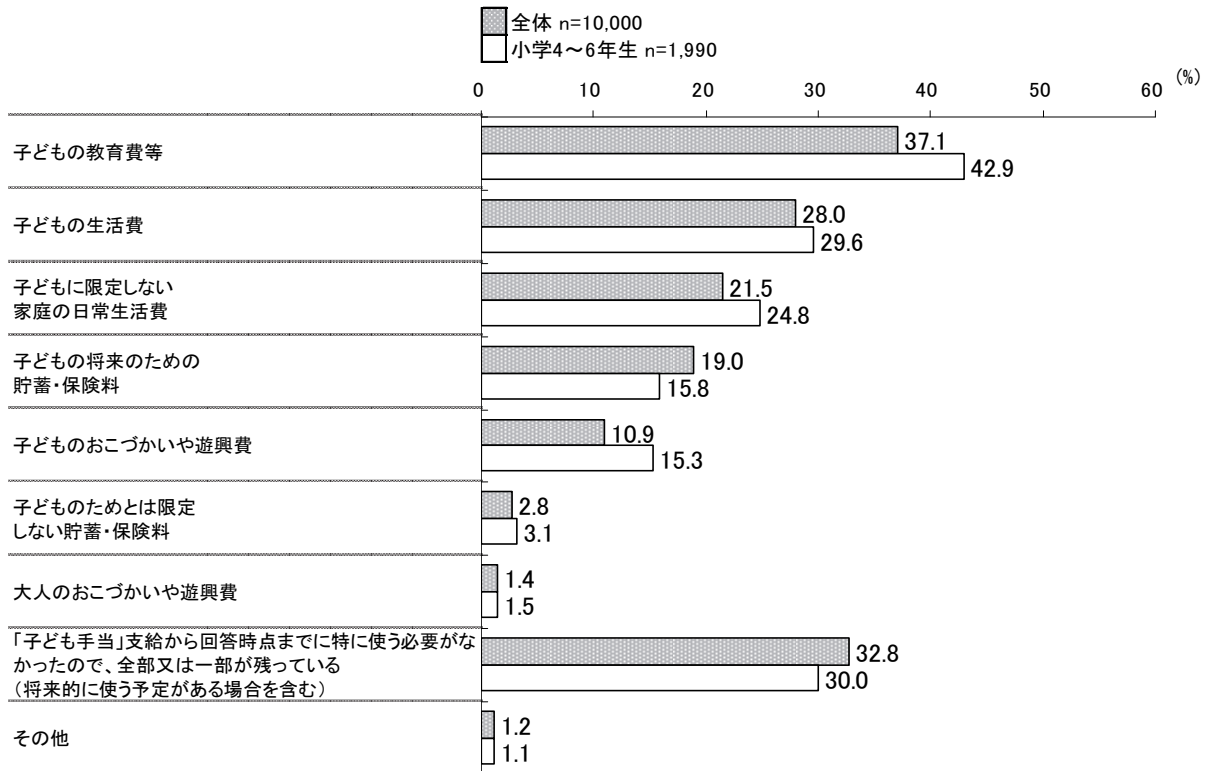
用途別の使用金額（長子学齡小学 1～3 年生の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」が 13,288 円 (25.6%)、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が 9,190 円 (17.7%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 7,581 円 (14.6%)、「子どもの生活費」が 5,568 円 (10.7%) という順になっている。

図表Ⅱ-5-11 長子学齡区分別の子ども手当の用途別金額\_小学 1～3 年生

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (長子学齡区分別_ 小学1～3年生) n=1,970	5 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を受けた者 (52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	806	0.9	3.1	9.9	8.2	9.3	0.9	8.7	¥11,639	25.4%	¥13,288	25.6%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	503	1.8	1.2	5.1	3.7	5.6	0.4	7.7	¥7,783	17.0%	¥9,190	17.7%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	362	1.6	1.0	2.4	1.9	2.2	0.5	8.7	¥6,465	14.1%	¥7,581	14.6%
子どもの生活費	596	3.9	3.9	11.4	5.9	3.1	0.2	1.9	¥5,100	11.1%	¥5,568	10.7%
子どものおこづかいや 遊興費	288	2.9	2.6	4.7	1.9	1.2	0.1	1.3	¥2,256	4.9%	¥2,636	5.1%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	51	0.5	0.6	0.3	0.4	0.1	-	0.8	¥581	1.3%	¥640	1.2%
大人のおこづかいや 遊興費	31	0.2	0.2	0.8	0.2	0.1	0.1	0.1	¥246	0.5%	¥266	0.5%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	630	2.7	1.5	4.9	3.7	4.0	0.2	15.0	¥11,138	24.3%	¥12,185	23.4%
その他	29	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	-	0.9	¥602	1.3%	¥645	1.2%
計	3,296	14.5	14.1	39.6	25.9	25.9	2.2	45.1	¥45,810	100.0%	¥52,000	100.0%

長子学齢区分小学4～6年生の使途についてみると、「子どもの教育費等」が42.9%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(29.6%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(24.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(15.8%)、「子どものおこづかいや遊興費」(15.3%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.1%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.5%)と続いている。

図表Ⅱ-5-12 長子学齢区分別の子ども手当の使途\_小学4～6年生(複数回答)



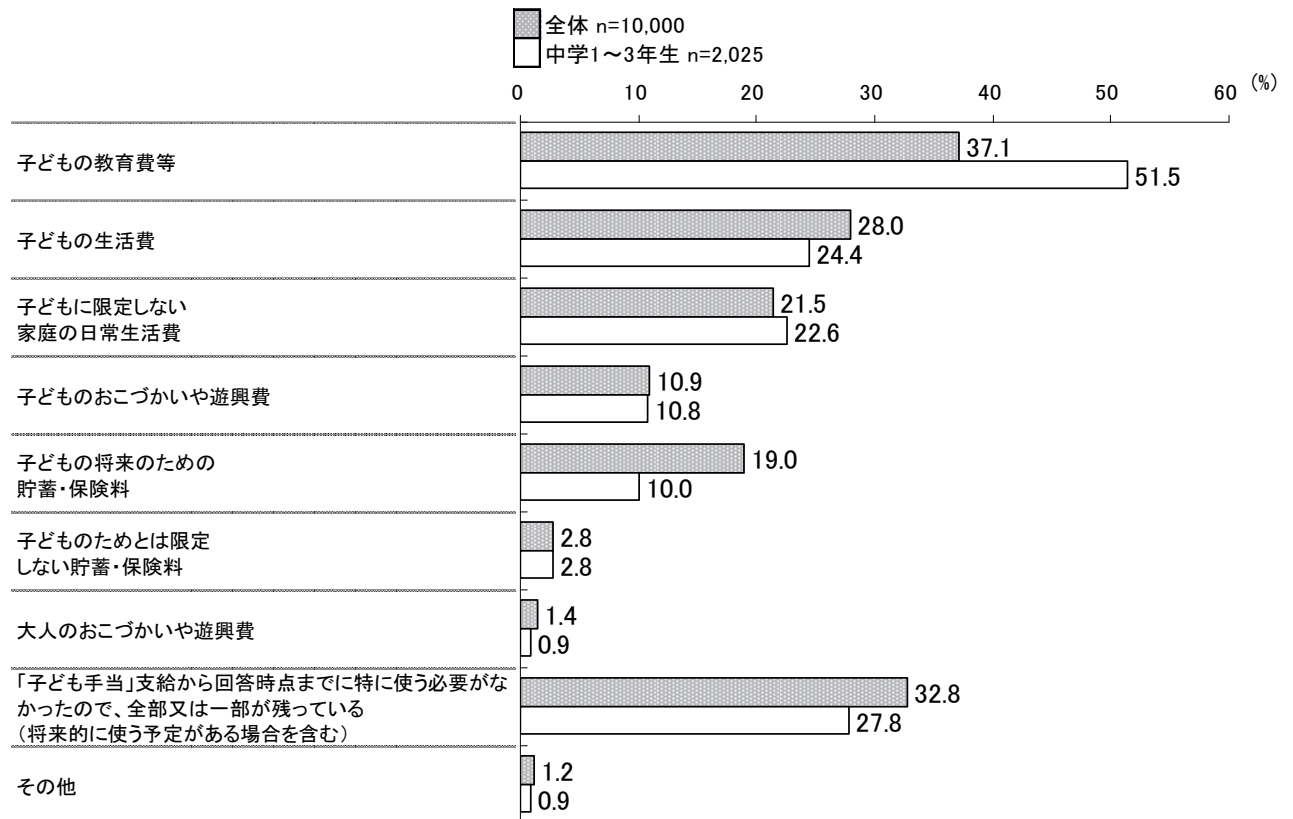
用途別の使用金額（長子学齢小学 4～6 年生の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」が 14,742 円 (28.4%)、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が 9,222 円 (17.7%)、「子どもの生活費」が 5,896 円 (11.3%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 5,734 円 (11.0%) という順になっている。

図表 II-5-13 長子学齢区分別の子ども手当の用途別金額\_小学 4～6 年生

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (長子学齢区分別_ 小学4～6年生) n=1,990	5 0 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	854	1.5	2.8	9.2	7.7	9.4	1.0	11.4	¥12,888	28.4%	¥14,742	28.4%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	494	1.3	1.5	5.0	4.2	4.7	0.2	8.0	¥7,643	16.9%	¥9,222	17.7%
子どもの生活費	589	2.8	4.1	10.7	6.1	3.7	0.1	2.2	¥5,333	11.8%	¥5,896	11.3%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	315	1.7	1.0	2.7	2.2	1.6	0.4	6.5	¥5,011	11.1%	¥5,734	11.0%
子どものおこづかいや 遊興費	305	3.0	2.1	4.7	2.2	2.0	0.1	1.4	¥2,648	5.8%	¥3,175	6.1%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	62	0.3	0.2	1.0	0.5	0.3	0.1	0.8	¥821	1.8%	¥899	1.7%
大人のおこづかいや 遊興費	30	0.6	0.1	0.5	0.1	0.2	-	0.1	¥180	0.4%	¥185	0.4%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	597	2.3	1.5	4.7	3.9	3.4	0.1	14.2	¥10,405	23.0%	¥11,644	22.4%
その他	22	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	-	0.6	¥403	0.9%	¥504	1.0%
計	3,268	13.5	13.1	38.5	27.0	25.2	1.8	45.0	¥45,332	100.0%	¥52,000	100.0%

長子学齢区分中学1～3年生の使途についてみると、「子どもの教育費等」が51.5%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(24.4%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(22.6%)、「子どものおこづかいや遊興費」(10.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(10.0%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.8%)、「大人のおこづかいや遊興費」(0.9%)と続いている。

図表Ⅱ-5-14 長子学齢区分別の子ども手当の使途\_中学1～3年生(複数回答)



用途別の使用金額（長子学齢中学 1～3 年生の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」が 20,741 円 (39.9%)、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が 8,370 円 (16.1%)、「子どもの生活費」が 4,690 円 (9.0%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 3,818 円 (7.3%) という順になっている。

図表 II-5-15 長子学齢区分別の子ども手当の用途別金額\_中学 1～3 年生

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (長子学齢区分別_ 中学1～3年生) n=2,025	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額金額 を受けた者 (52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	1,042	1.3	1.8	8.6	7.7	12.0	1.5	18.4	¥17,691	39.4%	¥20,741	39.9%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	457	1.4	1.2	4.5	3.9	3.5	0.3	7.8	¥7,084	15.8%	¥8,370	16.1%
子どもの生活費	495	3.5	3.5	7.8	5.1	2.7	0.2	1.7	¥4,194	9.3%	¥4,690	9.0%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	203	0.9	0.5	1.9	1.1	1.0	0.0	4.5	¥3,284	7.3%	¥3,818	7.3%
子どものおこづかいや 遊興費	218	2.5	2.4	3.0	0.9	0.7	0.1	1.1	¥1,620	3.6%	¥1,919	3.7%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	57	0.2	0.2	0.7	0.3	0.1	0.0	1.1	¥828	1.8%	¥992	1.9%
大人のおこづかいや 遊興費	18	0.2	0.1	0.2	0.1	-	-	0.2	¥164	0.4%	¥174	0.3%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	563	1.9	1.3	4.9	3.5	3.1	-	13.1	¥9,659	21.5%	¥10,830	20.8%
その他	18	0.0	-	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5	¥377	0.8%	¥465	0.9%
計	3,071	11.9	11.2	31.8	22.6	23.3	2.3	48.6	¥44,901	100.0%	¥52,000	100.0%

### ③ 世帯年収階級別

世帯年収階級別に子ども手当の使途をみると、世帯年収が低くなるほど「子どもの生活費」や「子どもに限定しない家庭の日常生活費」といった“生活費”の使用者が高くなる傾向が顕著である。「子どもの生活費」については、最も高い300万円未満が37.4%に対して、最も低い1,000万円以上が20.1%で、その差は17.3%である。「子どもに限定しない家庭の日常生活費」については、最も高い300万円未満が31.4%に対して、最も低い1,000万円以上が12.4%で、その差は19.0%である。また、「子どものおこづかいや遊興費」も世帯年収が低くなるほど回答割合が高くなる傾向が若干みられる。逆に、「子どもの教育費等」は世帯年収が高くなるほど回答割合が高くなる傾向が若干みられる。

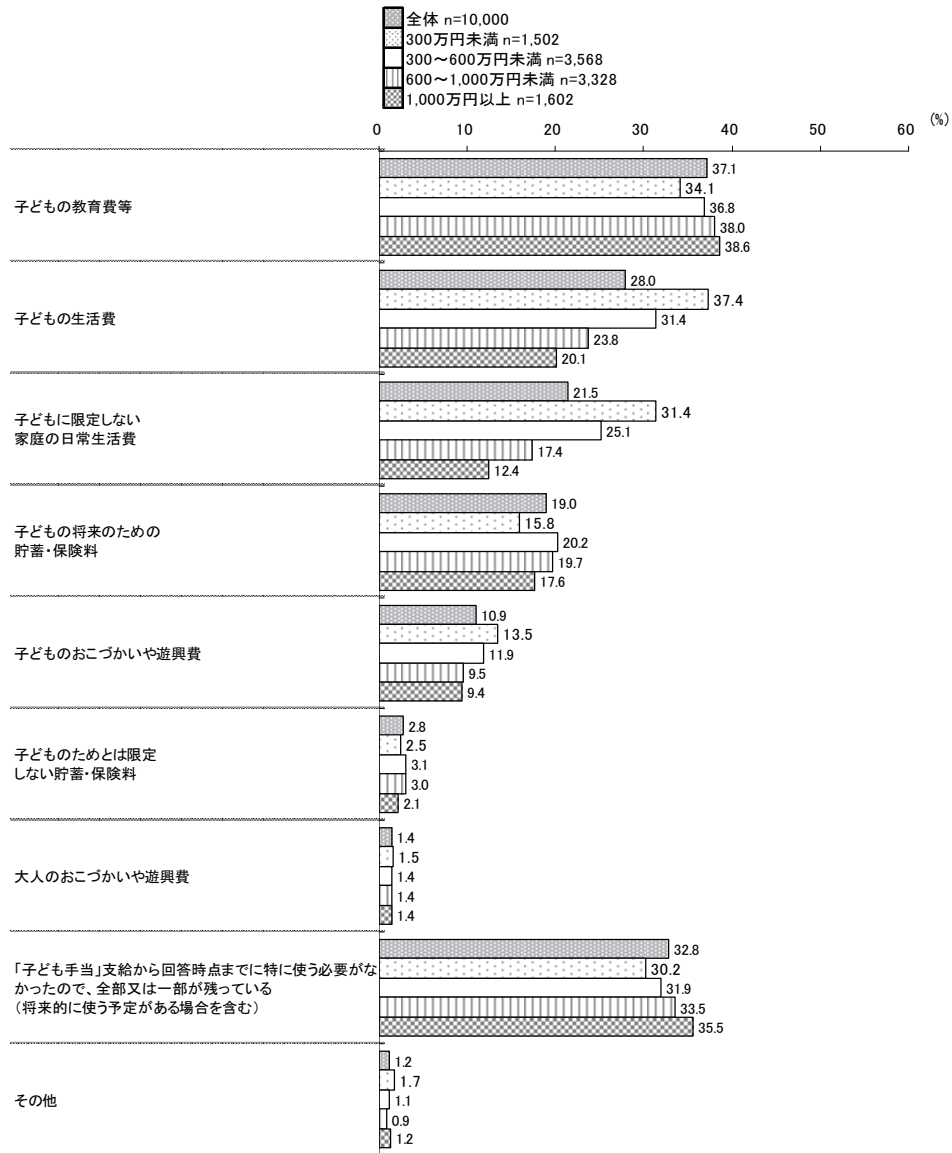
「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合は、300～600万円未満が20.2%で他の属性と比べ最も高く、次いで600～1,000万円未満(19.7%)、1,000万円以上(17.6%)、300万円未満は15.8%で最も低い。最も高い300～600万円未満の方が最も低い300万円未満より4.4ポイント高い。

「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、いずれも3%台以下である。

「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む)については、世帯年収が高くなるほど回答割合も高い傾向となっている。



図表Ⅱ-5-16 世帯年収階級別の子ども手当の使途（複数回答）



世帯年収階級別に子ども手当の用途別使用金額（満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均、図表Ⅱ-5-18)をみると、「子どもの教育費等」は、長子の学齢が高くなるほど、使用金額が高くなっているのに対して、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」と「子どもの生活費」は、世帯年収が低くなるほど使用金額が高くなっている。

「子どもの教育費等」では、最も使用金額が高い1,000万円以上は15,539円に対して、最も使用金額が低い300万円未満は11,159円で、その差は4,380円である。「子どもに限定しない家庭の日常生活費」では、最も使用金額が高い300万円未満は11,564円に対して、最も使用金額が低い1,000万円以上は4,697円で、その差は6,867円である。「子どもの生活費」では、最も使用金額が高い300万円未満は8,168円に対して、最も使用金額が低い1,000万円以上は4,265円で、その差は3,903円である。

図表Ⅱ-5-17 世帯年収階級別の使用金額（平均金額\_全体）

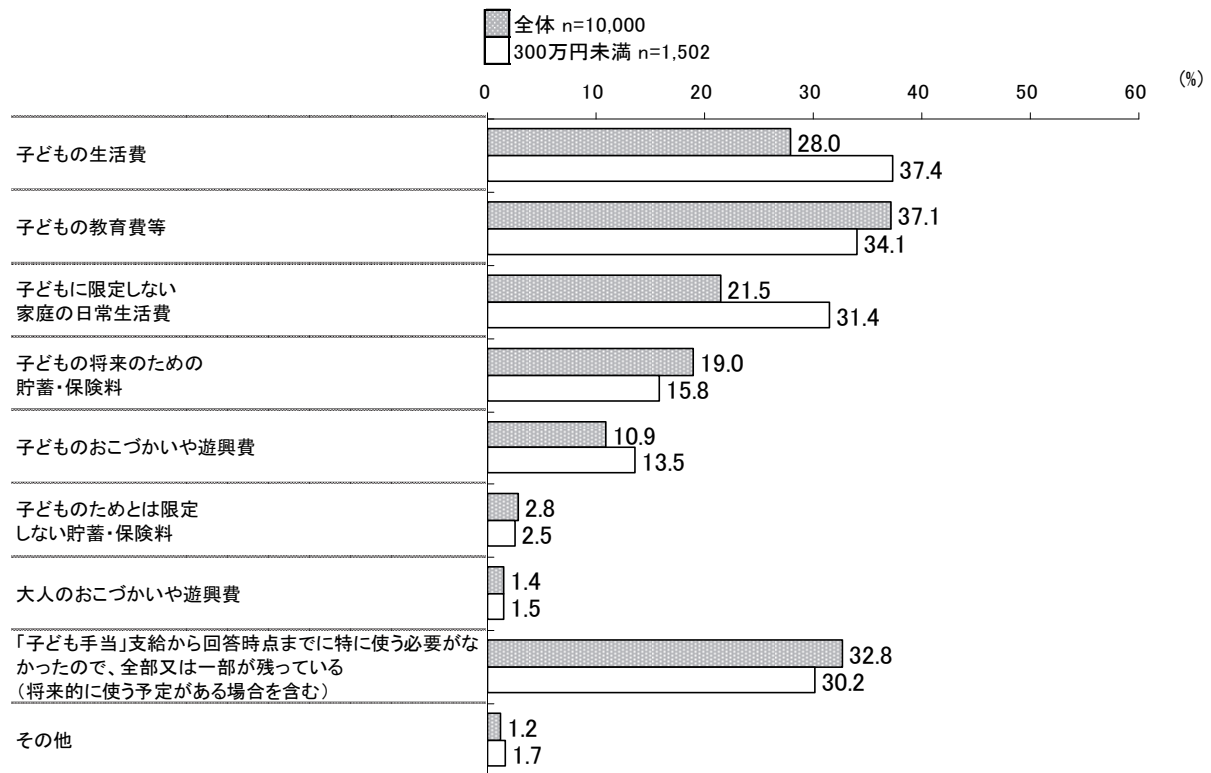
	300万円未満		300～600万円未満		600～1,000万円未満		1,000万円以上		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥9,347	21.0%	¥10,911	24.0%	¥12,432	27.6%	¥13,208	29.8%	¥11,550	25.7%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥5,077	11.4%	¥6,972	15.3%	¥7,386	16.4%	¥6,489	14.7%	¥6,747	15.0%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥9,691	21.8%	¥7,699	16.9%	¥5,424	12.0%	¥3,930	8.9%	¥6,638	14.7%
子どもの生活費	¥7,197	16.2%	¥5,827	12.8%	¥4,422	9.8%	¥3,846	8.7%	¥5,248	11.7%
子どものおこづかいや遊興費	¥1,740	3.9%	¥1,600	3.5%	¥1,704	3.8%	¥2,018	4.6%	¥1,722	3.8%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥649	1.5%	¥719	1.6%	¥724	1.6%	¥695	1.6%	¥706	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	¥166	0.4%	¥241	0.5%	¥188	0.4%	¥275	0.6%	¥217	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥9,866	22.2%	¥11,047	24.3%	¥12,458	27.6%	¥13,336	30.1%	¥11,706	26.0%
その他	¥764	1.7%	¥432	1.0%	¥380	0.8%	¥479	1.1%	¥472	1.0%
全体	¥44,497	100.0%	¥45,448	100.0%	¥45,118	100.0%	¥44,276	100.0%	¥45,007	100.0%

図表Ⅱ-5-18 世帯年収階級別の使用金額（平均金額\_満額(=52,000円)の支給を受けた者）

	300万円未満		300～600万円未満		600～1,000万円未満		1,000万円以上		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥11,159	21.5%	¥12,544	24.1%	¥14,568	28.0%	¥15,539	29.9%	¥13,466	25.9%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥11,564	22.2%	¥9,118	17.5%	¥6,519	12.5%	¥4,697	9.0%	¥7,946	15.3%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥5,912	11.4%	¥8,088	15.6%	¥8,820	17.0%	¥7,644	14.7%	¥7,936	15.3%
子どもの生活費	¥8,168	15.7%	¥6,581	12.7%	¥4,744	9.1%	¥4,265	8.2%	¥5,855	11.3%
子どものおこづかいや遊興費	¥2,175	4.2%	¥1,894	3.6%	¥2,040	3.9%	¥2,452	4.7%	¥2,070	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥784	1.5%	¥773	1.5%	¥806	1.6%	¥900	1.7%	¥805	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	¥192	0.4%	¥257	0.5%	¥203	0.4%	¥298	0.6%	¥236	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥11,143	21.4%	¥12,259	23.6%	¥13,842	26.6%	¥15,639	30.1%	¥13,134	25.3%
その他	¥904	1.7%	¥487	0.9%	¥457	0.9%	¥566	1.1%	¥552	1.1%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%

世帯年収階級 300 万円未満の使途についてみると、「子どもの生活費」が 37.4%で最も高い。次いで「子どもの教育費等」(34.1%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(31.4%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(15.8%)、「子どものおこづかいや遊興費」(13.5%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.5%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.5%)と続いている。

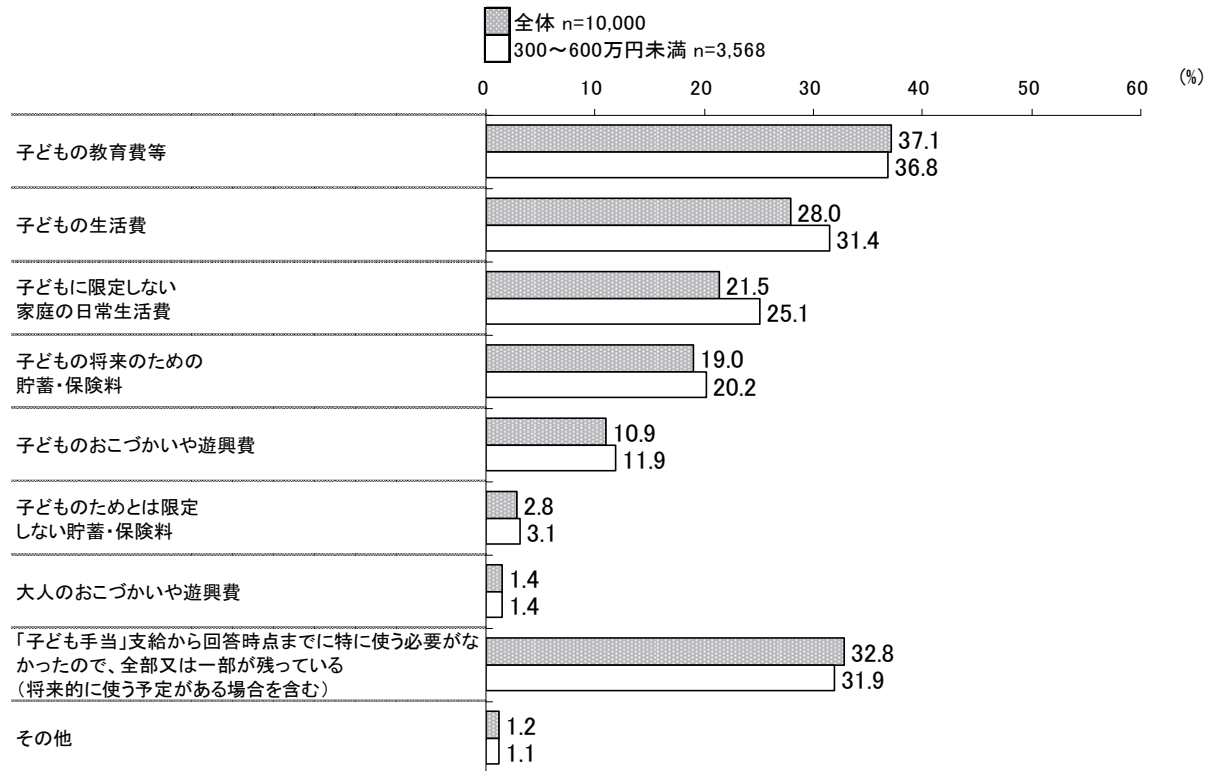
図表Ⅱ-5-19 世帯年収階級別の子ども手当の使途\_300万円未満(複数回答)





世帯年収階級 300～600 万円未満の用途についてみると、「子どもの教育費等」が 36.8% で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(31.4%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(25.1%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(20.2%)、「子どものおこづかいや遊興費」(11.9%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.1%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.4%) と続いている。

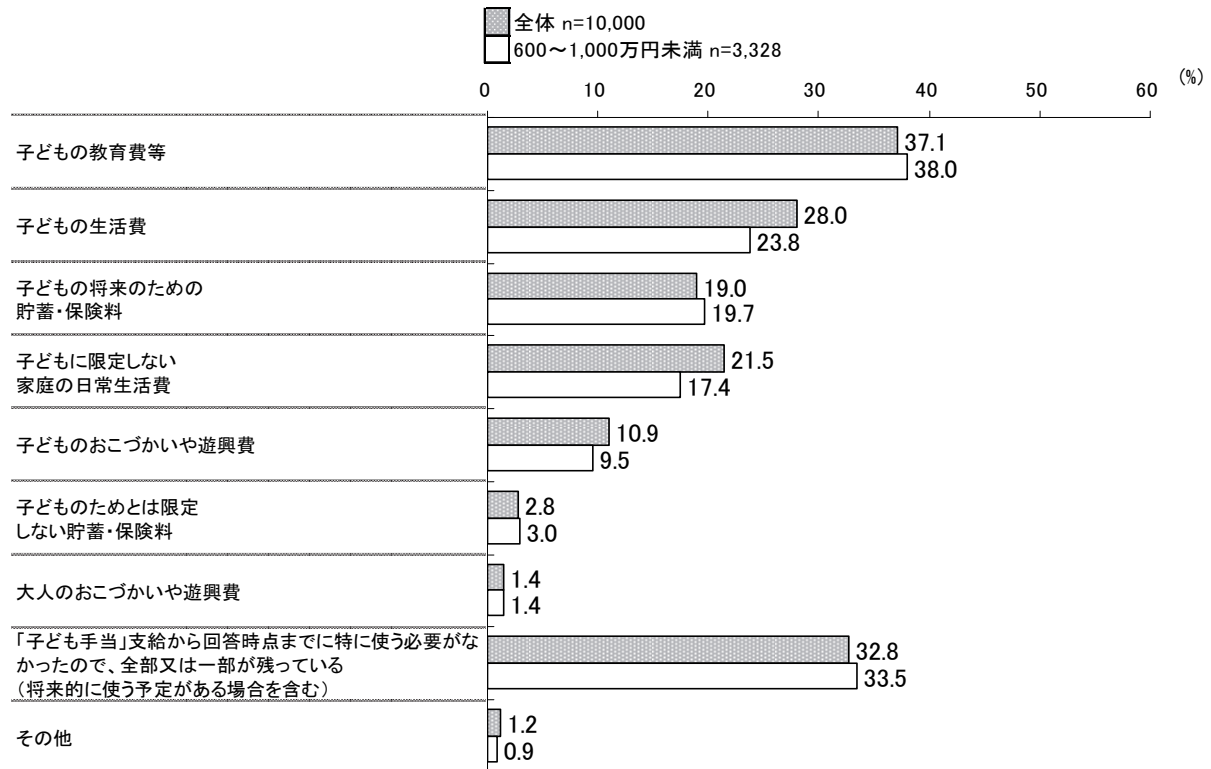
図表 II-5-21 世帯年収階級別の子ども手当の用途\_300～600 万円未満 (複数回答)





世帯年収階級 600～1,000 万円未満の使途についてみると、「子どもの教育費等」が 38.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(23.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(19.7%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(17.4%)、「子どものおこづかいや遊興費」(9.5%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.0%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.4%)と続いている。

図表Ⅱ-5-23 世帯年収階級別の子ども手当の使途\_600～1,000万円未満(複数回答)



用途別の使用金額（世帯年収階級 600～1,000 万円未満の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」14,568 円（28.0%）、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」8,820 円（17.0%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」6,519 円（12.5%）、「子どもの生活費」4,744 円（9.1%）という順になっている。

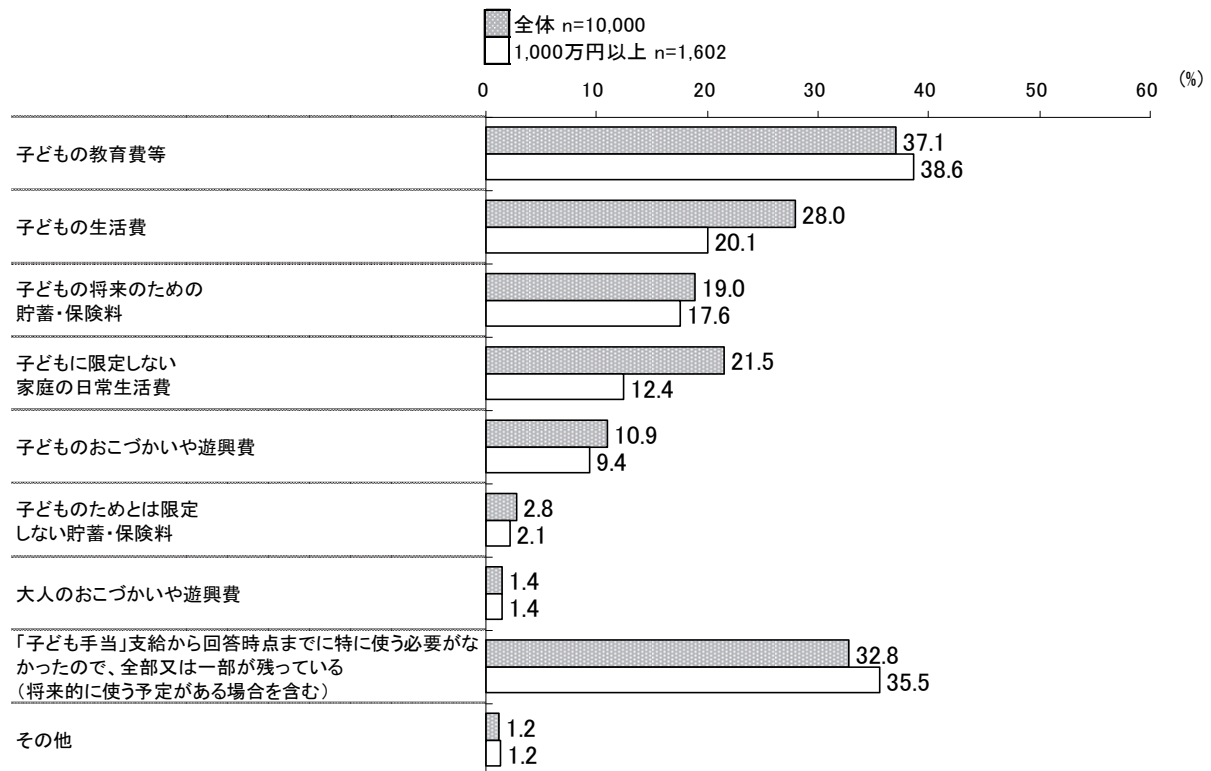
図表 II-5-24 世帯年収階級別の子ども手当の用途別金額\_600～1,000 万円未満

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯年収階級別 600～1,000万円未満) n=3,328	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均 金額	※平均 支給金額 (52,000 円)			
	回答者数	金額	構成比	金額	構成比							
子どもの教育費等	1,264	1.0	1.7	7.2	6.2	8.5	1.0	12.4	¥12,432	27.6%	¥14,568	28.0%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	654	1.1	0.8	2.9	1.7	2.2	0.3	10.8	¥7,386	16.4%	¥8,820	17.0%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	579	1.0	1.1	3.5	2.7	2.8	0.3	5.9	¥5,424	12.0%	¥6,519	12.5%
子どもの生活費	791	2.6	3.1	8.2	4.7	2.9	0.2	2.2	¥4,422	9.8%	¥4,744	9.1%
子どものおこづかいや遊興費	317	1.8	1.4	2.8	1.3	1.1	0.1	1.0	¥1,704	3.8%	¥2,040	3.9%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	99	0.5	0.3	0.8	0.3	0.3	0.0	0.8	¥724	1.6%	¥806	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	47	0.4	0.3	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	¥188	0.4%	¥203	0.4%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	1,115	1.7	1.2	4.9	4.1	4.1	0.1	17.4	¥12,458	27.6%	¥13,842	26.6%
その他	31	-	0.0	0.1	0.1	0.1	-	0.6	¥380	0.8%	¥457	0.9%
計	4,897	10.0	9.9	30.9	21.1	22.1	2.0	51.2	¥45,118	100.0%	¥52,000	100.0%



世帯年収階級 1,000 万円以上の使途についてみると、「子どもの教育費等」が 38.6%で最も高い。次いで「子どもの生活費」(20.1%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(17.6%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(12.4%)、「子どものおこづかいや遊興費」(9.4%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.1%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.4%)と続いている。

図表 II-5-25 世帯年収階級別の子ども手当の使途\_1,000 万円以上 (複数回答)



使途別の使用金額（世帯年収階級 1,000 万円以上の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」15,539 円 (29.9%)、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」7,644 円 (14.7%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」4,697 円 (9.0%)、「子どもの生活費」4,265 円 (8.2%) という順になっている。

図表 II-5-26 世帯年収階級別の子ども手当の使途別金額\_1,000 万円以上

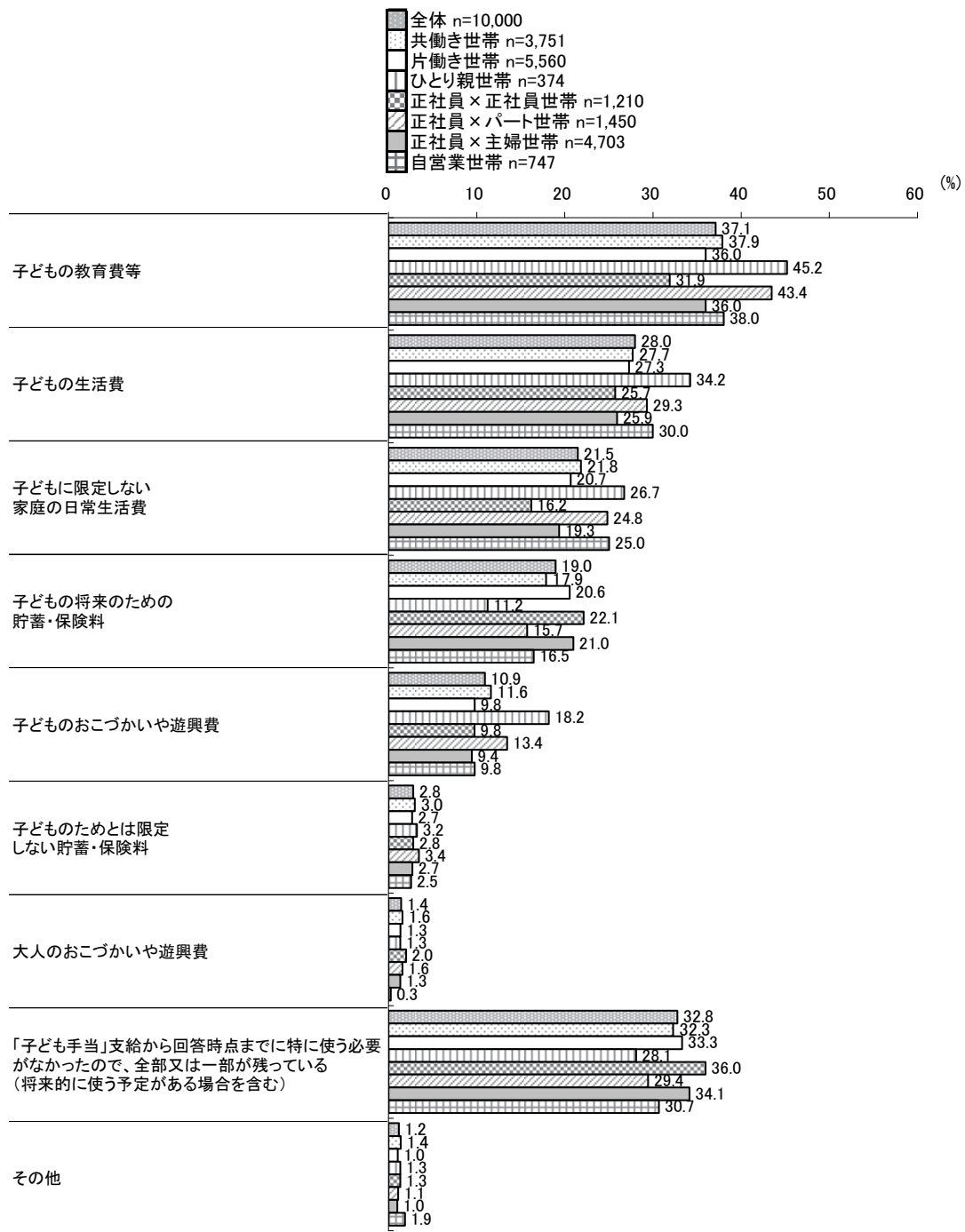
・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯年収階級別 1,000万円以上) n=1,602	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 円	平均金額		※平均金額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
回答者数												
子どもの教育費等	619	1.1	1.4	7.2	5.4	8.2	1.1	14.2	¥13,208	29.8%	¥15,539	29.9%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	282	0.9	0.4	2.9	2.1	2.0	0.5	8.8	¥6,489	14.7%	¥7,644	14.7%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	199	1.3	0.4	2.1	2.0	1.8	0.1	4.7	¥3,930	8.9%	¥4,697	9.0%
子どもの生活費	322	2.7	2.3	7.1	3.4	2.2	0.3	2.1	¥3,846	8.7%	¥4,265	8.2%
子どものおこづかいや遊興費	150	1.6	1.2	2.4	1.1	1.4	0.1	1.6	¥2,018	4.6%	¥2,452	4.7%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	34	0.4	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.9	¥695	1.6%	¥900	1.7%
大人のおこづかいや遊興費	23	0.3	0.1	0.4	0.2	0.1	-	0.2	¥275	0.6%	¥298	0.6%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	569	2.1	1.5	5.2	3.8	2.7	0.2	20.0	¥13,336	30.1%	¥15,639	30.1%
その他	20	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.6	¥479	1.1%	¥566	1.1%
計	2,218	10.4	7.6	27.5	18.3	19.0	2.4	53.2	¥44,276	100.0%	¥52,000	100.0%

#### ④ 世帯構成別

共働き、片働き、ひとり親世帯で子ども手当の使途を比較すると、「子どもの教育費等」「子どもの生活費」「子どもに限定しない家庭の日常生活費」「子どものおこづかいや遊興費」の4項目においてひとり親世帯の割合が最も高い。特に「子どもの教育費等」では差が大きく、ひとり親世帯は45.2%と全体平均(37.1%)よりも8.1ポイント高くなっている。

両親の職業の組合せで比較すると、「子どもの教育費等」は、正社員×パート世帯が43.4%で最も高く、最も低い正社員×正社員世帯(31.9%)との差は11.5ポイントとなっている。「子どもの生活費」は、自営業世帯(30.0%)、正社員×パート世帯(29.3%)が高い。「子どもに限定しない家庭の日常生活費」は、自営業世帯(25.0%)、正社員×パート世帯(24.8%)が高い。「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合では、正社員×正社員世帯(22.1%)、正社員×主婦世帯(21.0%)、片働き世帯(20.6%)、共働き世帯(17.9%)、自営業世帯(16.5%)、正社員×パート世帯(15.7%)、ひとり親世帯(11.2%)となっている。ひとり親世帯は正社員×正社員世帯より10.9%下回っている。「子どものおこづかいや遊興費」は、正社員×パート世帯が13.4%で最も高い。「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、いずれの世帯も3%前後となっている。「大人のおこづかいや遊興費」は、いずれも2.0%以下にとどまっている。

図表Ⅱ-5-27 世帯構成別の子ども手当の使途（複数回答）



世帯構成別に子ども手当の用途別使用金額（満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均、図表Ⅱ-5-29）をみると、「子どもの教育費等」がすべての世帯構成で最も多く使われている。

「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が2番目に多い世帯構成は、ひとり親世帯（8,553円）、共働き世帯（8,401円）、自営業世帯（10,776円）、正社員×パート世帯（9,193円）である。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が2番目に多い世帯構成は、片働き世帯（8,681円）、正社員×正社員世帯（9,698円）、正社員×主婦世帯（8,963円）である。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の金額は、共働き世帯、片働き世帯、ひとり親世帯で比較すると、片働き世帯が8,681円で最も高く、ひとり親世帯は3,759円で最も低い。両親の職業の組合せ別に比較すると、正社員×正社員世帯は9,698円で最も高く、自営業世帯は6,021円で最も低い。

図表Ⅱ-5-28 世帯構成別の使用金額（平均金額\_全体）

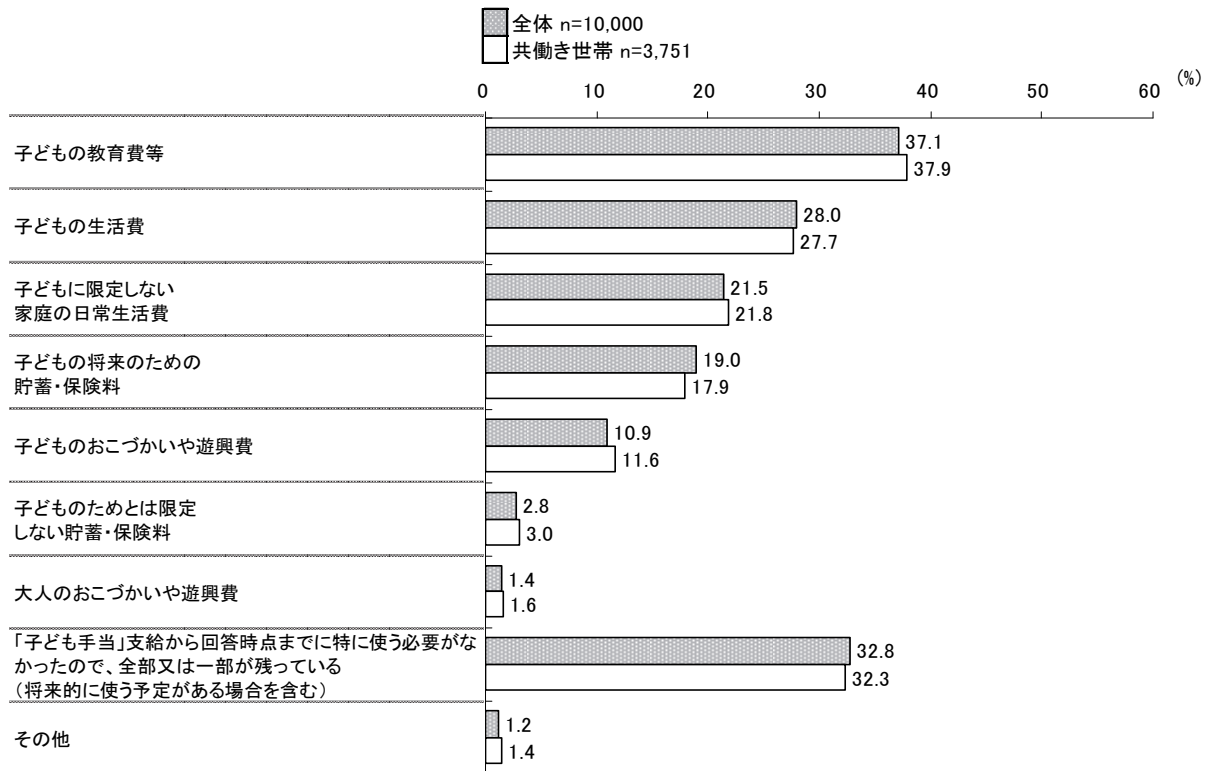
	共働き世帯		片働き世帯		ひとり親世帯		(再掲) 正社員×正社員世帯		正社員×パート世帯		正社員×主婦世帯		自営業世帯		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥11,512	25.8%	¥11,489	25.3%	¥13,085	29.4%	¥9,504	21.8%	¥13,511	29.6%	¥11,656	25.7%	¥11,545	26.2%	¥11,550	25.7%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥6,327	14.2%	¥7,420	16.4%	¥3,083	6.9%	¥8,150	18.7%	¥5,403	11.8%	¥7,596	16.8%	¥5,285	12.0%	¥6,747	15.0%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥6,899	15.5%	¥6,335	14.0%	¥7,291	16.4%	¥4,814	11.0%	¥7,847	17.2%	¥5,956	13.2%	¥8,623	19.6%	¥6,638	14.7%
子どもの生活費	¥4,980	11.2%	¥5,232	11.5%	¥6,868	15.4%	¥5,070	11.6%	¥4,920	10.8%	¥4,923	10.9%	¥5,644	12.8%	¥5,248	11.7%
子どものおこづかいや遊興費	¥1,867	4.2%	¥1,517	3.3%	¥3,050	6.9%	¥1,638	3.7%	¥2,224	4.9%	¥1,479	3.3%	¥1,302	3.0%	¥1,722	3.8%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥701	1.6%	¥727	1.6%	¥746	1.7%	¥658	1.5%	¥856	1.9%	¥739	1.6%	¥556	1.3%	¥706	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	¥244	0.5%	¥203	0.4%	¥227	0.5%	¥232	0.5%	¥299	0.7%	¥215	0.5%	¥16	0.0%	¥217	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥11,452	25.7%	¥12,032	26.5%	¥9,518	21.4%	¥13,015	29.8%	¥10,163	22.3%	¥12,371	27.3%	¥10,226	23.2%	¥11,706	26.0%
その他	¥612	1.4%	¥380	0.8%	¥623	1.4%	¥614	1.4%	¥438	1.0%	¥352	0.8%	¥850	1.9%	¥472	1.0%
全体	¥44,594	100.0%	¥45,335	100.0%	¥44,491	100.0%	¥43,695	100.0%	¥45,661	100.0%	¥45,287	100.0%	¥44,047	100.0%	¥45,007	100.0%

図表Ⅱ-5-29 世帯構成別の使用金額（平均金額\_満額(=52,000円)の支給を受けた者）

	共働き世帯		片働き世帯		ひとり親世帯		(再掲) 正社員×正社員世帯		正社員×パート世帯		正社員×主婦世帯		自営業世帯		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥13,438	25.8%	¥13,379	25.7%	¥15,556	29.9%	¥11,498	22.1%	¥15,216	29.3%	¥13,589	26.1%	¥13,743	26.4%	¥13,466	25.9%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥8,401	16.2%	¥7,511	14.4%	¥8,553	16.4%	¥6,032	11.6%	¥9,193	17.7%	¥7,093	13.6%	¥10,776	20.7%	¥7,946	15.3%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥7,476	14.4%	¥8,681	16.7%	¥3,759	7.2%	¥9,698	18.7%	¥6,374	12.3%	¥8,963	17.2%	¥6,021	11.6%	¥7,936	15.3%
子どもの生活費	¥5,509	10.6%	¥5,849	11.2%	¥7,943	15.3%	¥5,655	10.9%	¥5,493	10.6%	¥5,440	10.5%	¥6,515	12.5%	¥5,855	11.3%
子どものおこづかいや遊興費	¥2,278	4.4%	¥1,802	3.5%	¥3,730	7.2%	¥2,088	4.0%	¥2,723	5.2%	¥1,774	3.4%	¥1,527	2.9%	¥2,070	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥811	1.6%	¥828	1.6%	¥727	1.4%	¥785	1.5%	¥964	1.9%	¥835	1.6%	¥673	1.3%	¥805	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	¥282	0.5%	¥218	0.4%	¥89	0.2%	¥301	0.6%	¥325	0.6%	¥231	0.4%	¥4	0.0%	¥236	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥13,032	25.1%	¥13,331	25.6%	¥10,818	20.8%	¥15,096	29.0%	¥11,253	21.6%	¥13,705	26.4%	¥11,601	22.3%	¥13,134	25.3%
その他	¥772	1.5%	¥402	0.8%	¥826	1.6%	¥847	1.6%	¥458	0.9%	¥370	0.7%	¥1,142	2.2%	¥552	1.1%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%

共働き世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が37.9%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(27.7%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(21.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(17.9%)、「子どものおこづかいや遊興費」(11.6%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.0%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.6%)と続いている。

図表Ⅱ-5-30 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_両親のいる世帯\_共働き世帯  
(複数回答)



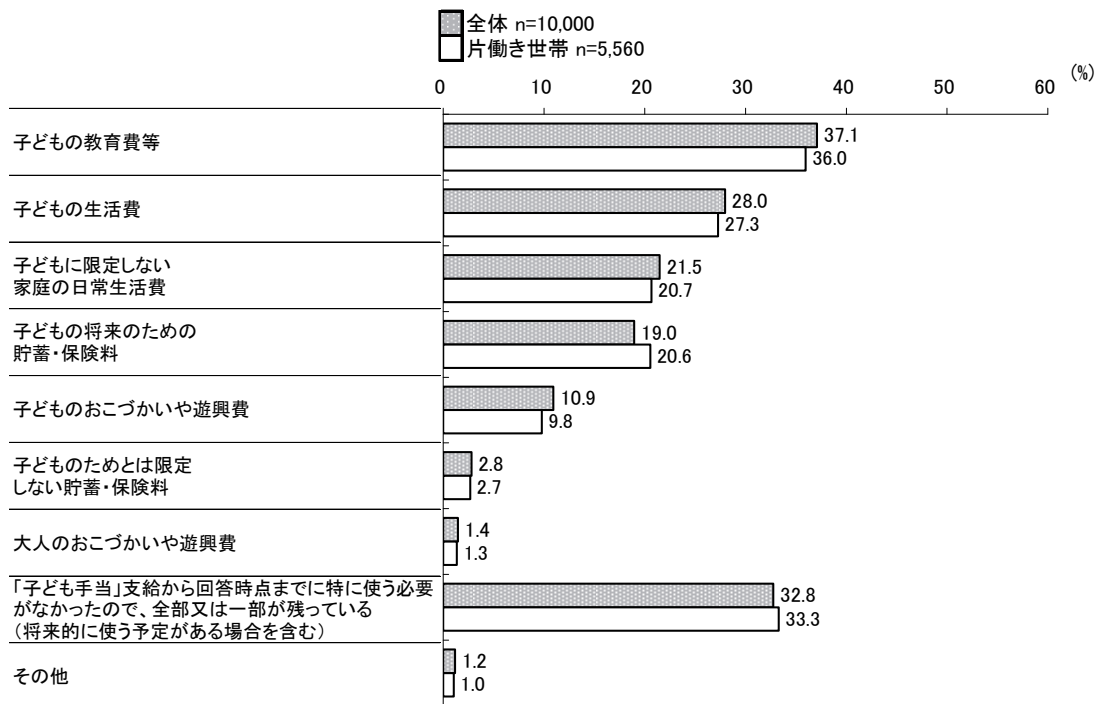
使途別の使用金額（共働き世帯の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」13,438円（25.8%）、次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」8,401円（16.2%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」7,476円（14.4%）、「子どもの生活費」5,509円（10.6%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-31 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途別金額\_両親のいる世帯\_共働き世帯

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯構成別 両親のいる世帯_共働き世帯) n=3,751	5 0 0 0 0 円未 満	1 5 0 0 0 0 円未 満	2 1 0 0 0 0 円未 満	3 2 0 0 0 0 円未 満	5 3 0 0 0 0 円未 満	5 5 2 0 0 0 0 円未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	1,420	1.1	2.6	7.9	6.6	8.6	1.1	10.0	¥11,512	25.8%	¥13,438	25.8%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	819	1.4	1.1	4.1	3.4	4.1	0.3	7.5	¥6,899	15.5%	¥8,401	16.2%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	670	1.3	0.7	3.0	1.8	1.8	0.3	8.9	¥6,327	14.2%	¥7,476	14.4%
子どもの生活費	1,039	3.4	3.9	9.5	5.0	3.6	0.2	2.1	¥4,980	11.2%	¥5,509	10.6%
子どものおこづかいや遊興費	436	2.5	2.1	3.4	1.5	1.1	0.0	1.1	¥1,867	4.2%	¥2,278	4.4%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	112	0.5	0.3	0.8	0.3	0.2	0.1	0.7	¥701	1.6%	¥811	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	59	0.3	0.3	0.5	0.1	0.1	0.0	0.2	¥244	0.5%	¥282	0.5%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	1,211	2.0	1.6	5.5	3.5	3.8	0.1	15.8	¥11,452	25.7%	¥13,032	25.1%
その他	52	0.1	-	0.1	0.1	0.2	0.1	0.9	¥612	1.4%	¥772	1.5%
計	5,818	12.6	12.6	34.7	22.4	23.4	2.2	47.3	¥44,594	100.0%	¥52,000	100.0%

片働き世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が36.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(27.3%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(20.7%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(20.6%)、「子どものおこづかいや遊興費」(9.8%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.7%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.3%)と続いている。

図表Ⅱ-5-32 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_両親のいる世帯\_片働き世帯  
(複数回答)





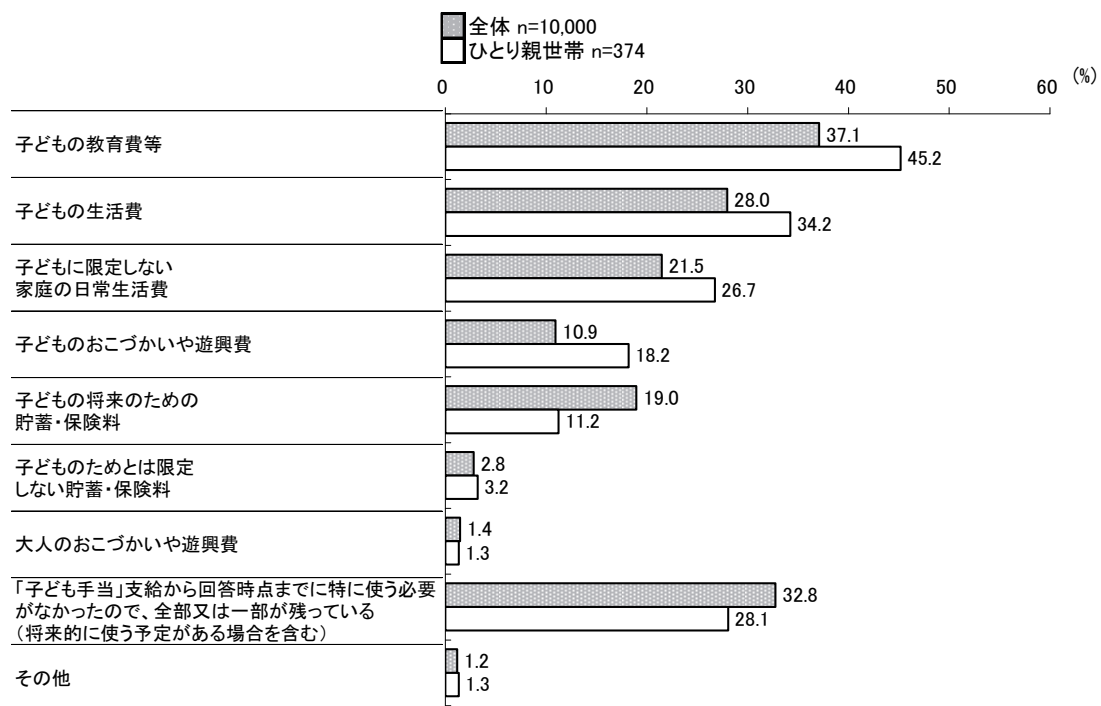
使途別の使用金額（片働き世帯の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」13,379 円（25.7%）、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」8,681 円（16.7%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,511 円（14.4%）、「子どもの生活費」5,849 円（11.2%）という順になっている。

図表 II-5-33 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途別金額\_両親のいる世帯\_片働き世帯

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯構成別 両親のいる世帯_片働き世帯) n=5,560	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 円	平均 金額	※平均金額 を(52,000円)			
									金額	構成比	金額	構成比
回答者数	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
子どもの教育費等	2,000	1.2	1.8	6.8	6.0	8.5	0.8	10.9	¥11,489	25.3%	¥13,379	25.7%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	1,143	1.1	1.0	3.3	2.1	2.6	0.4	10.1	¥7,420	16.4%	¥8,681	16.7%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	1,149	1.3	1.1	4.3	3.2	3.9	0.2	6.7	¥6,335	14.0%	¥7,511	14.4%
子どもの生活費	1,516	2.6	3.3	9.9	5.1	3.2	0.2	2.9	¥5,232	11.5%	¥5,849	11.2%
子どものおこづかいや遊興費	544	1.9	1.7	3.2	1.1	0.9	0.1	0.8	¥1,517	3.3%	¥1,802	3.5%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	149	0.3	0.3	0.6	0.3	0.2	-	0.9	¥727	1.6%	¥828	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	75	0.4	0.2	0.4	0.1	0.1	-	0.1	¥203	0.4%	¥218	0.4%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	1,851	2.3	1.2	5.3	3.9	3.8	0.2	16.7	¥12,032	26.5%	¥13,331	25.6%
その他	58	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.0	0.4	¥380	0.8%	¥402	0.8%
計	8,485	11.2	10.7	34.0	21.9	23.4	1.9	49.5	¥45,335	100.0%	¥52,000	100.0%

ひとり親世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が45.2%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(34.2%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(26.7%)、「子どものおこづかいや遊興費」(18.2%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(11.2%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.2%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.3%)と続いている。

図表Ⅱ-5-34 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_ひとり親世帯  
(複数回答)



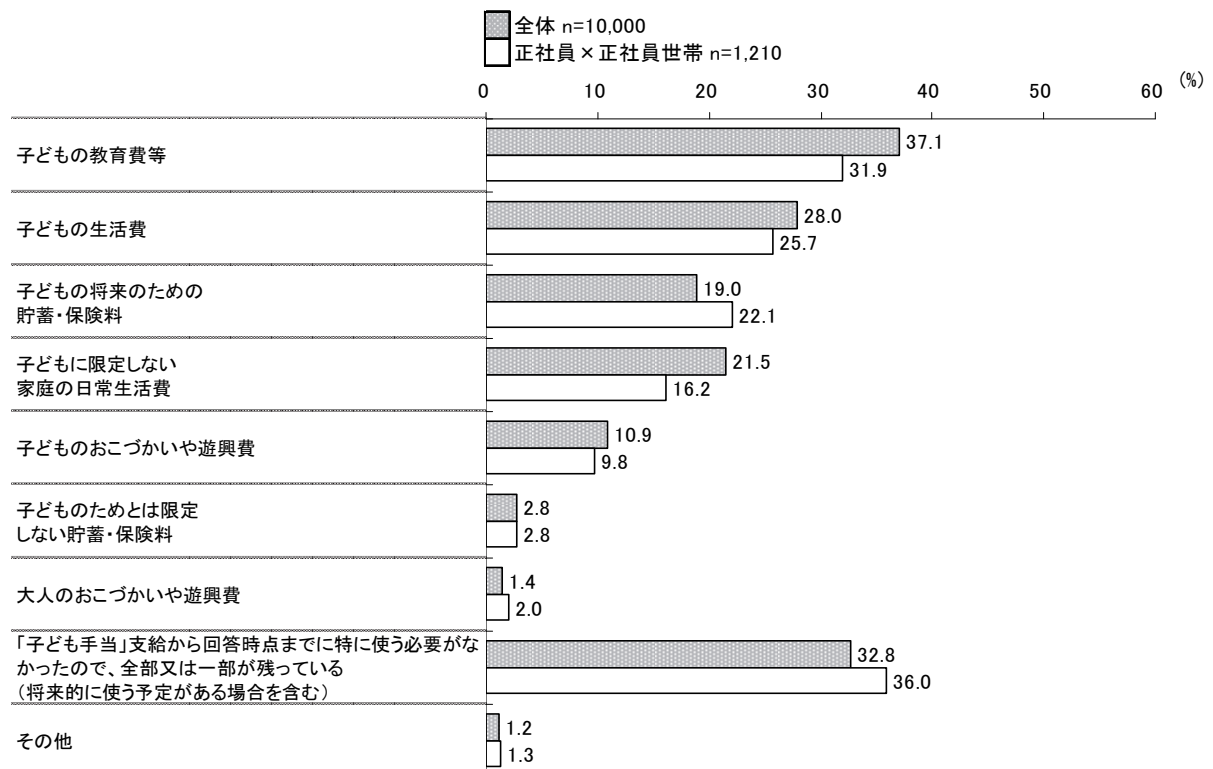
用途別の使用金額（ひとり親世帯の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」15,556円（29.9%）、次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」8,553円（16.4%）、「子どもの生活費」7,943円（15.3%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」3,759円（7.2%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-35 子どもの親の就業状況別の子ども手当の用途別金額\_ひとり親世帯

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯構成別_ひとり親世帯) n=374	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
回答者数												
子どもの教育費等	169	3.2	2.9	9.9	6.4	10.4	2.1	10.2	¥13,085	29.4%	¥15,556	29.9%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	100	1.9	1.9	7.0	4.8	3.7	0.3	7.2	¥7,291	16.4%	¥8,553	16.4%
子どもの生活費	128	3.7	4.0	9.9	8.6	3.7	0.5	3.7	¥6,868	15.4%	¥7,943	15.3%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	42	1.6	0.5	2.9	1.3	0.8	0.3	3.7	¥3,083	6.9%	¥3,759	7.2%
子どものおこづかいや 遊興費	68	5.3	1.9	4.5	2.9	1.1	-	2.4	¥3,050	6.9%	¥3,730	7.2%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	12	0.5	0.8	0.3	0.5	0.3	-	0.8	¥746	1.7%	¥727	1.4%
大人のおこづかいや 遊興費	5	0.3	-	0.5	0.3	0.3	-	-	¥227	0.5%	¥89	0.2%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	105	1.6	0.5	7.0	3.7	2.4	0.3	12.6	¥9,518	21.4%	¥10,818	20.8%
その他	5	-	-	-	0.3	-	-	1.1	¥623	1.4%	¥826	1.6%
計	634	18.2	12.6	42.0	28.9	22.7	3.5	41.7	¥44,491	100.0%	¥52,000	100.0%

正社員×正社員世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が31.9%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(25.7%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(22.1%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(16.2%)、「子どものおこづかいや遊興費」(9.8%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.8%)、「大人のおこづかいや遊興費」(2.0%)と続いている。

図表Ⅱ-5-36 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_両親のいる世帯\_正社員×正社員世帯  
(複数回答)



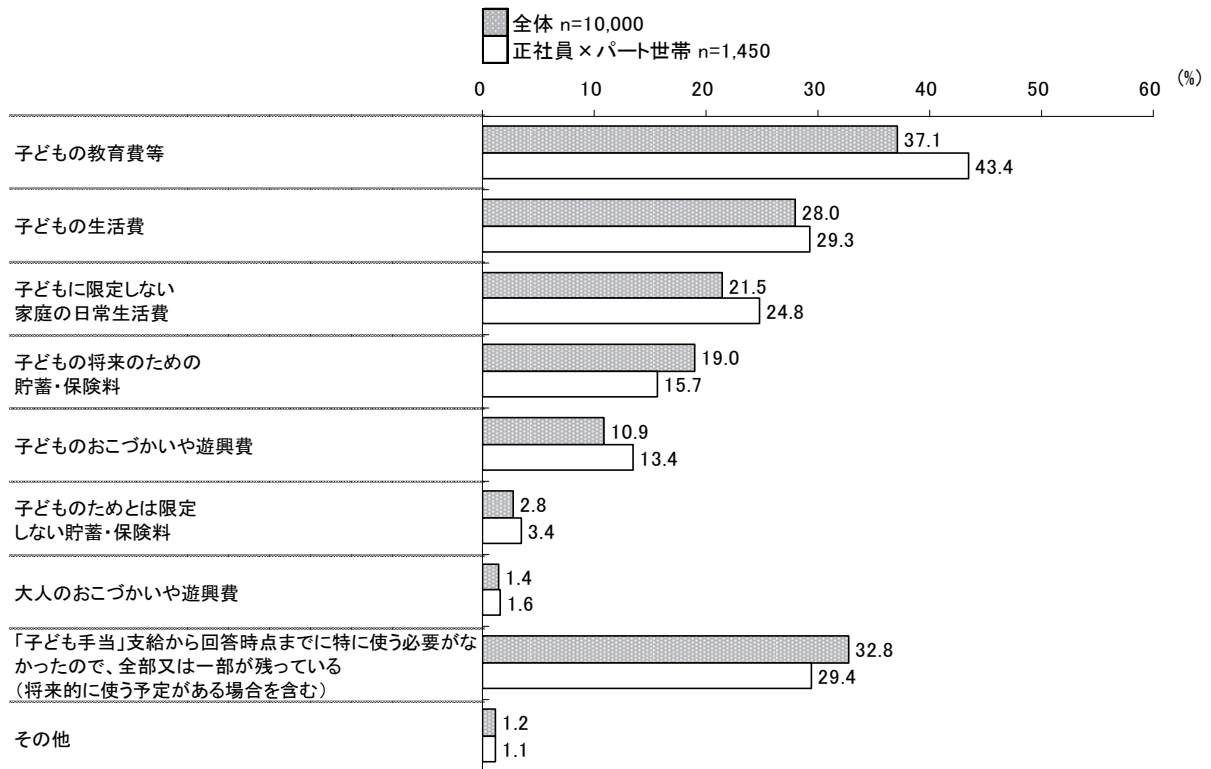
用途別の使用金額（正社員×正社員世帯の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」11,498 円（22.1%）、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」9,698 円（18.7%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」6,032 円（11.6%）、「子どもの生活費」5,655 円（10.9%）という順になっている。

図表 II-5-37 子どもの親の就業状況別の子ども手当の用途別金額\_両親のいる世帯\_正社員×正社員世帯

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯構成別_ 両親のいる世帯_ 正社員×正社員世帯) n=1,210	5 0 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	386	1.7	1.9	6.9	4.5	7.4	1.1	8.3	¥9,504	21.8%	¥11,498	22.1%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	268	1.2	0.6	4.0	2.3	2.1	0.6	11.5	¥8,150	18.7%	¥9,698	18.7%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	196	1.5	1.2	3.1	2.4	2.2	0.2	5.5	¥4,814	11.0%	¥6,032	11.6%
子どもの生活費	311	2.7	3.8	8.3	4.3	3.6	0.2	2.8	¥5,070	11.6%	¥5,655	10.9%
子どものおこづかいや遊興費	118	2.1	1.2	3.0	1.4	1.2	0.1	0.7	¥1,638	3.7%	¥2,088	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	34	0.5	0.2	1.0	0.1	0.1	0.2	0.7	¥658	1.5%	¥785	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	24	0.6	0.6	0.4	0.2	0.1	-	0.2	¥232	0.5%	¥301	0.6%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	435	2.3	1.5	5.5	3.9	5.0	0.2	17.6	¥13,015	29.8%	¥15,096	29.0%
その他	16	-	-	0.1	0.1	0.1	0.1	1.0	¥614	1.4%	¥847	1.6%
計	1,788	12.6	11.0	32.2	19.2	21.8	2.6	48.3	¥43,695	100.0%	¥52,000	100.0%

正社員×パート世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が43.4%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(29.3%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(24.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(15.7%)、「子どものおこづかいや遊興費」(13.4%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.4%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.6%)と続いている。

図表Ⅱ-5-38 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_両親のいる世帯\_正社員×パート世帯  
(複数回答)



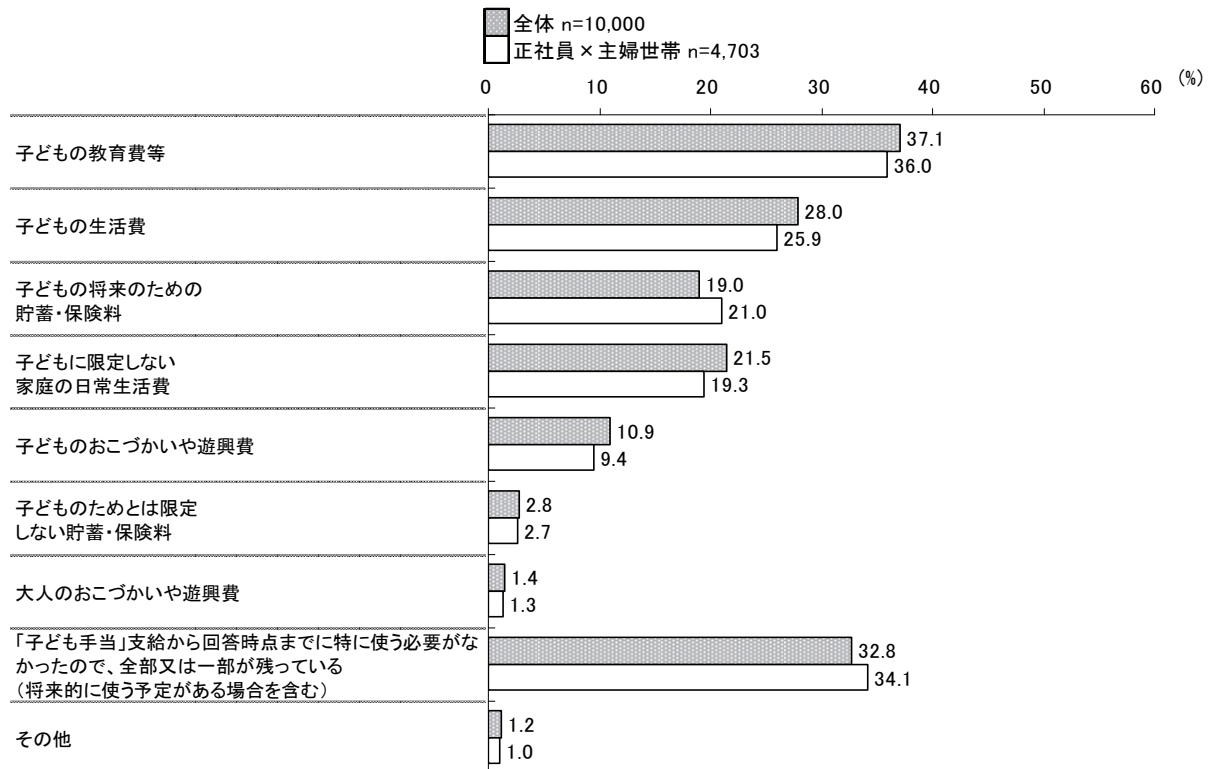
用途別の使用金額（正社員×パート世帯の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」15,216 円（29.3%）、次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」9,193 円（17.7%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」6,374 円（12.3%）、「子どもの生活費」5,493 円（10.6%）という順になっている。

図表 II-5-39 子どもの親の就業状況別の子ども手当の用途別金額\_両親のいる世帯\_正社員×パート世帯

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯構成別_ 両親のいる世帯_ 正社員×パート世帯) n=1,450	5 0 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均 金額	※平均 支給額金額 を(52 000 円)			
									金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	630	0.8	2.9	8.6	8.4	10.0	1.0	11.7	¥13,511	29.6%	¥15,216	29.3%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	360	1.4	1.0	4.5	4.2	5.5	0.4	7.8	¥7,847	17.2%	¥9,193	17.7%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	228	1.7	0.7	2.3	1.5	1.4	0.3	7.8	¥5,403	11.8%	¥6,374	12.3%
子どもの生活費	425	3.8	3.9	10.6	6.0	3.2	0.1	1.9	¥4,920	10.8%	¥5,493	10.6%
子どものおこづかいや 遊興費	195	2.8	2.4	3.9	1.7	1.0	-	1.7	¥2,224	4.9%	¥2,723	5.2%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	50	0.5	0.4	0.7	0.6	0.3	0.1	0.9	¥856	1.9%	¥964	1.9%
大人のおこづかいや 遊興費	23	0.2	0.3	0.5	0.1	0.2	-	0.3	¥299	0.7%	¥325	0.6%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	427	1.9	1.7	5.6	3.0	3.1	-	14.1	¥10,163	22.3%	¥11,253	21.6%
その他	16	0.1	-	-	0.1	0.3	-	0.6	¥438	1.0%	¥458	0.9%
計	2,354	13.2	13.4	36.6	25.5	25.1	1.9	46.7	¥45,661	100.0%	¥52,000	100.0%

正社員×主婦世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が36.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(25.9%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(21.0%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(19.3%)、「子どものおこづかいや遊興費」(9.4%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.7%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.3%)と続いている。

図表Ⅱ-5-40 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_両親のいる世帯\_正社員×主婦世帯  
(複数回答)





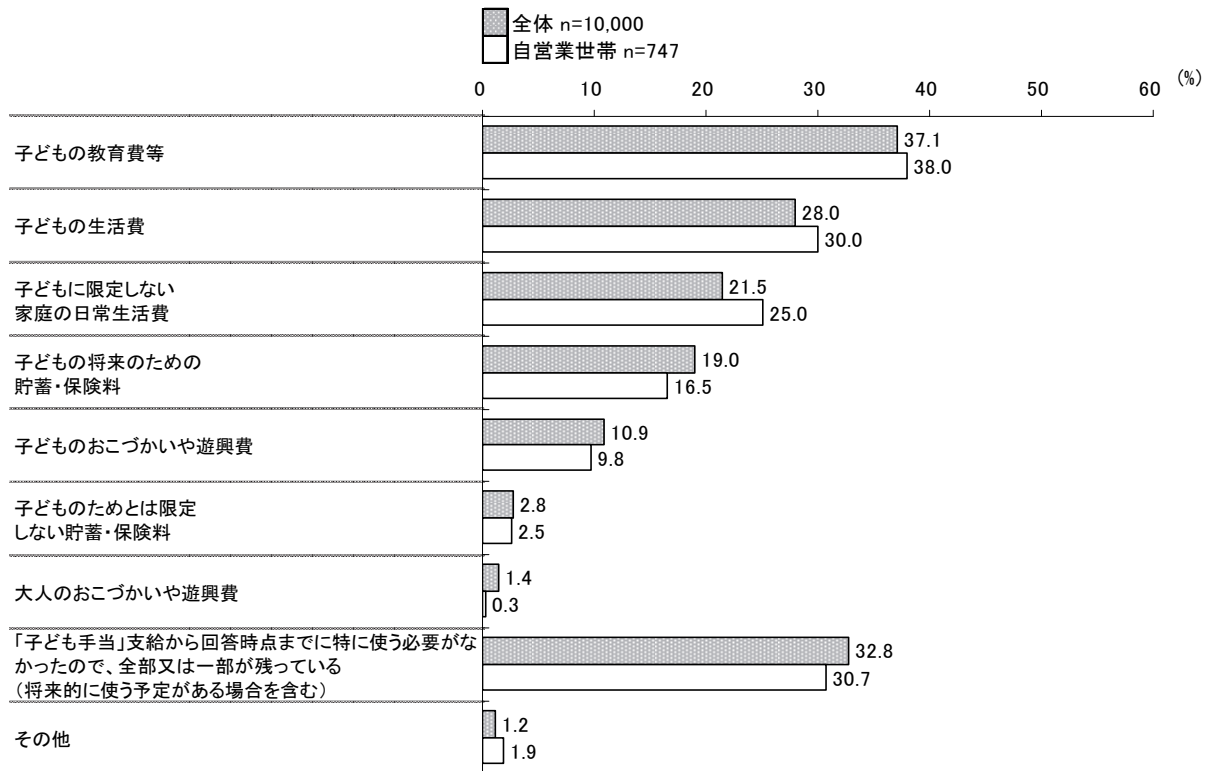
用途別の使用金額（正社員×主婦世帯の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」13,589円（26.1%）、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」8,963円（17.2%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,093円（13.6%）、「子どもの生活費」5,440円（10.5%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-41 子どもの親の就業状況別の子ども手当の用途別金額\_両親のいる世帯\_正社員×主婦世帯

・金額割合、平均金額の母数は子ども手当支給者(世帯構成別_両親のいる世帯_正社員×主婦世帯) n=4,703	回答者数	50000円未満	150000円未満	210000円未満	320000円未満	530000円未満	550000円未満	50000円	平均金額		※平均支給額を受けた者(52000円)	
		金額	構成比	金額	構成比							
子どもの教育費等	1,692	1.1	1.8	6.5	6.0	8.6	0.8	11.3	¥11,656	25.7%	¥13,589	26.1%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	986	1.2	1.0	3.4	2.0	2.5	0.4	10.5	¥7,596	16.8%	¥8,963	17.2%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	910	1.1	1.1	4.1	2.9	3.7	0.2	6.3	¥5,956	13.2%	¥7,093	13.6%
子どもの生活費	1,219	2.4	3.3	9.5	5.0	3.0	0.2	2.6	¥4,923	10.9%	¥5,440	10.5%
子どものおこづかいや遊興費	444	1.8	1.7	3.1	1.1	0.9	0.1	0.8	¥1,479	3.3%	¥1,774	3.4%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	127	0.3	0.3	0.6	0.3	0.2	-	0.9	¥739	1.6%	¥835	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	63	0.4	0.1	0.4	0.1	0.1	-	0.2	¥215	0.5%	¥231	0.4%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	1,606	2.3	1.1	5.4	3.9	4.0	0.2	17.2	¥12,371	27.3%	¥13,705	26.4%
その他	47	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	0.4	¥352	0.8%	¥370	0.7%
計	7,094	10.7	10.4	33.2	21.4	23.1	1.9	50.1	¥45,287	100.0%	¥52,000	100.0%

自営業世帯の使途についてみると、「子どもの教育費等」が38.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(30.0%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(25.0%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(16.5%)、「子どものおこづかいや遊興費」(9.8%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.5%)、「大人のおこづかいや遊興費」(0.3%)と続いている。

図表Ⅱ-5-42 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途\_両親のいる世帯\_自営業世帯  
(複数回答)



使途別の使用金額（自営業世帯の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」13,743円(26.4%)、次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」10,776円(20.7%)、「子どもの生活費」6,515円(12.5%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」6,021円(11.6%)という順になっている。

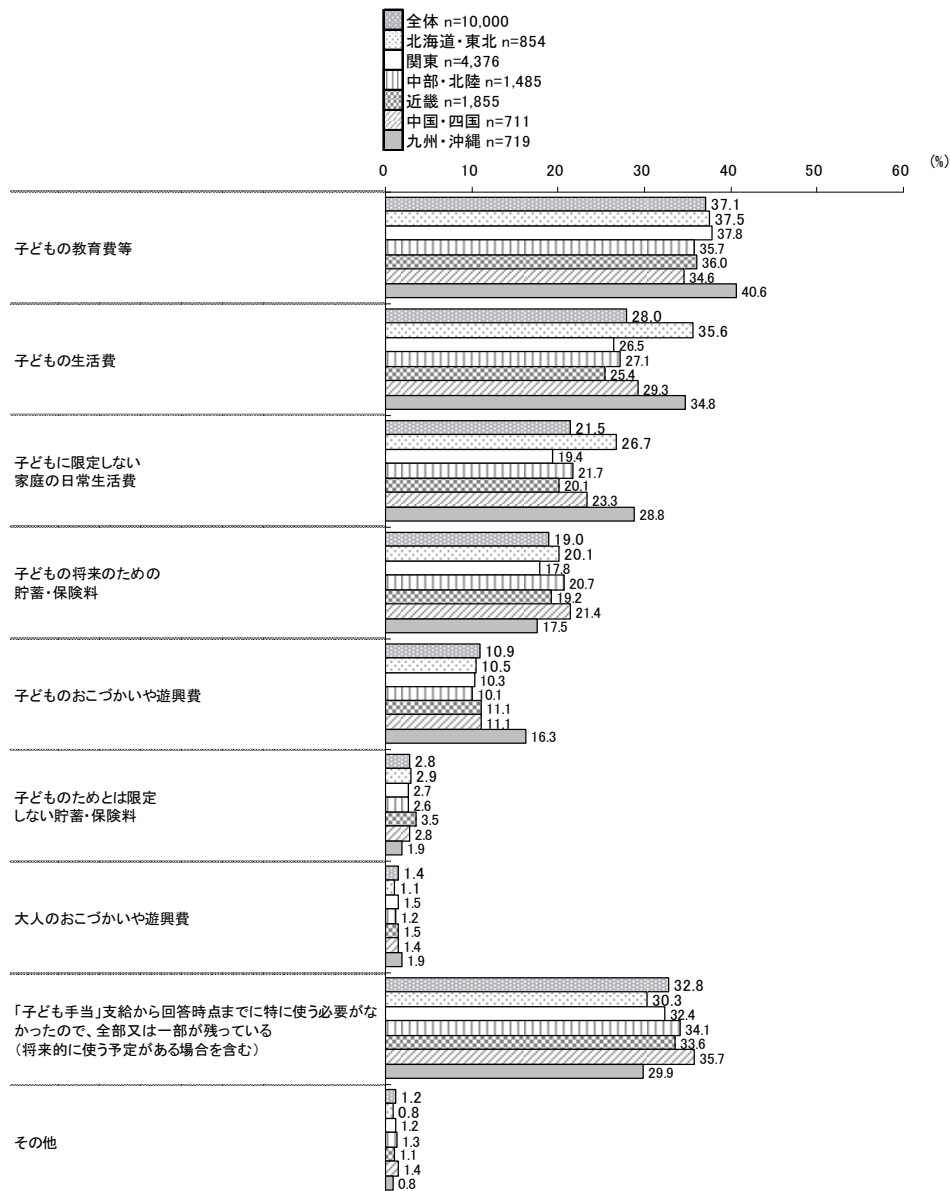
図表Ⅱ-5-43 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途別金額\_両親のいる世帯\_自営業世帯

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (世帯構成別_両親のいる世帯_ 自営業世帯) n=747	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	284	1.3	2.0	9.1	5.9	7.8	1.2	10.7	¥11,545	26.2%	¥13,743	26.4%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	187	1.7	1.1	3.6	3.2	4.4	0.3	10.7	¥8,623	19.6%	¥10,776	20.7%
子どもの生活費	224	5.0	3.9	9.0	4.8	3.9	0.3	3.2	¥5,644	12.8%	¥6,515	12.5%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	123	1.2	1.5	2.5	2.1	2.5	-	6.6	¥5,285	12.0%	¥6,021	11.6%
子どものおこづかいや遊興費	73	2.8	1.7	2.9	0.9	0.5	-	0.8	¥1,302	3.0%	¥1,527	2.9%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	19	0.4	0.3	0.7	0.4	0.3	-	0.5	¥556	1.3%	¥673	1.3%
大人のおこづかいや遊興費	2	0.1	-	0.1	-	-	-	-	¥16	0.0%	¥4	0.0%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	229	1.6	2.3	6.3	4.3	2.0	0.1	14.1	¥10,226	23.2%	¥11,601	22.3%
その他	14	-	-	0.1	0.1	0.1	0.1	1.3	¥850	1.9%	¥1,142	2.2%
計	1,155	14.2	12.7	34.4	21.8	21.6	2.0	47.9	¥44,047	100.0%	¥52,000	100.0%

### ⑤ 居住地域別

居住地域別に子ども手当の使途をみると、「子どもの教育費等」で最も高いのは九州・沖縄（40.6%）で、全体平均と比較すると3.5ポイント高いが、いずれ地域も割合が高くて大きな差はみられない。「子どもの生活費」で最も高いのは北海道・東北（35.6%）で、全体平均と比較すると7.6ポイント高い。「子どもに限定しない家庭の日常生活費」で最も高いのは九州・沖縄（28.8%）で、全体平均と比較すると7.3ポイント高い。「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は、中国・四国は21.4%、中部・北陸は20.7%、北海道・東北は20.1%、近畿は19.2%、関東は17.8%、九州・沖縄は17.5%となっている。「子どものおこづかいや遊興費」で最も高いのは九州・沖縄（16.3%）で、全体平均と比較すると5.4ポイント高い。「大人のおこづかいや遊興費」は、いずれの地域も2.0%未満と少数で差がみられない。

図表Ⅱ-5-44 居住地域別の子ども手当の使途（複数回答）



居住地域別に子ども手当の用途別使用金額（満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均、図表Ⅱ-5-46）をみると、「子どもの教育費等」がすべての居住地域で最も多く使われている。

「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が2番目に多い居住地域は、九州・沖縄（10,745円）、北海道・東北（9,083円）である。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が2番目に多い世帯構成は、中国・四国（9,139円）、中部・北陸（8,545円）、近畿（8,333円）、関東（7,570円）である。

「子どもの生活費」の平均金額は、北海道・東北が7,778円で最も高く、近畿は4,889円で最も低い。

図表Ⅱ-5-45 居住地域別の使用金額（平均金額\_全体）

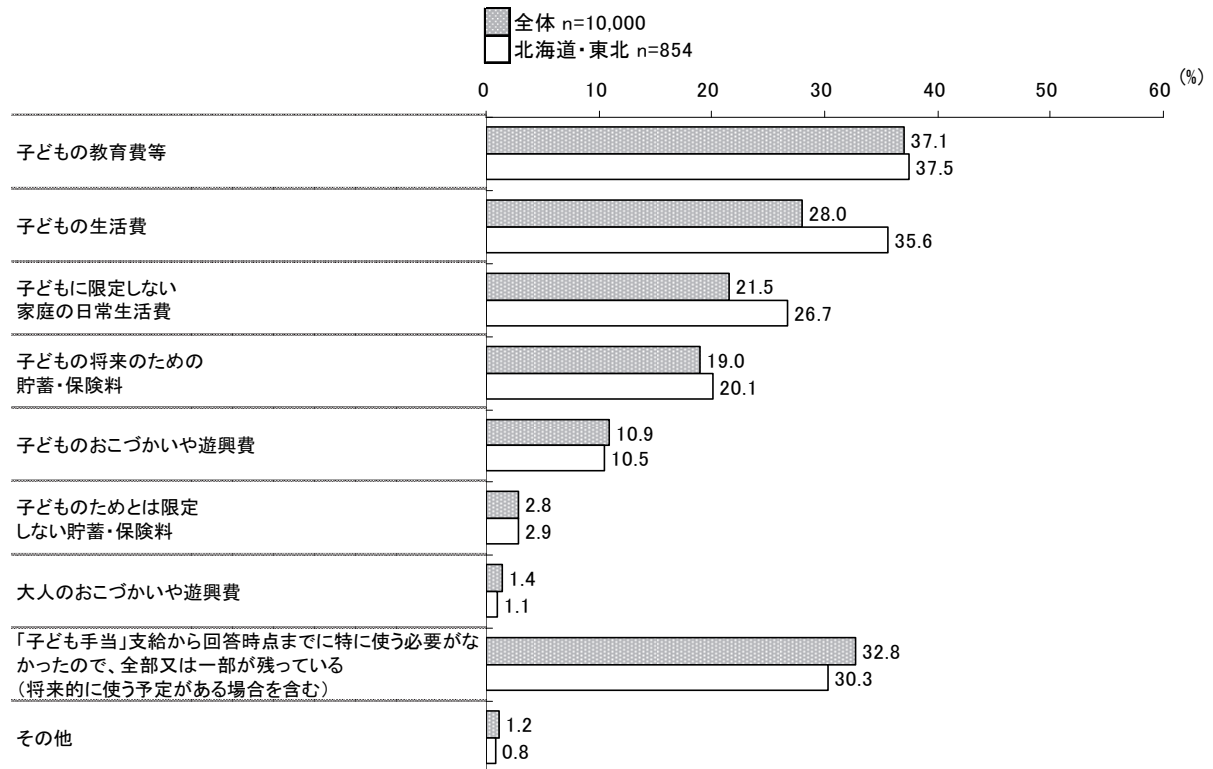
	北海道・東北		関東		中部・北陸		近畿		中国・四国		九州・沖縄		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥10,886	23.8%	¥12,239	27.3%	¥10,852	24.1%	¥11,250	25.4%	¥10,358	22.5%	¥11,541	25.2%	¥11,550	25.7%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥7,106	15.5%	¥6,405	14.3%	¥7,285	16.2%	¥6,823	15.4%	¥7,855	17.0%	¥6,003	13.1%	¥6,747	15.0%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥7,927	17.3%	¥6,131	13.7%	¥6,728	14.9%	¥6,301	14.2%	¥6,645	14.4%	¥8,863	19.3%	¥6,638	14.7%
子どもの生活費	¥7,201	15.7%	¥5,030	11.2%	¥5,097	11.3%	¥4,332	9.8%	¥5,528	12.0%	¥6,649	14.5%	¥5,248	11.7%
子どものおこづかいや遊興費	¥1,391	3.0%	¥1,792	4.0%	¥1,664	3.7%	¥1,633	3.7%	¥1,630	3.5%	¥2,139	4.7%	¥1,722	3.8%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥536	1.2%	¥651	1.5%	¥740	1.6%	¥1,003	2.3%	¥802	1.7%	¥314	0.7%	¥706	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	¥136	0.3%	¥240	0.5%	¥176	0.4%	¥240	0.5%	¥215	0.5%	¥204	0.4%	¥217	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥10,181	22.3%	¥11,847	26.4%	¥12,000	26.6%	¥12,251	27.7%	¥12,524	27.1%	¥9,837	21.4%	¥11,706	26.0%
その他	¥379	0.8%	¥499	1.1%	¥488	1.1%	¥452	1.0%	¥574	1.2%	¥338	0.7%	¥472	1.0%
全体	¥45,743	100.0%	¥44,834	100.0%	¥45,030	100.0%	¥44,285	100.0%	¥46,131	100.0%	¥45,888	100.0%	¥45,007	100.0%

図表Ⅱ-5-46 居住地域別の使用金額（平均金額\_満額(=52,000円)の支給を受けた者）

	北海道・東北		関東		中部・北陸		近畿		中国・四国		九州・沖縄		平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	¥12,614	24.3%	¥14,331	27.6%	¥12,553	24.1%	¥13,474	25.9%	¥11,623	22.4%	¥13,087	25.2%	¥13,466	25.9%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	¥9,083	17.5%	¥7,327	14.1%	¥8,191	15.8%	¥7,595	14.6%	¥7,750	14.9%	¥10,745	20.7%	¥7,946	15.3%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥8,096	15.6%	¥7,570	14.6%	¥8,545	16.4%	¥8,333	16.0%	¥9,139	17.6%	¥6,515	12.5%	¥7,936	15.3%
子どもの生活費	¥7,778	15.0%	¥5,618	10.8%	¥5,618	10.8%	¥4,889	9.4%	¥6,145	11.8%	¥7,469	14.4%	¥5,855	11.3%
子どものおこづかいや遊興費	¥1,631	3.1%	¥2,161	4.2%	¥2,075	4.0%	¥1,941	3.7%	¥1,874	3.6%	¥2,559	4.9%	¥2,070	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥582	1.1%	¥762	1.5%	¥821	1.6%	¥1,126	2.2%	¥951	1.8%	¥367	0.7%	¥805	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	¥162	0.3%	¥256	0.5%	¥218	0.4%	¥222	0.4%	¥267	0.5%	¥243	0.5%	¥236	0.5%
「子ども手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む。)	¥11,631	22.4%	¥13,366	25.7%	¥13,450	25.9%	¥13,905	26.7%	¥13,627	26.2%	¥10,594	20.4%	¥13,134	25.3%
その他	¥423	0.8%	¥611	1.2%	¥529	1.0%	¥515	1.0%	¥625	1.2%	¥420	0.8%	¥552	1.1%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%

北海道・東北における使途についてみると、「子どもの教育費等」が37.5%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(35.6%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(26.7%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(20.1%)、「子どものおこづかいや遊興費」(10.5%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.9%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.1%)と続いている。

図表Ⅱ-5-47 居住地域別の子ども手当の使途\_北海道・東北(複数回答)



使途別の使用金額（北海道・東北居住者の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」12,614 円 (24.3%)、次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」9,083 円 (17.5%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」8,096 円 (15.6%)、「子どもの生活費」7,778 円 (15.0%) という順になっている。

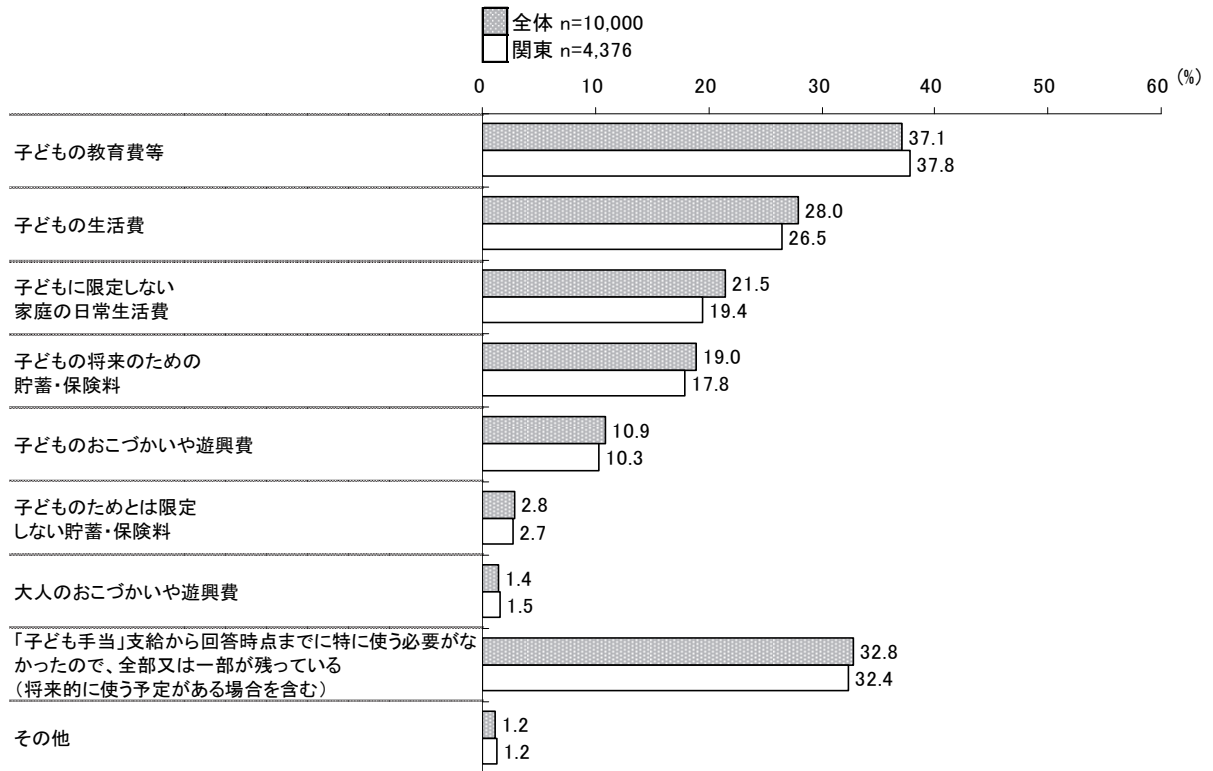
なお、北海道・東北居住者は全体の 8.5%である。

図表Ⅱ-5-48 居住地域別の子ども手当の使途別金額\_北海道・東北

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (居住地域別_北海道・東北) n=854	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 円 未 満	5 円	平均 金額	平均金額			
									金額	構成比	金額	構成比
回答者数	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
子どもの教育費等	320	1.8	2.7	7.0	8.0	8.7	0.6	8.8	¥10,886	23.8%	¥12,614	24.3%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	228	1.4	1.5	6.0	4.0	6.1	0.2	7.5	¥7,927	17.3%	¥9,083	17.5%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	172	1.3	1.1	2.5	2.3	3.9	0.8	8.3	¥7,106	15.5%	¥8,096	15.6%
子どもの生活費	304	2.6	4.4	11.8	8.0	5.2	0.1	3.5	¥7,201	15.7%	¥7,778	15.0%
子どものおこづかいや 遊興費	90	3.2	1.3	3.4	1.2	0.8	-	0.7	¥1,391	3.0%	¥1,631	3.1%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	25	0.5	0.7	0.8	0.4	-	-	0.6	¥536	1.2%	¥582	1.1%
大人のおこづかいや 遊興費	9	0.5	0.1	0.2	-	0.1	0.1	-	¥136	0.3%	¥162	0.3%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	259	2.9	2.0	4.8	3.2	3.4	-	14.1	¥10,181	22.3%	¥11,631	22.4%
その他	7	-	-	-	0.1	0.1	-	0.6	¥379	0.8%	¥423	0.8%
計	1,414	14.1	13.8	36.5	27.0	28.2	1.9	44.0	¥45,743	100.0%	¥52,000	100.0%

関東における使途についてみると、「子どもの教育費等」が37.8%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(26.5%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(19.4%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(17.8%)、「子どものおこづかいや遊興費」(10.3%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.7%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.5%)と続いている。

図表Ⅱ-5-49 居住地域別の子ども手当の使途\_関東(複数回答)





用途別の使用金額（関東居住者の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」14,331円(27.6%)、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」7,570円(14.6%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,327円(14.1%)、「子どもの生活費」5,618円(10.8%)という順になっている。

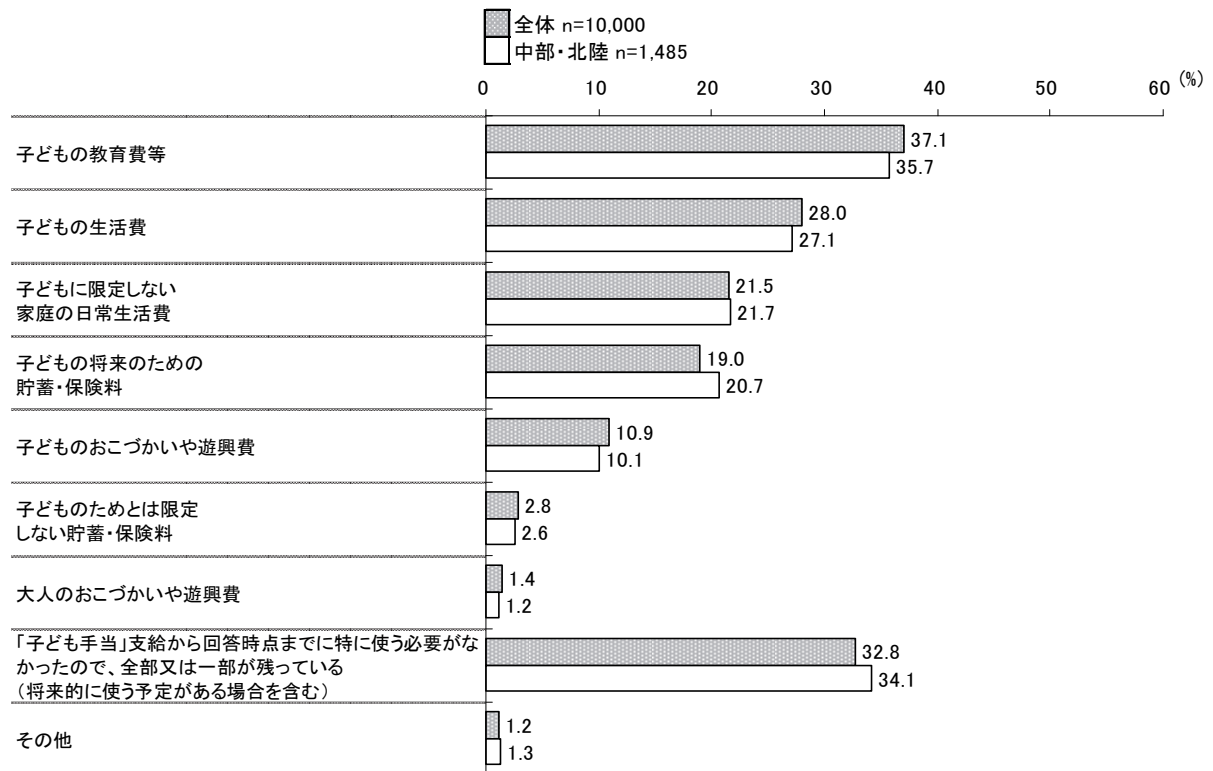
なお、関東居住者は全体の43.8%である。

図表Ⅱ-5-50 居住地域別の子ども手当の用途別金額\_関東

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (居住地域別_関東) n=4,376	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	1,653	1.2	1.8	7.2	5.8	9.1	1.0	11.7	¥12,239	27.3%	¥14,331	27.6%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	781	1.2	0.8	2.9	1.7	1.7	0.4	9.1	¥6,405	14.3%	¥7,570	14.6%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	850	1.1	1.0	4.0	3.0	3.2	0.2	6.9	¥6,131	13.7%	¥7,327	14.1%
子どもの生活費	1,159	3.0	3.5	9.2	4.5	3.3	0.2	2.8	¥5,030	11.2%	¥5,618	10.8%
子どものおこづかいや遊興費	452	2.1	1.6	3.0	1.3	1.0	0.1	1.2	¥1,792	4.0%	¥2,161	4.2%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	117	0.4	0.3	0.7	0.3	0.1	0.0	0.8	¥651	1.5%	¥762	1.5%
大人のおこづかいや遊興費	66	0.3	0.2	0.5	0.2	0.1	-	0.2	¥240	0.5%	¥256	0.5%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	1,417	1.9	1.1	5.4	3.5	3.6	0.2	16.7	¥11,847	26.4%	¥13,366	25.7%
その他	54	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.7	¥499	1.1%	¥611	1.2%
計	6,549	11.4	10.3	33.1	20.3	22.3	2.2	50.1	¥44,834	100.0%	¥52,000	100.0%

中部・北陸における使途についてみると、「子どもの教育費等」が35.7%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(27.1%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(21.7%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(20.7%)、「子どものおこづかいや遊興費」(10.1%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.6%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.2%)と続いている。

図表Ⅱ-5-51 居住地域別の子ども手当の使途\_中部・北陸（複数回答）



使途別の使用金額（中部・北陸居住者の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」12,553円(24.1%)、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」8,545円(16.4%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」8,191円(15.8%)、「子どもの生活費」5,618円(10.8%)という順になっている。

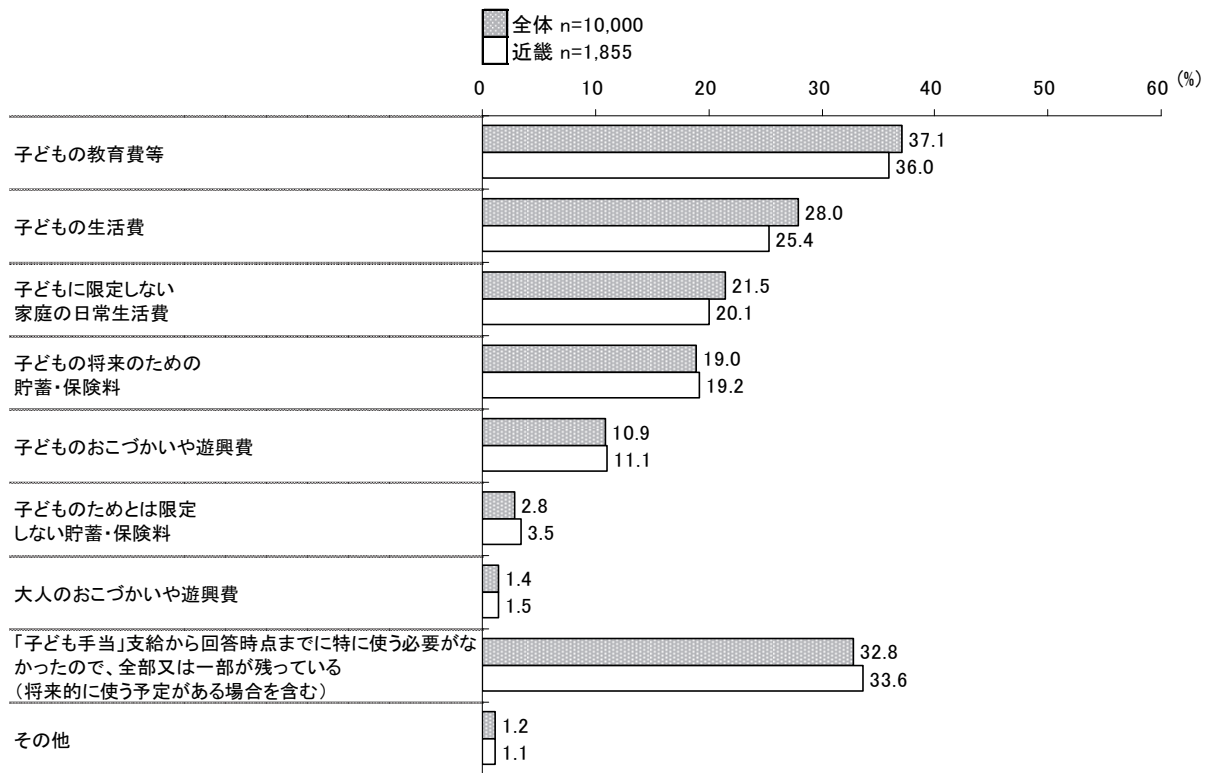
なお、中部・北陸居住者は全体の14.9%である。

図表Ⅱ-5-52 居住地域別の子ども手当の使途別金額\_中部・北陸

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (居住地域別_中部・北陸) n=1,485	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 0 0 0 0 0 円	平均 金額	平均金額			
									金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	530	1.1	2.0	8.3	5.5	8.6	1.1	9.2	¥10,852	24.1%	¥12,553	24.1%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	308	1.4	1.1	3.4	2.2	2.3	0.2	10.2	¥7,285	16.2%	¥8,545	16.4%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	322	2.0	1.1	3.8	3.5	3.5	0.5	7.3	¥6,728	14.9%	¥8,191	15.8%
子どもの生活費	403	3.0	3.0	9.8	5.4	3.4	0.1	2.4	¥5,097	11.3%	¥5,618	10.8%
子どものおこづかいや遊興費	150	1.5	2.0	3.4	1.1	1.0	-	1.0	¥1,664	3.7%	¥2,075	4.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	39	0.2	0.2	0.6	0.3	0.5	0.1	0.7	¥740	1.6%	¥821	1.6%
大人のおこづかいや遊興費	18	0.5	0.1	0.4	0.1	-	-	0.2	¥176	0.4%	¥218	0.4%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	507	2.2	1.5	5.5	4.6	4.2	0.1	16.0	¥12,000	26.6%	¥13,450	25.9%
その他	20	-	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.5	¥488	1.1%	¥529	1.0%
計	2,297	11.9	11.0	35.4	22.9	23.8	2.0	47.7	¥45,030	100.0%	¥52,000	100.0%

近畿における使途についてみると、「子どもの教育費等」が36.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(25.4%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(20.1%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(19.2%)、「子どものおこづかいや遊興費」(11.1%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.5%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.5%)と続いている。

図表Ⅱ-5-53 居住地域別の子ども手当の使途\_近畿（複数回答）



使途別の使用金額（近畿居住者の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」13,474円(25.9%)、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」8,333円(16.0%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,595円(14.6%)、「子どもの生活費」4,889円(9.4%)という順になっている。

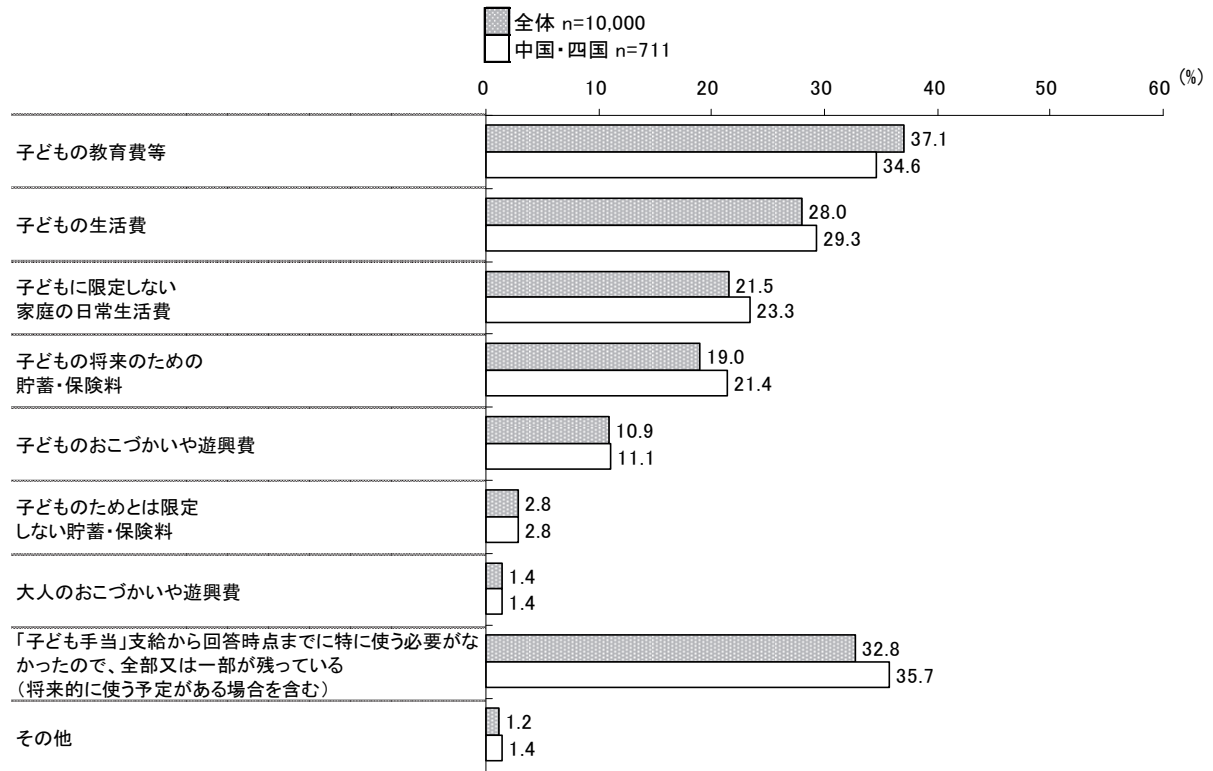
なお、近畿居住者は全体の18.6%である。

図表Ⅱ-5-54 居住地域別の子ども手当の使途別金額\_近畿

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (居住地域別_近畿) n=1,855	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を(52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等	668	1.3	2.3	7.4	5.7	7.4	1.0	10.9	¥11,250	25.4%	¥13,474	25.9%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	356	1.5	0.6	3.4	1.8	2.1	0.4	9.5	¥6,823	15.4%	¥8,333	16.0%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	373	1.1	1.2	4.1	2.7	4.5	-	6.6	¥6,301	14.2%	¥7,595	14.6%
子どもの生活費	471	3.1	3.2	9.9	4.9	2.4	0.3	1.7	¥4,332	9.8%	¥4,889	9.4%
子どものおこづかいや遊興費	205	2.6	1.9	3.1	1.5	1.3	-	0.6	¥1,633	3.7%	¥1,941	3.7%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	65	0.5	0.2	0.8	0.4	0.4	0.1	1.2	¥1,003	2.3%	¥1,126	2.2%
大人のおこづかいや遊興費	27	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	-	0.2	¥240	0.5%	¥222	0.4%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	623	1.8	1.1	5.7	3.9	3.9	0.1	17.0	¥12,251	27.7%	¥13,905	26.7%
その他	20	0.1	-	0.1	0.1	0.2	0.1	0.6	¥452	1.0%	¥515	1.0%
計	2,808	12.2	10.8	34.7	21.0	22.5	1.8	48.2	¥44,285	100.0%	¥52,000	100.0%

中国・四国における使途についてみると、「子どもの教育費等」が34.6%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(29.3%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(23.3%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(21.4%)、「子どものおこづかいや遊興費」(11.1%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.8%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.4%)と続いている。

図表Ⅱ-5-55 居住地域別の子ども手当の使途\_中国・四国（複数回答）



用途別の使用金額（中国・四国居住者の満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」11,623 円（22.4%）、次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」9,139 円（17.6%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,750 円（14.9%）、「子どもの生活費」6,145 円（11.8%）という順になっている。

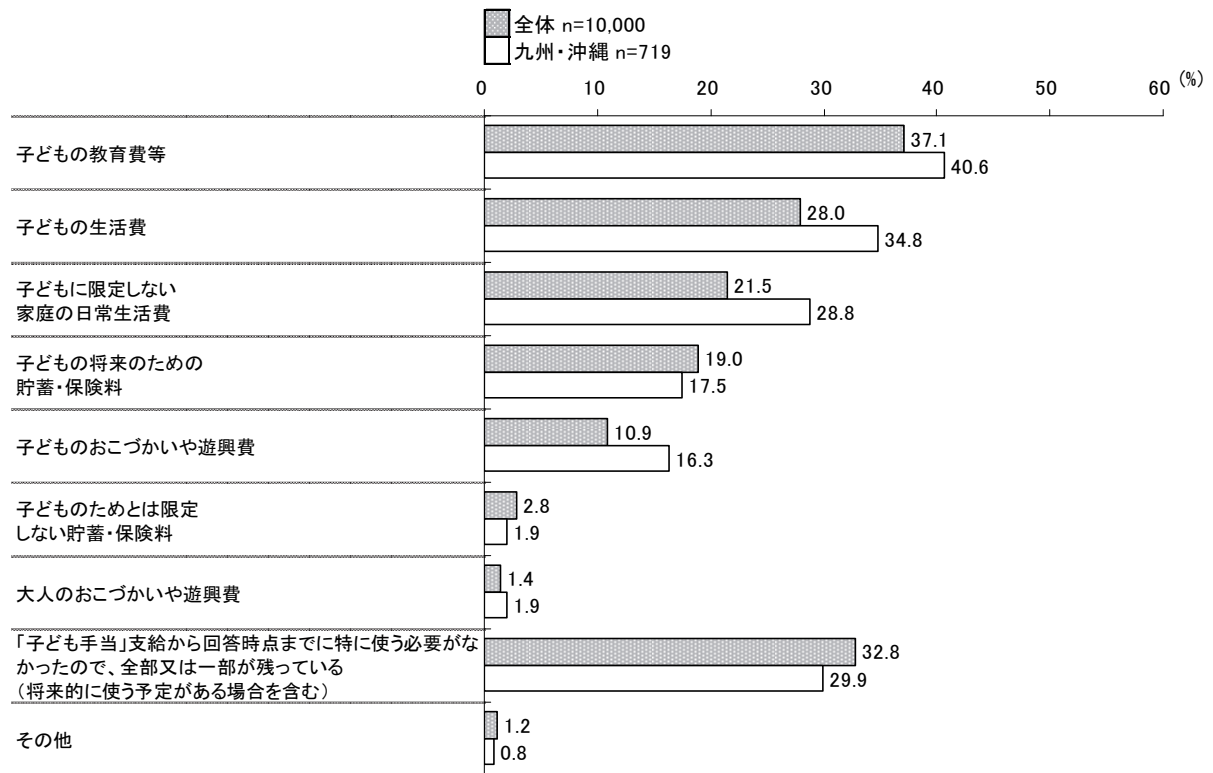
なお、中国・四国居住者は全体の 7.1%である。

図表Ⅱ-5-56 居住地域別の子ども手当の用途別金額\_中国・四国

・金額割合、平均金額の 母数(子ども手当支給者 (居住地域別_中国・四国) n=711)	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 0 円	平均 金額	※平均金額 支給額を 受けた者 (52,000円)			
									金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等	246	1.3	3.0	6.9	6.0	7.6	1.1	8.7	¥10,358	22.5%	¥11,623	22.4%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	152	1.0	1.1	3.0	2.4	2.8	0.3	10.8	¥7,855	17.0%	¥9,139	17.6%
子どもに限定しない家庭の日常生活費	166	2.3	1.4	4.8	3.7	4.2	0.6	6.5	¥6,645	14.4%	¥7,750	14.9%
子どもの生活費	208	2.8	4.1	10.1	5.8	3.2	0.3	3.0	¥5,528	12.0%	¥6,145	11.8%
子どものおこづかいや遊興費	79	2.5	2.3	3.2	1.1	1.0	-	1.0	¥1,630	3.5%	¥1,874	3.6%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	20	0.6	0.4	0.1	0.3	0.3	0.1	1.0	¥802	1.7%	¥951	1.8%
大人のおこづかいや遊興費	10	0.4	0.3	0.4	-	-	-	0.3	¥215	0.5%	¥267	0.5%
「子ども手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかった ので、全部又は一部が残っている (将来的に使う予定がある場合を含む)	254	2.7	1.4	6.0	4.2	4.1	0.1	17.2	¥12,524	27.1%	¥13,627	26.2%
その他	10	0.1	-	0.1	-	0.3	0.1	0.7	¥574	1.2%	¥625	1.2%
計	1,145	13.6	13.9	34.7	23.5	23.5	2.7	49.1	¥46,131	100.0%	¥52,000	100.0%

九州・沖縄における使途についてみると、「子どもの教育費等」が40.6%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(34.8%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(28.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(17.5%)、「子どものおこづかいや遊興費」(16.3%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(1.9%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.9%)と続いている。

図表Ⅱ-5-57 居住地域別の子ども手当の使途\_九州・沖縄（複数回答）





用途別の使用金額（九州・沖縄居住者の満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」13,087円（25.2%）、次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」10,745円（20.7%）、「子どもの生活費」7,469円（14.4%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」6,515円（12.5%）という順になっている。

なお、九州・沖縄居住者は全体の7.2%である。

図表Ⅱ-5-58 居住地域別の子ども手当の用途別金額\_九州・沖縄

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者 (居住地域別_九州・沖縄) n=719	5 0 0 0 0 円未 満	1 5 0 0 0 0 円未 満	2 1 0 0 0 0 円未 満	3 2 0 0 0 0 円未 満	5 3 0 0 0 0 円未 満	5 5 2 0 0 0 0 円未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均 金額	平均金額 を（52,000円）			
	回答者数	金額	構成比	金額	構成比							
子どもの教育費等	292	0.8	2.9	7.9	10.8	9.3	0.4	8.3	¥11,541	25.2%	¥13,087	25.2%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費	207	1.3	1.5	6.0	5.4	5.4	-	9.2	¥8,863	19.3%	¥10,745	20.7%
子どもの生活費	250	3.5	4.9	11.3	6.7	5.1	0.1	3.2	¥6,649	14.5%	¥7,469	14.4%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	126	0.4	1.3	3.5	1.9	2.5	0.6	7.4	¥6,003	13.1%	¥6,515	12.5%
子どものおこづかいや 遊興費	117	3.5	3.8	5.1	2.1	0.8	0.1	0.8	¥2,139	4.7%	¥2,559	4.9%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	14	0.3	0.7	0.4	0.3	-	-	0.3	¥314	0.7%	¥367	0.7%
大人のおこづかいや 遊興費	14	0.3	0.4	1.0	0.1	0.1	-	-	¥204	0.4%	¥243	0.5%
「子ども手当」支給から 回答時点までに特に 使う必要がなかった ので、全部又は一部が 残っている (将来的に使う予定が ある場合を含む)	215	2.9	1.9	5.4	3.2	3.3	-	13.1	¥9,837	21.4%	¥10,594	20.4%
その他	6	0.1	-	-	-	0.1	-	0.6	¥338	0.7%	¥420	0.8%
計	1,241	13.1	17.4	40.6	30.6	26.8	1.3	42.8	¥45,888	100.0%	¥52,000	100.0%

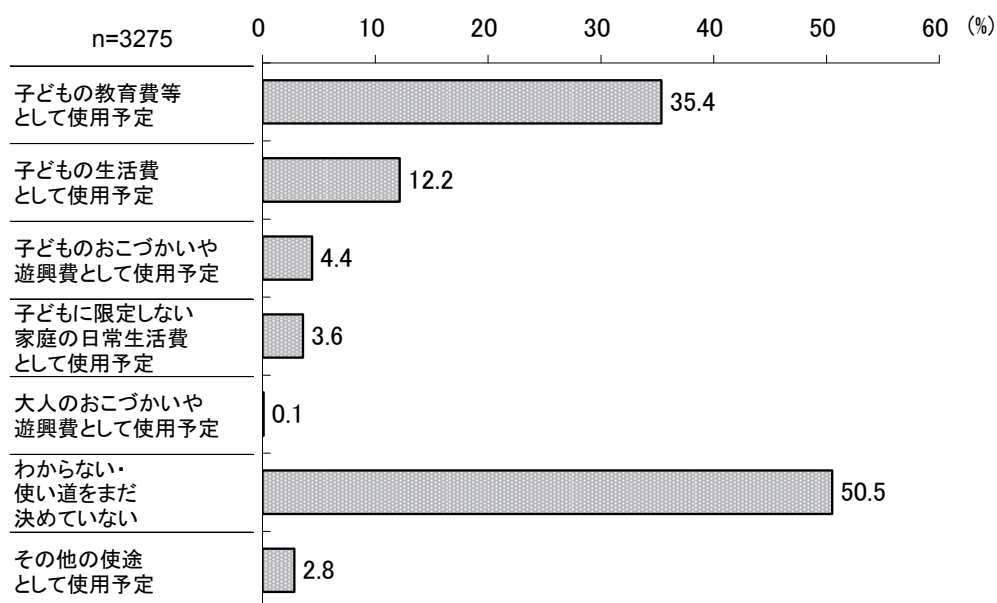
## (2) 残った「子ども手当」の使い道（使途予定）

### ① 全体\_使途予定

子ども手当支給後から 9 月末日の調査期間が終了した時点で 1 円以上残金がある人（3,275 サンプル）を対象に今後の使途予定について複数回答で回答を得た。（貯蓄・保険料を含む何かしらの使途に全額使用した人は対象外となっている。）

残金がある人の今後の使途予定として最も多いのは、「わからない・使い道をまだ決めていない」で 50.5%となっている。次いで、「子どもの教育費等として使用予定」(35.4%)、「子どもの生活費として使用予定」(12.2%)、「子どものおこづかいや遊興費として使用予定」(4.4%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定」(3.6%)、「その他の使途として使用予定」(2.8%)、「大人のおこづかいや遊興費として使用予定」(0.1%)と続いている。

図表 II-5-59 子ども手当の使途予定（複数回答）



使途予定別に使用金額（6月支給期に満額（52,000円）の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く21,924円（52.5%）となっており、2番目に高いのは「子どもの教育費等として使用予定」で14,032円（33.6%）、3番目に高いのは「子どもの生活費として使用予定」で2,479円（5.9%）と続いている。

図表Ⅱ-5-60 子ども手当の使途予定別金額

・金額割合、平均金額の母数は 支給後3カ月で1円以上残金がある人 (口座に入れたまま等の 意思のない貯蓄を含む) n=3,275	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 0 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を受けた者 (52,000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
子どもの教育費等 として使用予定	1,158	2.9	1.9	5.7	4.5	4.7	0.2	15.4	¥11,843	33.1%	¥14,032	33.6%
子どもの生活費 として使用予定	398	2.3	1.6	3.0	2.7	1.6	0.1	0.9	¥2,221	6.2%	¥2,479	5.9%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費 として使用予定	118	0.5	0.4	0.8	0.6	0.2	-	0.9	¥872	2.4%	¥1,069	2.6%
子どものおこづかいや 遊興費として使用予定	144	1.6	0.5	0.9	0.4	0.5	-	0.6	¥757	2.1%	¥961	2.3%
大人のおこづかいや 遊興費として使用予定	3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	¥5	0.0%	¥7	0.0%
わからない・使い道をまだ決 めていない	1,654	2.7	1.3	8.2	5.3	5.5	0.3	27.2	¥18,953	53.0%	¥21,924	52.5%
その他の使途 として使用予定	92	0.1	0.1	0.5	0.2	0.4	-	1.6	¥1,092	3.1%	¥1,301	3.1%
計	3,567	10.1	5.8	19.2	13.7	13.0	0.6	46.5	¥35,743	100.0%	¥41,773	100.0%

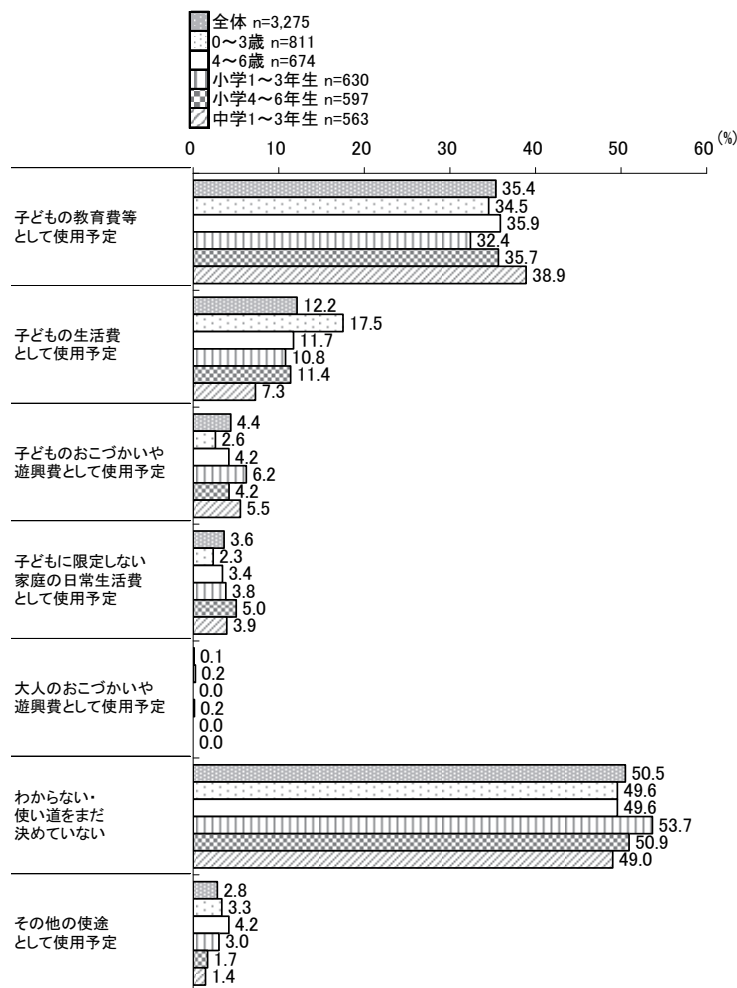
## ② 長子学齢区分別\_使途予定

調査終了時点で1円以上残金がある人について、長子学齢区分別に使途予定をみると、いずれの属性でも残金がある人のうち約半数が「わからない・使い道をまだ決めていない」と回答している。

2番目に多いのは「子どもの教育費等として使用予定」で、いずれの属性も30%強～40%弱となっている。

「子どもの生活費として使用予定」は、長子の学齢が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。最も高いのは0～3歳の17.5%であり、中学1～3年生の7.3%よりも10.2ポイント高くなっている。

図表Ⅱ-5-61 長子学齢区分別の子ども手当の使途予定（複数回答）



調査終了時点で1円以上残金がある人について、長子学齢区分別に使途予定金額（満額（52,000円）の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれの属性でも残金がある人のうち約半数が「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く、20,500～22,700円弱となっている。次いで、「子どもの教育費等として使用予定」が11,700～16,300円弱で2番目に高い。3番目には、いずれの属性も「子どもの生活費として使用予定」となっているが、平均金額をみると長子の学齢が低いほど金額が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-62 長子学齢区分別の子ども手当の使途予定別金額

・金額割合、平均金額の母数は支給後3カ月で1円以上残金がある人（口座に入れたまま等の意思のない貯蓄を含む） 全体：n=3,275 0～3歳：n=811 4～6歳：n=674 小学1～3年生：n=630 小学4～6年生：n=597 中学1～3年生：n=563	5	15	21	32	53	55	5	平均金額	※平均金額を支給を受けた者（52,000円）		
	0000円未満	0000円未満	0000円未満	0000円未満	0000円未満	0000円未満	0000円				
*子どもの教育費等として使用予定	回答者数							金額	構成比	金額	構成比
0 全体	1,158	2.9	1.9	5.7	4.5	4.7	0.2	15.4	¥11,843	33.1%	¥14,032 33.6%
1 0～3歳	280	2.3	1.7	5.7	3.3	5.3	0.2	15.9	¥12,048	33.0%	¥14,853 33.3%
2 4～6歳	242	3.6	2.1	5.2	3.7	5.2	0.1	16.0	¥12,113	32.9%	¥13,502 32.5%
3 小学1～3年生	204	3.7	1.6	4.8	5.9	4.1	0.2	12.2	¥10,127	29.1%	¥11,737 29.2%
4 小学4～6年生	213	3.0	2.2	6.4	5.0	3.2	0.3	15.6	¥11,634	33.6%	¥13,992 34.6%
5 中学1～3年生	219	2.1	2.1	6.9	4.8	5.7	-	17.2	¥13,365	37.7%	¥16,300 39.3%
*子どもの生活費として使用予定											
0 全体	398	2.3	1.6	3.0	2.7	1.6	0.1	0.9	¥2,221	6.2%	¥2,479 5.9%
1 0～3歳	142	2.6	2.1	4.4	3.8	2.8	0.1	1.6	¥3,547	9.7%	¥4,008 9.0%
2 4～6歳	79	1.9	1.9	3.1	1.6	1.9	0.1	1.0	¥2,268	6.2%	¥2,405 5.8%
3 小学1～3年生	68	2.9	1.3	2.5	2.7	0.5	-	1.0	¥1,710	4.9%	¥2,048 5.1%
4 小学4～6年生	68	3.0	1.7	2.2	2.8	1.5	-	0.2	¥1,703	4.9%	¥1,943 4.8%
5 中学1～3年生	41	0.9	0.7	2.3	2.1	0.9	-	0.4	¥1,375	3.9%	¥1,529 3.7%
*子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定											
0 全体	118	0.5	0.4	0.8	0.6	0.2	-	0.9	¥872	2.4%	¥1,069 2.6%
1 0～3歳	19	-	-	1.1	0.4	-	-	0.9	¥657	1.8%	¥887 2.0%
2 4～6歳	23	0.4	0.4	0.9	0.6	0.1	-	0.9	¥804	2.2%	¥1,021 2.5%
3 小学1～3年生	24	0.8	0.6	0.6	0.2	0.3	-	1.3	¥957	2.8%	¥1,170 2.9%
4 小学4～6年生	30	1.2	0.5	0.7	1.8	0.3	-	0.5	¥985	2.8%	¥1,002 2.5%
5 中学1～3年生	22	0.5	0.7	0.5	0.4	0.5	-	1.2	¥1,050	3.0%	¥1,347 3.2%
*子どものおこづかいや遊興費として使用予定											
0 全体	144	1.6	0.5	0.9	0.4	0.5	-	0.6	¥757	2.1%	¥961 2.3%
1 0～3歳	21	0.5	0.2	0.9	0.1	0.4	-	0.5	¥532	1.5%	¥688 1.5%
2 4～6歳	28	1.5	0.6	0.9	0.6	0.3	-	0.3	¥570	1.5%	¥662 1.6%
3 小学1～3年生	39	2.1	0.5	1.4	0.5	0.6	-	1.1	¥1,203	3.5%	¥1,520 3.8%
4 小学4～6年生	25	1.7	-	1.0	0.3	0.7	-	0.5	¥773	2.2%	¥958 2.4%
5 中学1～3年生	31	2.5	1.2	-	0.7	0.5	-	0.5	¥789	2.2%	¥1,094 2.6%
*大人のおこづかいや遊興費として使用予定											
0 全体	3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	¥5	0.0%	¥7 0.0%
1 0～3歳	2	-	0.1	0.1	-	-	-	-	¥21	0.1%	¥30 0.1%
2 4～6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 小学1～3年生	1	0.2	-	-	-	-	-	-	¥1	0.0%	¥1 0.0%
4 小学4～6年生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 中学1～3年生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
*わからない、使い道をまだ決めていない											
0 全体	1,654	2.7	1.3	8.2	5.3	5.5	0.3	27.2	¥18,953	53.0%	¥21,924 52.5%
1 0～3歳	402	2.6	1.2	9.6	3.9	5.3	0.6	26.3	¥18,276	50.0%	¥22,269 50.0%
2 4～6歳	334	1.9	1.0	6.2	5.2	4.6	0.6	30.0	¥19,569	53.1%	¥22,126 53.3%
3 小学1～3年生	338	3.7	1.3	8.3	5.4	7.1	0.3	27.6	¥19,774	56.8%	¥22,666 56.4%
4 小学4～6年生	304	2.5	1.7	7.5	6.5	6.0	-	26.6	¥18,870	54.4%	¥21,680 53.6%
5 中学1～3年生	276	2.8	1.4	9.4	5.9	4.3	-	25.2	¥18,359	51.8%	¥20,579 49.6%
*その他の使途として使用予定											
0 全体	92	0.1	0.1	0.5	0.2	0.4	-	1.6	¥1,092	3.1%	¥1,301 3.1%
1 0～3歳	27	0.1	-	0.4	0.1	0.4	-	2.3	¥1,447	4.0%	¥1,839 4.1%
2 4～6歳	28	0.3	-	0.9	-	0.9	-	2.1	¥1,546	4.2%	¥1,833 4.4%
3 小学1～3年生	19	-	0.3	0.5	0.5	0.6	-	1.1	¥1,021	2.9%	¥1,056 2.6%
4 小学4～6年生	10	-	-	0.3	0.2	-	-	1.2	¥697	2.0%	¥851 2.1%
5 中学1～3年生	8	-	-	0.4	0.2	0.2	-	0.7	¥536	1.5%	¥627 1.5%
合計平均金額（長子学齢区分別）											
0	全体								¥35,743	100.0%	¥41,773 100.0%
1	0～3歳								¥36,528	100.0%	¥44,574 100.0%
2	4～6歳								¥36,870	100.0%	¥41,549 100.0%
3	小学1～3年生								¥34,793	100.0%	¥40,198 100.0%
4	小学4～6年生								¥34,662	100.0%	¥40,426 100.0%
5	中学1～3年生								¥35,474	100.0%	¥41,476 100.0%

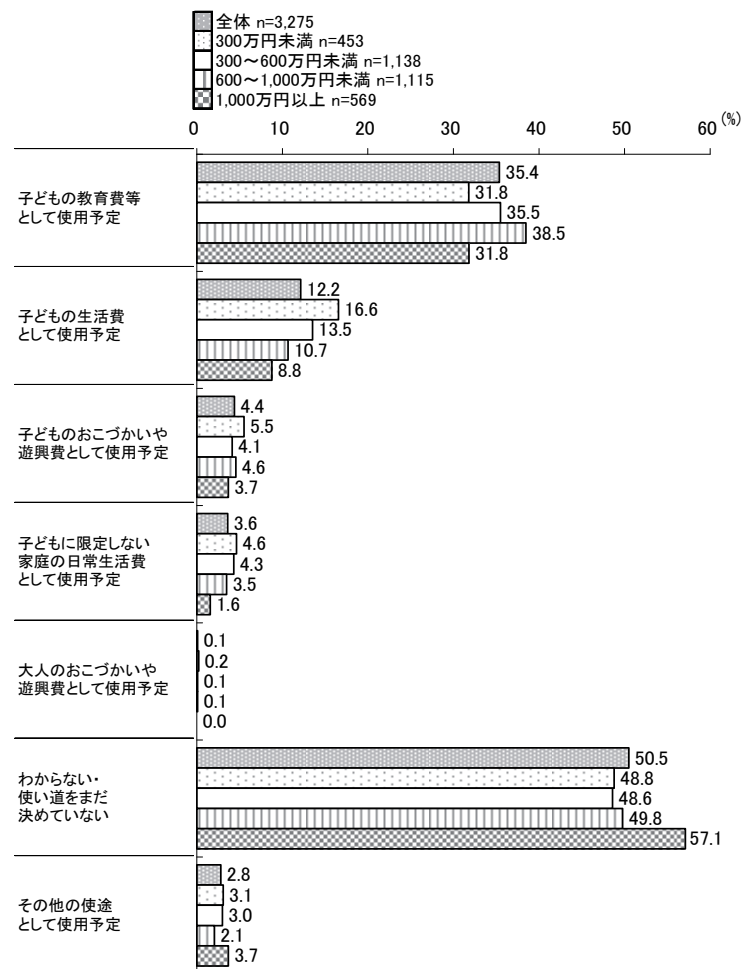
### ③ 世帯年収階級別\_使途予定

調査終了時点で1円以上残金がある人について、世帯年収階級別に使途予定をみると、いずれの属性でも残金がある人のうち約半数が「わからない・使い道をまだ決めていない」と回答している。特に、世帯年収1,000万円以上の世帯では57.1%と平均以上の割合を占めている。

2番目に多いのは「子どもの教育費等として使用予定」となっている。特に多いのは、600～1,000万円未満（38.5%）、世帯年収300～600万円未満（35.5%）の世帯で、平均よりも高い割合となっている。

「子どもの生活費として使用予定」と「子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定」では、世帯年収が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-63 世帯年収階級別の子ども手当の使途予定（複数回答）



調査終了時点で1円以上残金がある人について、世帯年収階級別に用途予定金額（満額（52,000円）の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれの属性でも「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く、18,900～27,900円弱となっている。次いで、いずれの属性でも「子どもの教育費等として使用予定」となっており、12,000～15,700円弱となっている。3番目には、いずれの属性も「子どもの生活費として使用予定」となっているが、平均金額をみると世帯年収が低いほど金額が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-64 世帯年収階級区分別の子ども手当の用途予定別金額

用途	回答者数	世帯年収階級別								平均金額		※平均金額（52,000円を受けた者）	
		5000円未満	10000円未満	20000円未満	30000円未満	50000円未満	50000円以上	平均金額	構成比	金額	構成比		
・金額割合、平均金額の母数は支給後3カ月で1円以上残金がある人（口座に入れたまま等の意思のない貯蓄を含む） 全体：n=3,275 300万円未満：n=453 300～600万円未満：n=1,138 600～1,000万円未満：n=1,115 1,000万円以上：n=569													
・子どもの教育費等													
0 全体	1,158	2.9	1.9	5.7	4.5	4.7	0.2	15.4	¥11,843	33.1%	¥14,032	33.6%	
1 300万円未満	144	2.9	2.0	5.7	4.6	4.4	0.2	11.9	¥9,947	30.4%	¥12,058	31.0%	
2 300～600万円未満	404	3.4	1.8	5.9	3.9	4.7	0.4	15.6	¥11,870	34.3%	¥14,033	35.1%	
3 600～1,000万円未満	429	2.4	2.0	5.6	5.4	5.3	0.1	17.8	¥13,404	36.0%	¥15,675	36.5%	
4 1,000万円以上	181	3.0	2.1	5.8	3.7	4.0	-	13.2	¥10,238	27.3%	¥12,302	27.0%	
・子どもの生活費として使用予定													
0 全体	398	2.3	1.6	3.0	2.7	1.6	0.1	0.9	¥2,221	6.2%	¥2,479	5.9%	
1 300万円未満	75	2.9	1.8	4.6	4.4	1.8	-	1.1	¥3,006	9.2%	¥3,317	8.5%	
2 300～600万円未満	154	2.4	1.7	3.7	2.5	2.3	0.1	0.9	¥2,555	7.4%	¥2,769	6.9%	
3 600～1,000万円未満	119	2.1	1.7	2.6	2.6	1.0	-	0.7	¥1,792	4.8%	¥1,947	4.5%	
4 1,000万円以上	50	2.1	1.1	1.2	1.8	1.4	0.2	1.1	¥1,770	4.7%	¥2,259	5.0%	
・子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定													
0 全体	118	0.5	0.4	0.8	0.6	0.2	-	0.9	¥872	2.4%	¥1,069	2.6%	
1 300万円未満	21	0.4	0.7	1.3	0.4	0.9	-	0.9	¥1,128	3.4%	¥1,465	3.8%	
2 300～600万円未満	49	0.7	0.5	1.1	0.9	0.3	-	0.8	¥905	2.6%	¥1,050	2.6%	
3 600～1,000万円未満	39	0.4	0.4	0.5	0.7	0.1	-	1.3	¥956	2.6%	¥1,184	2.8%	
4 1,000万円以上	9	0.5	-	0.2	0.2	-	-	0.7	¥439	1.2%	¥555	1.2%	
・子どものおこづかいや遊興費として使用予定													
0 全体	144	1.6	0.5	0.9	0.4	0.5	-	0.6	¥757	2.1%	¥961	2.3%	
1 300万円未満	25	2.0	0.7	0.9	0.4	0.4	-	1.1	¥1,014	3.1%	¥1,375	3.5%	
2 300～600万円未満	47	1.6	0.3	1.0	0.4	0.5	-	0.4	¥677	2.0%	¥871	2.2%	
3 600～1,000万円未満	51	1.6	0.7	0.8	0.4	0.7	-	0.4	¥735	2.0%	¥894	2.1%	
4 1,000万円以上	21	1.1	0.4	0.7	0.7	-	-	0.9	¥754	2.0%	¥954	2.1%	
・大人のおこづかいや遊興費として使用予定													
0 全体	3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	¥5	0.0%	¥7	0.0%	
1 300万円未満	1	-	0.2	-	-	-	-	-	¥15	0.0%	¥21	0.1%	
2 300～600万円未満	1	0.1	-	-	-	-	-	-	¥1	0.0%	¥1	0.0%	
3 600～1,000万円未満	1	-	-	0.1	-	-	-	-	¥9	0.0%	¥12	0.0%	
4 1,000万円以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・わからない、使い道をまだ決めていない													
0 全体	1,654	2.7	1.3	8.2	5.3	5.5	0.3	27.2	¥18,953	53.0%	¥21,924	52.5%	
1 300万円未満	221	3.8	2.0	11.5	4.4	5.3	-	21.9	¥16,307	49.9%	¥18,925	48.6%	
2 300～600万円未満	553	3.6	1.4	8.2	4.8	5.6	0.5	24.4	¥17,601	50.8%	¥20,096	50.3%	
3 600～1,000万円未満	555	1.8	1.0	7.0	5.7	6.2	0.3	27.9	¥19,416	52.2%	¥22,139	51.6%	
4 1,000万円以上	325	1.8	1.2	8.3	6.2	3.9	0.4	35.5	¥22,856	60.9%	¥27,830	61.0%	
・その他の用途として使用予定													
0 全体	92	0.1	0.1	0.5	0.2	0.4	-	1.6	¥1,092	3.1%	¥1,301	3.1%	
1 300万円未満	14	0.2	-	0.2	0.2	0.4	-	2.0	¥1,294	4.0%	¥1,752	4.5%	
2 300～600万円未満	34	0.1	0.2	0.7	0.2	0.5	-	1.3	¥1,029	3.0%	¥1,165	2.9%	
3 600～1,000万円未満	23	-	-	0.4	0.1	0.4	-	1.3	¥873	2.3%	¥1,052	2.5%	
4 1,000万円以上	21	0.2	-	0.5	0.4	0.4	-	2.3	¥1,489	4.0%	¥1,728	3.8%	
合計平均金額（世帯年収階級別）													
0 全体									¥35,743	100.0%	¥41,773	100.0%	
1 300万円未満									¥32,711	100.0%	¥38,913	100.0%	
2 300～600万円未満									¥34,638	100.0%	¥39,985	100.0%	
3 600～1,000万円未満									¥37,185	100.0%	¥42,903	100.0%	
4 1,000万円以上									¥37,546	100.0%	¥45,628	100.0%	

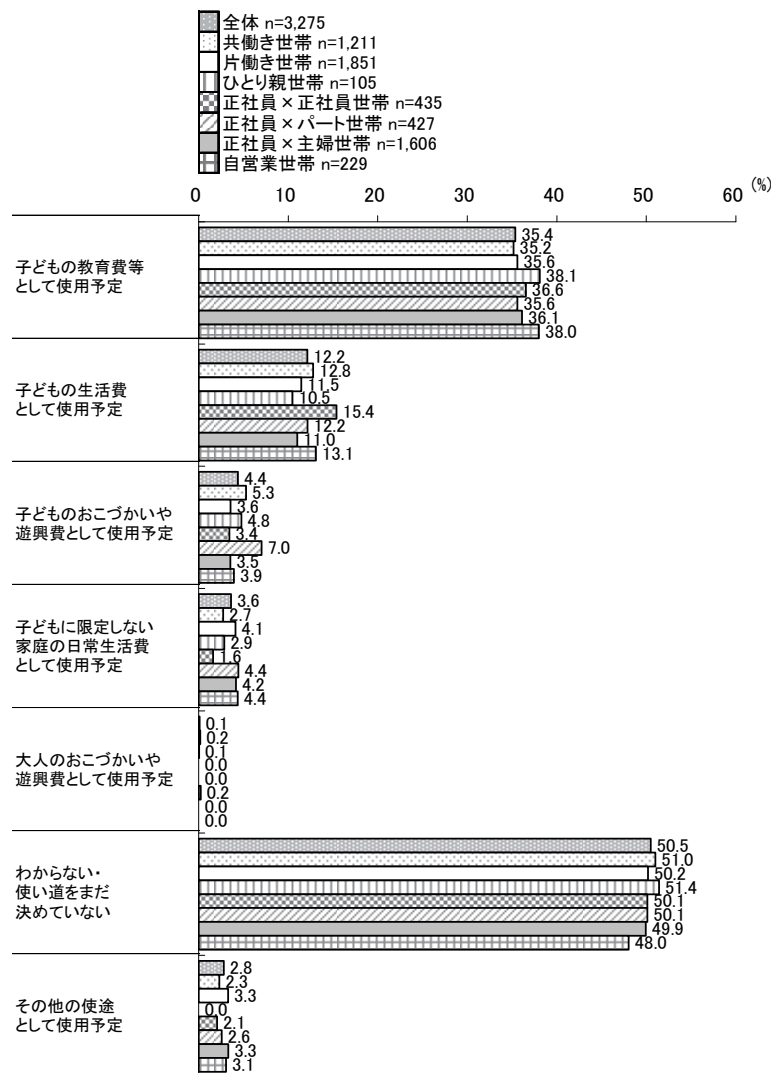
#### ④ 世帯構成別\_使途予定

調査終了時点で1円以上残金がある人について、世帯構成別に子ども手当の使途予定を比較すると、いずれの属性でも残金がある人のうち約半数が「わからない・使い道をまだ決めていない」と回答している。最も割合が少ないのは、自営業世帯の48.0%だが、他の属性は約50.0%であり差がみられない。

2番目に多いのは、いずれの属性も「子どもの教育費等として使用予定」となっている。共働き、片働き、ひとり親世帯で比較すると、最も割合が高いのはひとり親世帯の38.1%。両親の職業の組合せで比較すると、最も割合が高いのは自営業世帯で38.0%となっている。

3番目に多いのは、いずれの属性も「子どもの生活費として使用予定」となっている。共働き、片働き、ひとり親世帯で比較すると、最も割合が高いのは共働き世帯の12.8%。両親の職業の組合せで比較すると、最も割合が高いのは正社員×正社員世帯で15.4%となっている。

図表Ⅱ-5-65 世帯構成別の子ども手当の使途予定（複数回答）





調査終了時点で 1 円以上残金がある人について、世帯構成別に使途予定金額（満額（52,000 円）の支給を受けた人のうち、調査終了時点で 1 円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれの属性でも「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高くなっている。共働き、片働き、ひとり親世帯で比較すると、最も平均金額が高いのは共働き世帯の 22,296 円で、最も低いのはひとり親世帯の 20,053 円となっている。両親の職業の組合せで比較すると、父親が正社員の世帯ではいずれも平均 21,600～22,200 円弱で、自営業世帯では平均 19,335 円となっている。

次いで、いずれの属性においても「子どもの教育費等として使用予定」が高くなっている。共働き、片働き、ひとり親世帯で比較すると、最も平均金額が高いのはひとり親世帯の 15,603 円。両親の職業の組合せで比較すると、正社員×正社員世帯が平均 14,892 円で最も高くなっている。

3 番目には、いずれの属性においても「子どもの生活費として使用予定」となっている。共働き、片働き、ひとり親世帯で比較すると、最も平均金額が高いのは共働き世帯の 2,759 円。両親の職業の組合せで比較すると、正社員×正社員世帯が平均 3,964 円で最も高くなっている。



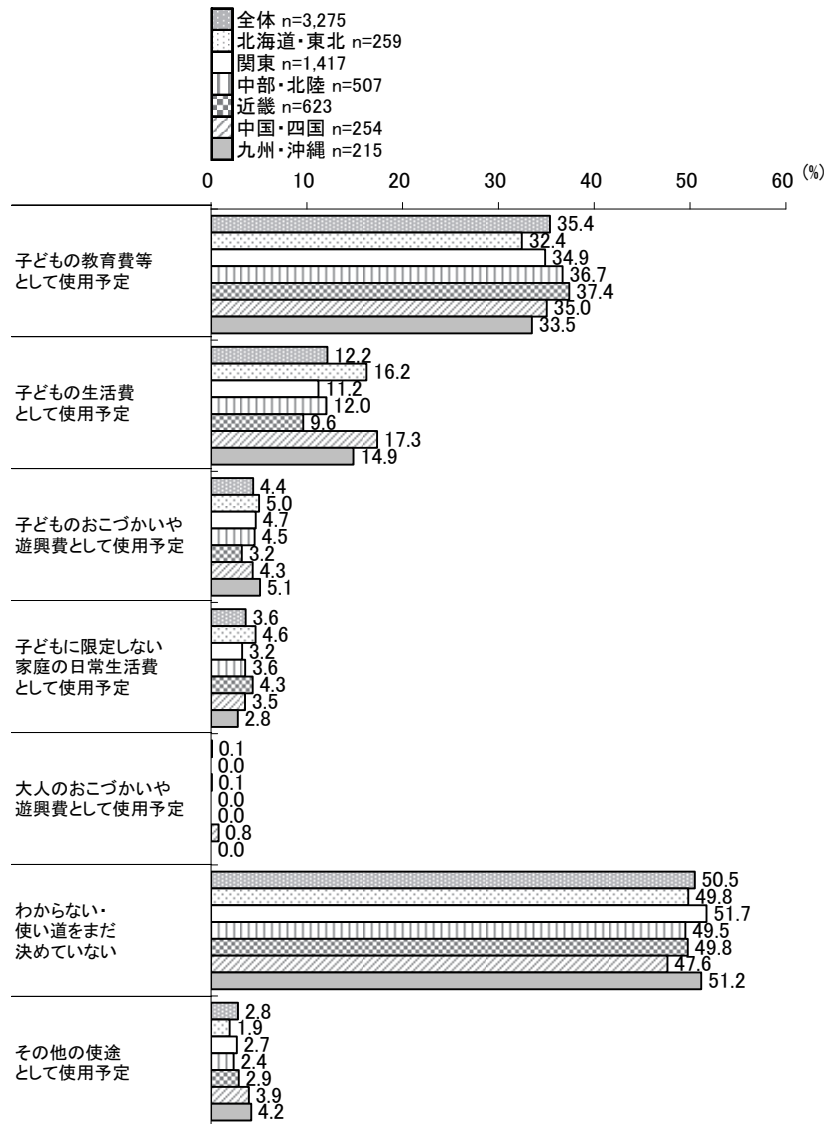
### ⑤ 居住地域別\_使途予定

調査終了時点で1円以上残金がある人について、居住地域別に子ども手当の使途予定を比較すると、いずれの地域でも残金がある人のうち約半数が「わからない・使い道をまだ決めていない」と回答している。最も割合が高いのは関東の51.7%で、最も割合が低いのは中国・四国の47.6%となっている。

2番目に多いのは、いずれの地域も「子どもの教育費等として使用予定」となっている。最も割合が高いのは近畿の37.4%で、最も割合が低いのは北海道・東北の32.4%となっている。

3番目に多いのは、いずれの地域も「子どもの生活費として使用予定」となっている。最も割合が高いのは中国・四国の17.3%で、最も割合が低いのは近畿の9.6%となっている。

図表Ⅱ-5-67 居住地域別の子ども手当の使途予定（複数回答）



調査終了時点で 1 円以上残金がある人について、居住地域別に使途予定金額（満額（52,000 円）の支給を受けた人のうち、調査終了時点で 1 円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれの地域でも「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高くなっている。最も平均金額が高いのは関東の 23,065 円で、最も低いのは中国・四国の 17,692 円となっている。

次いで、いずれの地域でも「子どもの教育費等として使用予定」が高くなっている。最も平均金額が高いのは近畿の 15,313 円で、最も低いのは北海道・東北の 10,673 円となっている。

3 番目には、いずれの地域にでも「子どもの生活費として使用予定」となっている。最も平均金額が高いのは北海道・東北の 3,849 円で、最も低いのは近畿の 1,728 円となっている。

図表Ⅱ-5-68 居住地域別の子ども手当の使途予定別金額

・金額割合、平均金額の母数は支給後3カ月で1円以上残金がある人(口座に入れたまま等の意思のない貯蓄を含む) 全体:n=3,275 北海道・東北:n=259 関東:n=1,417 中部・北陸:n=507 近畿:n=623 中国・四国:n=254 九州・沖縄:n=215	50000円未満	150000円未満	210000円未満	320000円未満	530000円未満	550000円未満	520000円	平均金額	※平均金額(支給額を受けた者)			
	50000円未満	150000円未満	210000円未満	320000円未満	530000円未満	550000円未満	520000円	金額	構成比	金額	構成比	
・子どもの教育費等として使用予定	回答者数											
0 全体	1,158	2.9	1.9	5.7	4.5	4.7	0.2	15.4	¥11,843	33.1%	¥14,032	33.6%
1 北海道・東北	84	3.9	3.1	4.6	5.0	5.4	-	10.4	¥9,503	28.0%	¥10,673	28.1%
2 関東	494	2.4	1.7	5.8	4.4	4.5	0.3	15.7	¥11,989	33.2%	¥14,596	33.6%
3 中部・北陸	186	3.6	1.8	5.5	4.9	5.9	-	15.0	¥12,056	33.7%	¥13,579	33.6%
4 近畿	233	2.7	1.9	5.9	4.0	5.8	0.3	16.7	¥12,941	35.9%	¥15,313	35.2%
5 中国・四国	89	3.5	2.4	5.5	4.3	2.0	-	17.3	¥11,496	31.8%	¥14,048	35.3%
6 九州・沖縄	72	3.7	1.9	7.0	4.2	2.8	-	14.0	¥10,422	30.3%	¥12,327	33.2%
・子どもの生活費として使用予定												
0 全体	398	2.3	1.6	3.0	2.7	1.6	0.1	0.9	¥2,221	6.2%	¥2,479	5.9%
1 北海道・東北	42	2.3	1.9	2.7	5.0	2.7	-	1.5	¥3,462	10.2%	¥3,849	10.1%
2 関東	159	2.1	1.9	2.3	2.4	1.7	0.1	0.8	¥2,046	5.7%	¥2,249	5.2%
3 中部・北陸	61	2.0	0.4	4.3	3.2	1.4	-	0.8	¥2,253	6.3%	¥2,339	5.8%
4 近畿	60	1.9	0.8	3.7	1.6	1.0	0.2	0.5	¥1,595	4.4%	¥1,728	4.0%
5 中国・四国	44	3.9	2.4	3.5	4.3	2.4	-	0.8	¥2,901	8.0%	¥3,489	8.8%
6 九州・沖縄	32	3.3	3.3	2.8	1.9	1.4	-	2.3	¥2,815	8.2%	¥3,321	8.9%
・子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定												
0 全体	118	0.5	0.4	0.8	0.6	0.2	-	0.9	¥872	2.4%	¥1,069	2.6%
1 北海道・東北	12	0.4	0.8	1.5	1.2	-	-	0.8	¥923	2.7%	¥1,097	2.9%
2 関東	46	0.7	0.4	0.6	0.5	0.1	-	0.9	¥747	2.1%	¥947	2.2%
3 中部・北陸	18	0.6	0.4	0.8	0.4	0.6	-	0.8	¥878	2.5%	¥1,089	2.7%
4 近畿	27	0.6	0.2	0.6	1.3	0.2	-	1.4	¥1,226	3.4%	¥1,477	3.4%
5 中国・四国	9	-	0.4	1.6	-	0.4	-	1.2	¥1,004	2.8%	¥1,277	3.2%
6 九州・沖縄	6	-	0.9	0.9	0.5	0.5	-	-	¥442	1.3%	¥405	1.1%
・子どものおこづかいや遊興費として使用予定												
0 全体	144	1.6	0.5	0.9	0.4	0.5	-	0.6	¥757	2.1%	¥961	2.3%
1 北海道・東北	13	1.9	0.4	1.9	0.4	0.4	-	-	¥539	1.6%	¥585	1.5%
2 関東	66	1.3	0.5	1.1	0.6	0.6	-	0.6	¥879	2.4%	¥1,167	2.7%
3 中部・北陸	23	2.0	0.4	1.0	0.2	0.4	-	0.6	¥700	2.0%	¥888	2.2%
4 近畿	20	1.3	0.3	0.2	0.3	0.3	-	0.8	¥664	1.8%	¥927	2.1%
5 中国・四国	11	1.2	1.2	-	0.8	0.4	-	0.8	¥800	2.2%	¥889	2.2%
6 九州・沖縄	11	2.8	0.5	0.9	-	0.9	-	-	¥567	1.6%	¥500	1.3%
・大人のおこづかいや遊興費として使用予定												
0 全体	3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	¥5	0.0%	¥7	0.0%
1 北海道・東北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 関東	1	-	-	0.1	-	-	-	-	¥7	0.0%	¥10	0.0%
3 中部・北陸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 近畿	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 中国・四国	2	0.4	0.4	-	-	-	-	-	¥30	0.1%	¥39	0.1%
6 九州・沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・わからない、使い道をまだ決めていない												
0 全体	1,654	2.7	1.3	8.2	5.3	5.5	0.3	27.2	¥18,953	53.0%	¥21,924	52.5%
1 北海道・東北	129	3.9	1.9	7.3	4.2	4.6	-	27.8	¥18,783	55.4%	¥21,027	53.3%
2 関東	733	2.3	1.1	8.5	5.1	5.7	0.5	28.5	¥19,259	53.4%	¥23,065	53.1%
3 中部・北陸	251	2.4	2.0	7.3	5.9	4.9	0.2	26.8	¥19,155	53.6%	¥21,709	53.8%
4 近畿	310	2.1	1.0	8.2	5.8	5.3	0.3	27.1	¥18,570	51.5%	¥22,678	52.1%
5 中国・四国	121	3.1	1.2	9.4	4.7	6.3	0.4	22.4	¥17,870	49.5%	¥17,692	44.4%
6 九州・沖縄	110	6.0	1.4	8.4	5.6	5.6	-	24.2	¥19,052	55.4%	¥19,467	52.5%
・その他の使途として使用予定												
0 全体	92	0.1	0.1	0.5	0.2	0.4	-	1.6	¥1,092	3.1%	¥1,301	3.1%
1 北海道・東北	5	0.4	-	-	0.4	-	-	1.2	¥710	2.1%	¥767	2.0%
2 関東	38	0.1	-	0.4	0.1	0.5	-	1.7	¥1,145	3.2%	¥1,367	3.1%
3 中部・北陸	12	-	0.2	0.8	0.4	0.2	-	0.8	¥696	1.9%	¥783	1.9%
4 近畿	18	-	-	0.8	0.2	0.5	-	1.4	¥1,090	3.0%	¥1,425	3.3%
5 中国・四国	10	-	-	-	-	0.4	-	3.5	¥1,996	5.5%	¥2,400	6.0%
6 九州・沖縄	9	0.5	0.5	0.9	0.5	0.9	-	0.9	¥1,073	3.1%	¥1,093	2.9%
合計平均金額(居住地域別)												
0 全体									¥35,743	100.0%	¥41,773	100.0%
1 北海道・東北									¥33,920	100.0%	¥37,998	100.0%
2 関東									¥36,072	100.0%	¥43,401	100.0%
3 中部・北陸									¥35,738	100.0%	¥40,387	100.0%
4 近畿									¥36,086	100.0%	¥43,548	100.0%
5 中国・四国									¥36,097	100.0%	¥39,834	100.0%
6 九州・沖縄									¥34,371	100.0%	¥37,113	100.0%

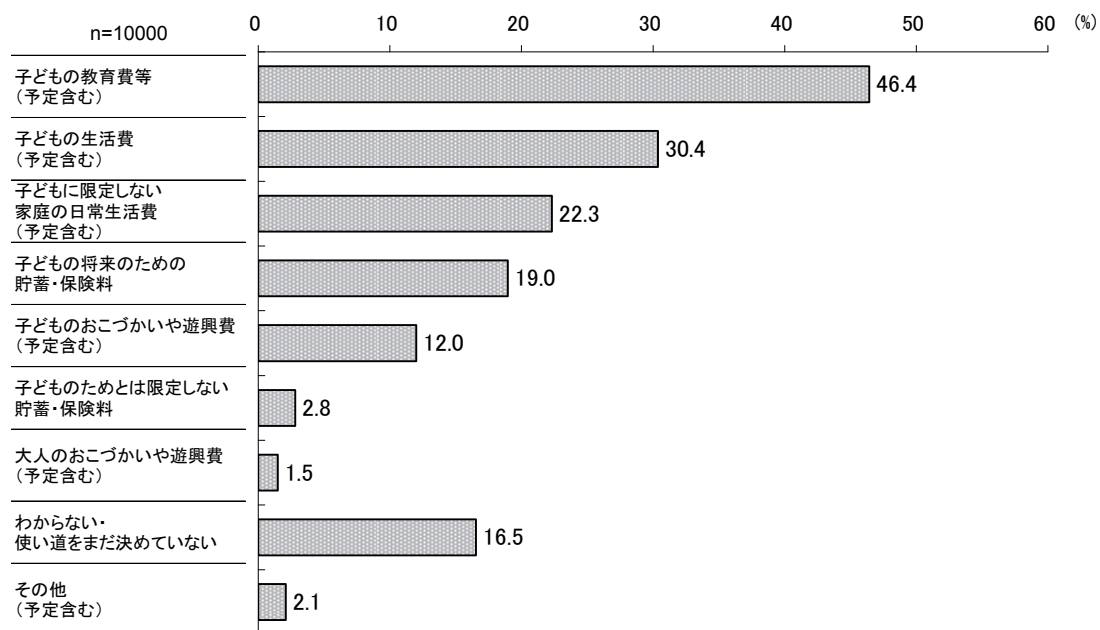
### (3) 子ども手当の使途（使用実績に使用予定を踏まえた状況）

(1)の調査期間中の使用実績の回答状況に、(2)の残額が1円以上ある者に聞いた使用予定の状況を踏まえた子ども手当の使途（予定含む）については、以下のとおりとなっている。

#### ① 全体\_使途（予定含む）

子ども手当の使途（予定含む）状況を見ると、最も多いのは、「子どもの教育費等（予定含む）」で46.4%となっている。次いで、「子どもの生活費（予定含む）」（30.4%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」（22.3%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（19.0%）、「わからない・使い道をまだ決めていない」（16.5%）、「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」（12.0%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」（2.8%）、「その他（予定含む）」（2.1%）、「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」（1.5%）と続いている。

図表Ⅱ-5-69 子ども手当の使途（予定含む）（複数回答）



6月の支給期に満額（平成23年2月分から5月分までの4か月分、52,000円）の支給を受けた人（7,611サンプル）の中で平均金額をみると、「子どもの教育費等（予定含む）」が17,878円（34.4%）で最も高い。2番目に高いのは、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」で8,282円（15.9%）。次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」で7,936円（15.3%）となっている。また、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」と「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は他の用途よりも極めて低い金額となっており、「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は238円（0.5%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」は805円（1.5%）と、いずれも1,000円未満にとどまっている。

図表Ⅱ-5-70 子ども手当の使用金額（予定含む）

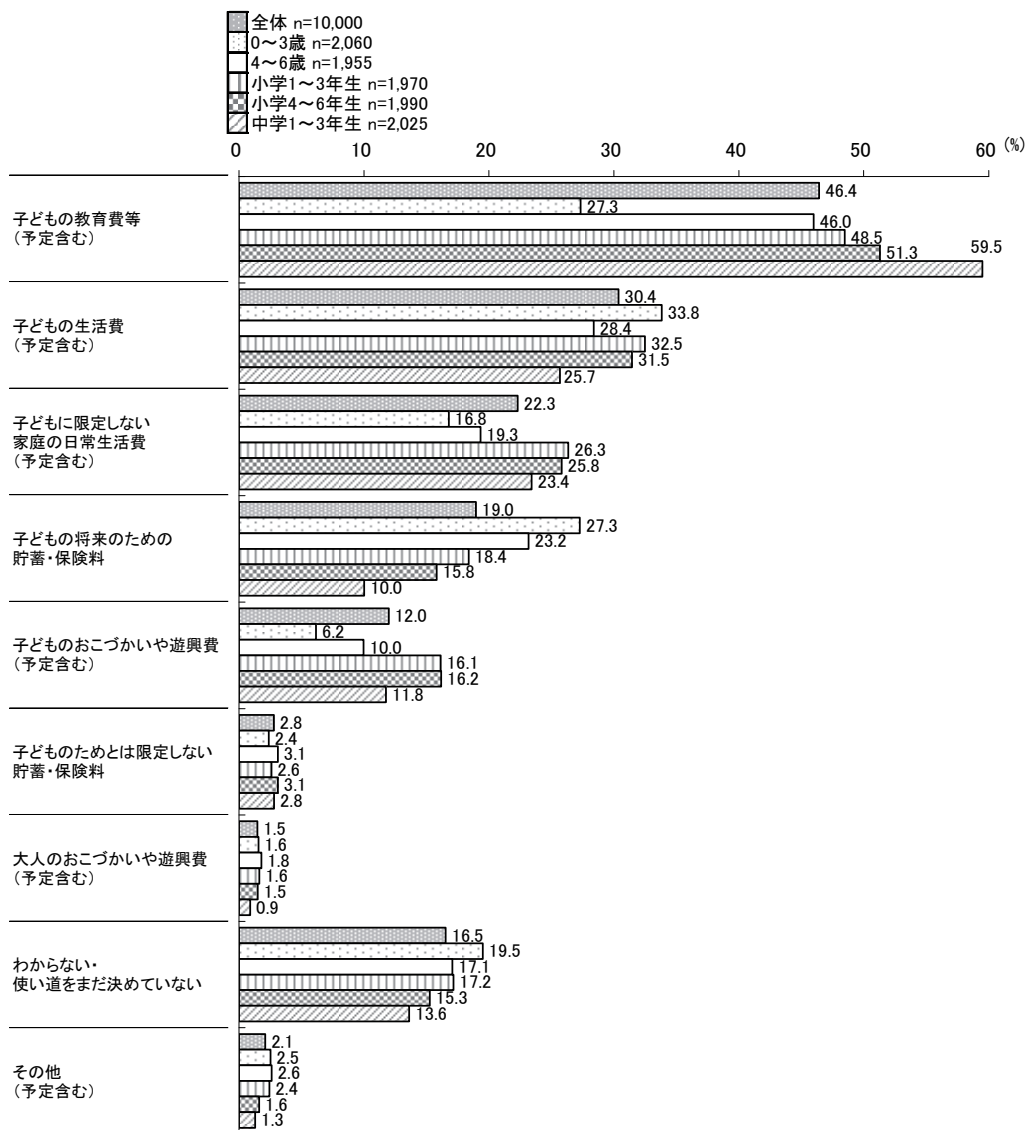
・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者  n=10,000	5 0 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 を（5 2 0 0 0 円）		
								金額	構成比	金額	構成比	
回答者数												
子どもの教育費等 （予定含む）	4,643	1.5	2.2	8.5	7.2	9.8	1.0	16.2	¥15,429	34.3%	¥17,878	34.4%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費 （予定含む）	2,231	1.5	1.2	4.5	3.5	4.0	0.2	7.5	¥6,923	15.4%	¥8,282	15.9%
子どもの将来の ための貯蓄・保険料	1,895	1.2	0.9	3.1	1.9	2.2	0.4	9.3	¥6,747	15.0%	¥7,936	15.3%
子どもの生活費 （予定含む）	3,038	3.2	3.6	10.3	5.8	4.2	0.2	3.1	¥5,975	13.3%	¥6,634	12.8%
子どものおこづかいや 遊興費（予定含む）	1,200	2.6	2.0	3.5	1.5	1.2	0.1	1.2	¥1,970	4.4%	¥2,372	4.6%
子どものためとは 限定しない貯蓄・ 保険料	280	0.4	0.3	0.7	0.3	0.2	0.1	0.8	¥706	1.6%	¥805	1.5%
大人のおこづかいや 遊興費（予定含む）	147	0.4	0.2	0.5	0.1	0.1	0.0	0.2	¥219	0.5%	¥238	0.5%
わからない、使い道をまだ決 めていない	1,654	0.9	0.4	2.7	1.7	1.8	0.1	8.9	¥6,207	13.8%	¥6,893	13.3%
その他 （予定含む）	209	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.0	1.2	¥830	1.8%	¥961	1.8%
計	15,297	11.8	10.9	33.9	22.2	23.9	2.1	48.2	¥45,007	100.0%	¥52,000	100.0%

## ② 長子学齢区分別\_使途（予定含む）

長子学齢区分別に、子ども手当の使途（予定含む）の状況を見ると、長子の学齢が高くなるほど「子どもの教育費等（予定含む）」の割合が高くなる傾向がみられる。逆に、「子どもの生活費（予定含む）」と「子どもの将来のための貯蓄・保険料」に関しては、長子の学齢が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。また、「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」と「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」に関しては、小学生の割合が高くなる傾向がみられる。「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」や「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、いずれの学齢においても約3%以下と低い割合となっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の割合は、長子の学齢が低くなるほど高くなっている。

図表Ⅱ-5-71 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む）（複数回答）





長子学齢区分別に、子ども手当の使途（予定含む）別の使用金額（満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、0～3 歳を除く他の全ての属性は「子どもの教育費等(予定含む)」が最も高い金額となっており、平均金額が約 17,000 円以上となっている。0～3 歳は「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が平均金額 12,874 円で最も高い。この「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は、4～6 歳でも 2 番目に高い金額となっており、長子が乳幼児の世帯では使用金額が高くなる傾向がみられる。一方で、長子が小学生・中学生の世帯では「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」が、教育費に次いで 2 番目に高くなっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」では、長子の学齢が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-72 長子学齢区分別の子ども手当の使用金額（予定含む）

・金額割合、平均金額の母数は子ども手当支給者  全体:n=10,000 0~3歳:n=2,060 4~6歳:n=1,955 小学1~3年生:n=1,970 小学4~6年生:n=1,990 中学1~3年生:n=2,025	5 0 0 0 円未 満	1 5 0 0 円未 満	2 1 0 0 円未 満	3 2 0 0 円未 満	5 3 0 0 円未 満	5 5 2 0 円未 満	5 2 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給を受けた者 (52000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
・子どもの教育費等(予定含む)	回答者数							金額	構成比	金額	構成比	
0 全体	4,643	1.5	2.2	8.5	7.2	9.8	1.0	16.2	¥15,429	34.3%	¥17,878	34.4%
1 0~3歳	563	1.7	1.4	5.6	3.6	5.3	0.3	9.5	¥8,692	20.4%	¥10,613	20.4%
2 4~6歳	899	1.9	2.1	6.9	5.8	10.9	1.2	17.2	¥15,924	34.3%	¥17,719	34.1%
3 小学1~3年生	955	1.2	2.8	10.5	9.4	10.4	1.0	13.2	¥14,878	32.5%	¥16,845	32.4%
4 小学4~6年生	1,021	1.6	2.9	10.3	8.8	9.9	1.1	16.7	¥16,378	36.1%	¥18,772	36.1%
5 中学1~3年生	1,205	1.2	1.8	9.2	8.6	12.9	1.5	24.2	¥21,406	47.7%	¥24,998	48.1%
・子どもに限定しない家庭の日常生活費(予定含む)												
0 全体	2,231	1.5	1.2	4.5	3.5	4.0	0.2	7.5	¥6,923	15.4%	¥8,282	15.9%
1 0~3歳	346	1.0	1.0	3.4	2.3	3.5	0.1	5.4	¥5,235	12.3%	¥6,521	12.5%
2 4~6歳	378	1.4	1.0	4.2	2.6	2.9	0.1	7.2	¥6,025	13.0%	¥7,033	13.5%
3 小学1~3年生	519	2.0	1.2	5.1	3.8	5.6	0.4	8.2	¥8,089	17.7%	¥9,544	18.4%
4 小学4~6年生	514	1.5	1.4	5.0	4.8	4.7	0.1	8.3	¥7,938	17.5%	¥9,510	18.3%
5 中学1~3年生	474	1.5	1.2	4.6	4.0	3.6	0.3	8.2	¥7,376	16.4%	¥8,721	16.8%
・子どもの将来のための貯蓄・保険料												
0 全体	1,895	1.2	0.9	3.1	1.9	2.2	0.4	9.3	¥6,747	15.0%	¥7,936	15.3%
1 0~3歳	562	0.6	0.9	5.1	2.6	3.3	0.6	14.2	¥10,276	24.1%	¥12,874	24.8%
2 4~6歳	453	1.3	1.0	3.2	1.8	2.9	0.4	12.4	¥8,670	18.7%	¥9,930	19.1%
3 小学1~3年生	362	1.6	1.0	2.4	1.9	2.2	0.5	8.7	¥6,465	14.1%	¥7,581	14.6%
4 小学4~6年生	315	1.7	1.0	2.7	2.2	1.6	0.4	6.5	¥5,011	11.1%	¥5,734	11.0%
5 中学1~3年生	203	0.9	0.5	1.9	1.1	1.0	0.0	4.5	¥3,284	7.3%	¥3,818	7.3%
・子どもの生活費(予定含む)												
0 全体	3,038	3.2	3.6	10.3	5.8	4.2	0.2	3.1	¥5,975	13.3%	¥6,634	12.8%
1 0~3歳	697	2.2	2.9	11.0	5.4	5.8	0.2	6.3	¥8,218	19.3%	¥9,601	18.5%
2 4~6歳	555	3.2	3.7	9.8	4.5	3.9	0.5	2.8	¥5,526	11.9%	¥6,042	11.6%
3 小学1~3年生	640	4.3	3.9	11.6	6.7	3.6	0.2	2.2	¥5,647	12.3%	¥6,189	11.9%
4 小学4~6年生	626	3.0	4.0	11.0	6.7	4.3	0.1	2.3	¥5,844	12.9%	¥6,455	12.4%
5 中学1~3年生	520	3.5	3.6	7.9	5.4	3.1	0.2	1.9	¥4,576	10.2%	¥5,089	9.8%
・子どものおこづかいや遊興費(予定含む)												
0 全体	1,200	2.6	2.0	3.5	1.5	1.2	0.1	1.2	¥1,970	4.4%	¥2,372	4.6%
1 0~3歳	127	1.1	0.8	2.1	0.7	0.7	0.0	0.6	¥1,067	2.5%	¥1,386	2.7%
2 4~6歳	195	2.7	1.7	2.5	1.4	0.9	-	0.8	¥1,456	3.1%	¥1,675	3.2%
3 小学1~3年生	318	3.4	2.7	4.8	2.1	1.3	0.1	1.7	¥2,641	5.8%	¥3,097	6.0%
4 小学4~6年生	322	3.2	2.1	4.9	2.3	2.1	0.1	1.7	¥2,880	6.4%	¥3,451	6.6%
5 中学1~3年生	238	2.8	2.5	3.2	0.9	0.9	0.1	1.3	¥1,840	4.1%	¥2,204	4.2%
・子どものためとは限定しない貯蓄・保険料												
0 全体	280	0.4	0.3	0.7	0.3	0.2	0.1	0.8	¥706	1.6%	¥805	1.5%
1 0~3歳	49	0.3	0.2	0.6	0.2	0.3	0.0	0.6	¥605	1.4%	¥683	1.3%
2 4~6歳	61	0.7	0.4	0.7	0.3	0.2	0.1	0.8	¥697	1.5%	¥803	1.5%
3 小学1~3年生	51	0.5	0.6	0.3	0.4	0.1	-	0.8	¥581	1.3%	¥640	1.2%
4 小学4~6年生	62	0.3	0.2	1.0	0.5	0.3	0.1	0.8	¥821	1.8%	¥899	1.7%
5 中学1~3年生	57	0.2	0.2	0.7	0.3	0.1	0.0	1.1	¥828	1.8%	¥992	1.9%
・大人のおこづかいや遊興費(予定含む)												
0 全体	147	0.4	0.2	0.5	0.1	0.1	0.0	0.2	¥219	0.5%	¥238	0.5%
1 0~3歳	32	0.2	0.5	0.4	0.0	0.1	-	0.2	¥239	0.6%	¥275	0.5%
2 4~6歳	35	0.7	0.2	0.4	0.2	0.2	-	0.2	¥267	0.6%	¥289	0.6%
3 小学1~3年生	32	0.3	0.2	0.8	0.2	0.1	0.1	0.1	¥247	0.5%	¥267	0.5%
4 小学4~6年生	30	0.6	0.1	0.5	0.1	0.2	-	0.1	¥180	0.4%	¥185	0.4%
5 中学1~3年生	18	0.2	0.1	0.2	0.1	-	-	0.2	¥164	0.4%	¥174	0.3%
・わからない、使い道をまだ決めていない												
0 全体	1,654	0.9	0.4	2.7	1.7	1.8	0.1	8.9	¥6,207	13.8%	¥6,893	13.3%
1 0~3歳	402	1.0	0.5	3.8	1.6	2.1	0.2	10.3	¥7,261	17.0%	¥8,697	16.7%
2 4~6歳	334	0.7	0.4	2.1	1.8	1.6	0.2	10.3	¥6,871	14.8%	¥7,380	14.2%
3 小学1~3年生	338	1.2	0.4	2.6	1.7	2.3	0.1	8.8	¥6,335	13.8%	¥6,871	13.2%
4 小学4~6年生	304	0.8	0.5	2.3	2.0	1.8	-	8.0	¥5,667	12.5%	¥6,245	12.0%
5 中学1~3年生	276	0.8	0.4	2.6	1.6	1.2	-	7.0	¥4,900	10.9%	¥5,374	10.3%
・その他(予定含む)												
0 全体	209	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.0	1.2	¥830	1.8%	¥961	1.8%
1 0~3歳	52	0.1	0.1	0.2	0.0	0.5	0.1	1.5	¥1,049	2.5%	¥1,351	2.6%
2 4~6歳	51	0.1	-	0.4	0.1	0.6	0.1	1.4	¥1,037	2.2%	¥1,128	2.2%
3 小学1~3年生	48	0.1	0.2	0.3	0.3	0.5	-	1.2	¥928	2.0%	¥965	1.9%
4 小学4~6年生	32	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	-	1.0	¥612	1.4%	¥749	1.4%
5 中学1~3年生	26	0.0	-	0.1	0.1	0.2	0.0	0.7	¥526	1.2%	¥629	1.2%
合計平均金額(長子学齢区分別)												
0	全体	¥45,007	100.0%	¥52,000	100.0%							
1	0~3歳	¥42,642	100.0%	¥52,000	100.0%							
2	4~6歳	¥46,473	100.0%	¥52,000	100.0%							
3	小学1~3年生	¥45,811	100.0%	¥52,000	100.0%							
4	小学4~6年生	¥45,331	100.0%	¥52,000	100.0%							
5	中学1~3年生	¥44,900	100.0%	¥52,000	100.0%							

## ■トピック1

### ～ 長子学齢区分別にみた「子どもの教育費等」への使用状況 ～

子ども手当の使途（予定含む）として最も多く使われている「子どもの教育費等」について、長子学齢区分別にみると、次のような特性が得られた。

なお、回答者には、「子ども教育費等」に該当する具体的な例として、以下の4つを例示したうえで、回答してもらっている。

- ・ 子どもの保育園・幼稚園・ベビーシッターなどの保育費
- ・ 子どもの学校給食や制服・通学費用、遠足などの学校教育費用
- ・ 子どもの学習塾・通信教育・家庭教師などの学校外教育費用
- ・ 子どもの楽器演奏・スポーツクラブなどの習い事にかかる費用

#### ● 調査期間中の使用状況（使用実績）

下図の（1）は調査期間中（6月の子ども手当支給後から9月末日まで）に子ども手当を「子どもの教育費等」として実際に使用した人の長子学齢区分別の状況である。

長子の学齢が高くなるほど、使った人の割合及び平均使用金額（満額＝52,000円を支給された人の平均使用金額。以下同じ。）は高くなる傾向がみられる。

中学1～3年生においては、回答者の半数以上が使用し（全体とのポイント差+14.4%）、平均使用金額をみると、支給された52,000円のうち約4割にあたる20,741円を使用しており（全体とのポイント差+14.0%、差額+7,275円）、他の学齢区分と比較して「子どものための教育費等」に対する支出の多さが顕著である。

一方、0～3歳においては、使用した人は回答者の14.8%（全体とのポイント差△22.3%）、平均使用金額をみると、支給された52,000円のうち9.3%、4,812円にとどまっており（全体とのポイント差△16.6%、差額△8,654円）、他の学齢区分と比較して「子どものための教育費等」に対する支出の少なさが顕著である。

#### ● 残った子ども手当の使い道（使用予定）

下図の（2）は子ども手当支給後から9月末日の調査期間が終了した時点で1円以上残金がある人に聞いた残金の使用予定のうち、「子どもの教育費等」に使用する予定と回答した人の長子学齢区分別の状況である。

回答者数及び平均使用予定金額（満額＝52,000円を支給された人の平均使用予定金額。以下同じ。）については、（1）と比べ、学齢区分別に顕著な差異は認められない。

0～3歳において、（1）では回答者数、平均使用金額ともに著しく低かったが、使途予定としてみると、回答者数及び平均使用予定額ともに他の学齢区分と遜色ない値となっており、今は使用しないが、子どもの成長後に「子どものための教育費等」に振り向けようとする傾向がうかがえる。

● 子ども手当の使途（予定含む）

下図の（３）は（１）の「使用実績」に（２）の「使用予定」を踏まえた状況である。

やはり、長子の学齢が高くなるほど、使用する人の割合及び平均使用（予定）金額（満額＝52,000円を支給された人の平均使用（予定）金額。以下同じ。）は高くなる傾向がみられ、中学1～3年生においては、回答者の約6割の人が使用し（全体とのポイント差+13.1%）、平均使用（予定）金額をみると、支給された52,000円のうち約半分にあたる24,998円を使用しており（全体とのポイント差+13.7%、差額+7,120円）、他の学齢区分と比較して「子どものための教育費等」に対する支出（予定含む）の多さが顕著である

（１） 調査期間中の使用状況（使用実績）

*長子学齢区分	n	「子どものための教育費等」 に使ったと回答した人		満額(52,000円)支給された人の 平均使用金額 (使用率:対52,000円)
全体	10,000	3,709	(37.1%)	13,466 円 (25.9%)
0～3歳	2,060	304	(14.8%)	4,812 円 (9.3%)
4～6歳	1,955	703	(36.0%)	13,216 円 (25.4%)
小学1～3年生	1,970	806	(40.9%)	13,288 円 (25.6%)
小学4～6年生	1,990	854	(42.9%)	14,742 円 (28.4%)
中学1～3年生	2,025	1,042	(51.5%)	20,741 円 (39.9%)

（２） 残った子ども手当の使い道（使用予定）

*長子学齢区分	n	「子どものための教育費等」 に使う予定と回答した人		満額(52,000円)支給された人の 平均使用予定金額 (使用率:対満額支給者における 残金ベース)
全体	3,275	1,158	(35.4%)	14,032 円 (33.6%)
0～3歳	811	280	(34.5%)	14,853 円 (33.3%)
4～6歳	674	242	(35.9%)	13,052 円 (32.5%)
小学1～3年生	630	204	(32.4%)	11,737 円 (29.2%)
小学4～6年生	597	213	(35.7%)	13,992 円 (34.6%)
中学1～3年生	563	219	(38.9%)	16,300 円 (39.3%)

（３） 子ども手当の使途（予定含む）

*長子学齢区分	n	「子どものための教育費等」 に使うと回答した人(予定含む)		満額(52,000円)支給された人の 平均使用(予定)金額 (使用率:対52,000円)
全体	10,000	4,643	(46.4%)	17,878 円 (34.4%)
0～3歳	2,060	563	(27.3%)	10,613 円 (20.4%)
4～6歳	1,955	899	(46.0%)	17,719 円 (34.1%)
小学1～3年生	1,970	955	(48.5%)	16,845 円 (32.4%)
小学4～6年生	1,990	1,021	(51.3%)	18,772 円 (36.1%)
中学1～3年生	2,025	1,205	(59.5%)	24,998 円 (48.1%)

## ■ トピック2

### ～長子の通学・通所状況による支出構造～

長子の通学・通所状況の違いにより、子ども手当の使途（予定含む）及び平均使用（予定）金額に特性があるかを長子学齢区分別の公・私立等の場合についてみると、次のような特性が得られた。

#### ● 未就学児

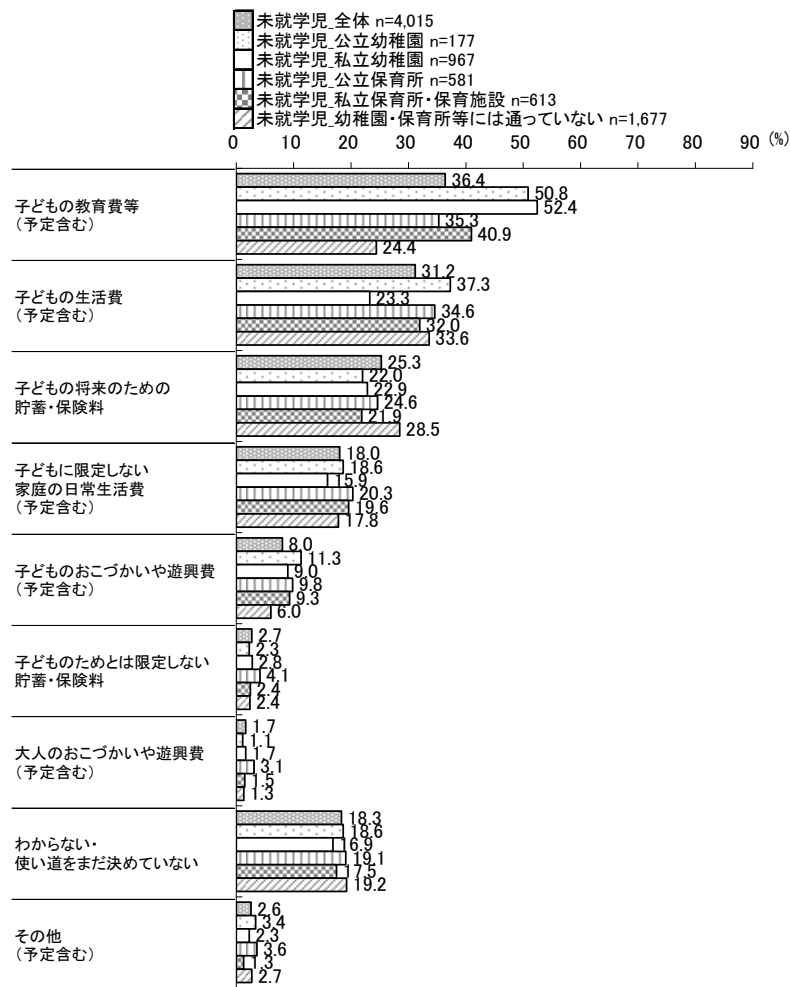
未就学児（4,015 サンプル）の状況をみると、子ども手当の使途（予定含む）として、幼稚園・保育所等には通っていない人以外の属性では「子どもの教育費等（予定含む）」と回答した人が最も多くなっており、次いで「子どもの生活費（予定含む）」、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が続いている。特に幼稚園に通園している場合は、公立と私立のいずれも「子どもの教育費等（予定含む）」の回答者が5割を超えている。公立保育所では、「子どもの教育費等（予定含む）」が「子どもの生活費（予定含む）」と比べ僅差で1位となっている。幼稚園・保育所等には通っていない人については、「子どもの生活費（予定含む）」が最も高くなっており、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」、「子どもの教育費等（予定含む）」が続いている。

一方、使途別、通学・通所区分別の平均使用（予定）金額（満額支給者）をみってみる。

まず、幼稚園・保育所等には通っていない人以外の属性については「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い。この中で、幼稚園に通園している場合の方が保育所等に通所している場合よりも比較的支出額が高く、特に私立幼稚園の場合は21,485円（41.3%）となっており、公立保育所の場合（11,929円、22.9%）と比べると金額の差は9,556円、ポイント差は18.4ポイント高くなっている。

次に、幼稚園・保育所等には通っていない人については、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（13,153円、25.3%）で最も高くなっており、他の属性で最も高かった「子どもの教育費等（予定含む）」は9,338円（18.0%）で「子どもの生活費（予定含む）」（9,953円、19.1%）に次いで第3位となっている。

・通学・通所区分別子ども手当の使途（予定含む）\_未就学児



・通学・通所区分別こども手当の使用金額（予定含む）\_未就学児

	未就学児 公立幼稚園		未就学児 私立幼稚園		未就学児 公立保育所		未就学児 私立保育所 ・保育施設		未就学児 幼稚園・保育所等 には通って いない		未就学児 平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等 (予定含む)	¥17,196	33.1%	¥21,485	41.3%	¥11,929	22.9%	¥15,557	29.9%	¥9,338	18.0%	¥14,335	27.6%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥8,843	17.0%	¥9,943	19.1%	¥11,298	21.7%	¥10,093	19.4%	¥13,153	25.3%	¥11,332	21.8%
子どもの生活費 (予定含む)	¥6,339	12.2%	¥4,554	8.8%	¥7,312	14.1%	¥8,579	16.5%	¥9,953	19.1%	¥7,737	14.9%
子どもに限定しない家庭の日常生活費 (予定含む)	¥5,608	10.8%	¥5,449	10.5%	¥7,640	14.7%	¥6,913	13.3%	¥7,507	14.4%	¥6,789	13.1%
子どものおこづかいや遊興費 (予定含む)	¥1,951	3.8%	¥1,519	2.9%	¥1,619	3.1%	¥1,865	3.6%	¥1,331	2.6%	¥1,538	3.0%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥678	1.3%	¥717	1.4%	¥798	1.5%	¥785	1.5%	¥739	1.4%	¥746	1.4%
大人のおこづかいや遊興費 (予定含む)	¥727	1.4%	¥162	0.3%	¥607	1.2%	¥210	0.4%	¥220	0.4%	¥282	0.5%
わからない・使い道をまだ決めていない	¥8,930	17.2%	¥7,146	13.7%	¥8,919	17.2%	¥7,248	13.9%	¥8,475	16.3%	¥8,007	15.4%
その他 (予定含む)	¥1,727	3.3%	¥1,025	2.0%	¥1,879	3.6%	¥749	1.4%	¥1,282	2.5%	¥1,234	2.4%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%

## ● 小学生

小学生（3,960 サンプル）の状況をみると、子ども手当の使途（予定含む）として、公立小学校及び私立小学校に通っている人では「子どもの教育費等（予定含む）」と回答した人が最も多くなっており、次いで「子どもの生活費（予定含む）」、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」が続いている。

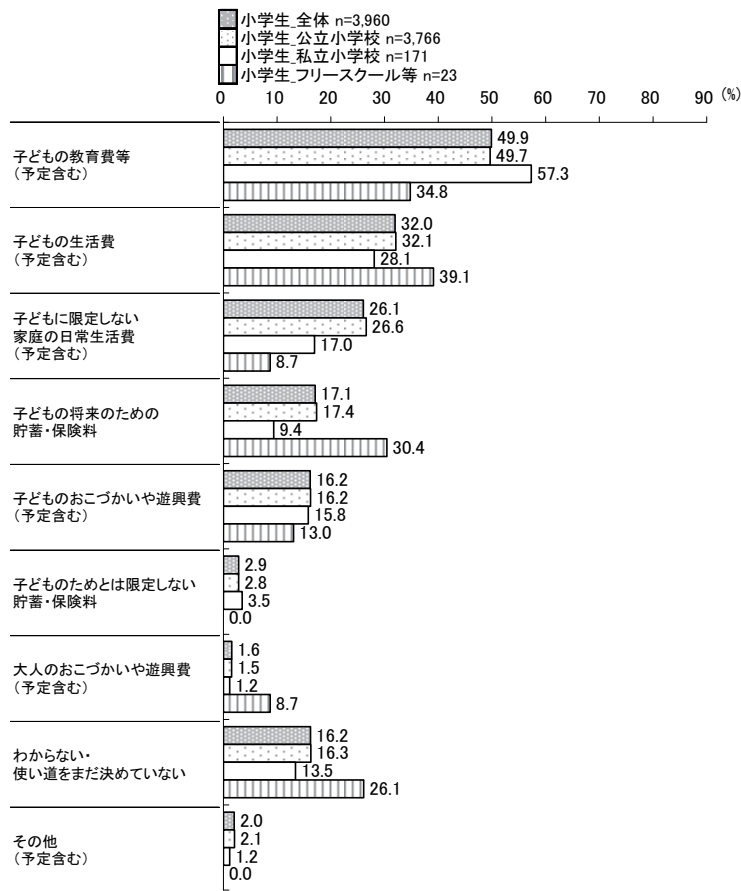
公立小学校と私立小学校を比較すると、公立小学校の方が高いのは「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」（9.6 ポイント差）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（8.0 ポイント差）、「子どもの生活費（予定含む）」（4.0 ポイント差）の 3 項目となっているのに対して、私立小学校の方が高いのは「子どもの教育費等（予定含む）」（7.6 ポイント差）の 1 項目のみである。フリースクール等に通っている人については、サンプル数が 23 サンプルと僅少のため参考値ではあるが、公立または私立小学校に通っている人とは傾向が異なり、「子どもの生活費」が最も高く、次いで「子どもの教育費等（予定含む）」、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が続いている。

一方、使途別、通学・通所区分別の平均使用（予定）金額（満額支給者）をみってみる。

まず、フリースクール等以外の場合は、公立小学校、私立小学校ともに「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高く、公立小学校の場合は 17,504 円、33.7%となっており、私立小学校の場合は 26,694 円、51.3%となっている。私立小学校の方が公立小学校よりも金額で 9,190 円、ポイント差で 17.6%高くなっている。次いで公立小学校、私立小学校ともに「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」が続き、公立小学校では 9,663 円、18.6%、私立小学校では 6,775 円、13.0%となっている。公立小学校では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（6,784 円、13.0%）が、私立小学校では「わからない・使い道をまだ決めていない」（6,441 円、12.4%）が第 3 位となっている。

次に、フリースクール等に通っている人については、サンプル数が 23 サンプルと僅少であるため参考値ではあるが、「子どもの生活費（予定含む）」が 15,625 円、30.0%と最も高くなっており、次いで「わからない・使い道をまだ決めていない」（15,600 円、30.0%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（11,400 円、21.9%）が続いている。公立小学校、私立小学校の場合ともに最も高かった「子どもの教育費等（予定含む）」については、第 4 位（9,325 円、17.9%）となっている。

・通学・通所区分別子ども手当の使途（予定含む）\_小学生



・通学・通所区分別こども手当の使用金額（予定含む）\_小学生

	小学生 公立小学校		小学生 私立小学校		小学生 フリースクール等		小学生 平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等 (予定含む)	¥17,504	33.7%	¥26,694	51.3%	¥9,325	17.9%	¥17,810	34.3%
子どもに限定しない 家庭の日常生活費 (予定含む)	¥9,663	18.6%	¥6,775	13.0%	-	-	¥9,527	18.3%
子どもの将来のための 貯蓄・保険料	¥6,784	13.0%	¥2,829	5.4%	¥11,400	21.9%	¥6,656	12.8%
子どもの生活費 (予定含む)	¥6,339	12.2%	¥5,047	9.7%	¥15,625	30.0%	¥6,322	12.2%
子どものおこづかいや遊興費 (予定含む)	¥3,320	6.4%	¥2,341	4.5%	¥50	0.1%	¥3,274	6.3%
子どものためとは限定しない 貯蓄・保険料	¥775	1.5%	¥703	1.4%	-	-	¥770	1.5%
大人のおこづかいや遊興費 (予定含む)	¥226	0.4%	¥234	0.5%	-	-	¥226	0.4%
わからない・ 使い道をまだ決めていない	¥6,531	12.6%	¥6,441	12.4%	¥15,600	30.0%	¥6,557	12.6%
その他 (予定含む)	¥857	1.6%	¥937	1.8%	-	-	¥857	1.6%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%



## ● 中学生

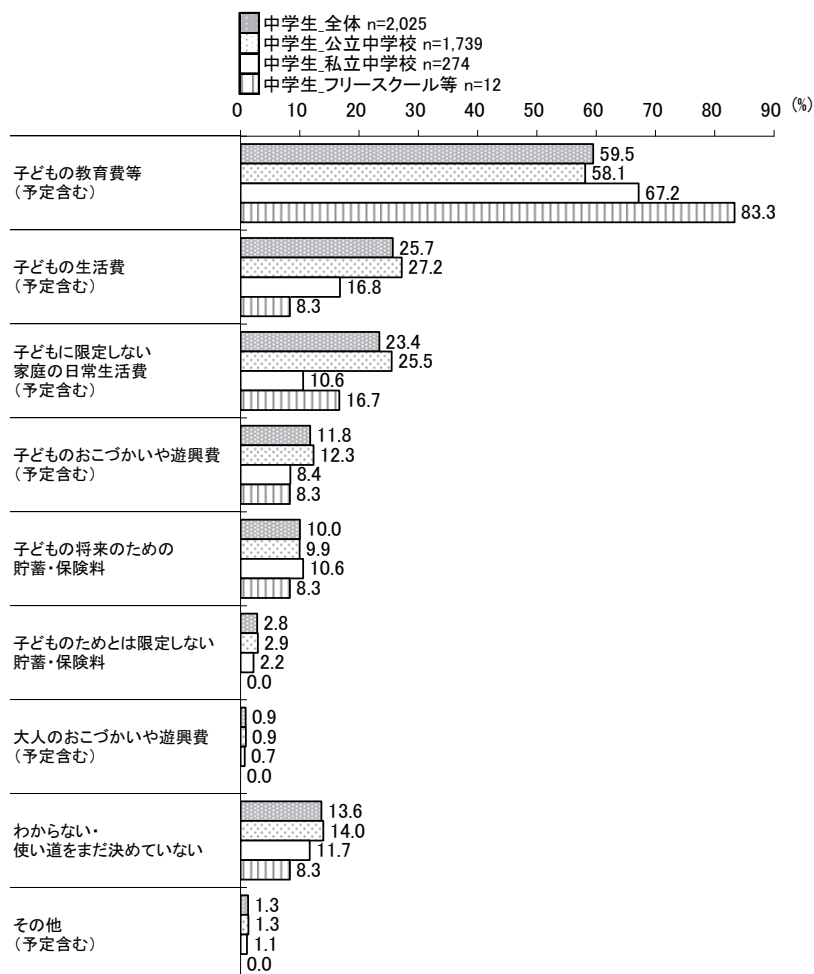
中学生（2,025 サンプル）の状況をみると、子ども手当の使途（予定含む）として、公立中学校及び私立中学校に通っている人では「子どもの教育費等（予定含む）」と回答した人が最も多くなっており、次いで「子どもの生活費（予定含む）」が続いている。

公立中学校と私立中学校を比較すると、公立中学校の方が高いのは「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」（14.9 ポイント差）、「子どもの生活費（予定含む）」（10.4 ポイント差）、「子どものおこづかいや遊興費」（3.9 ポイント差）の3項目となっているのに対して、私立中学校の方が高いのは「子どもの教育費等（予定含む）」（9.1 ポイント差）の1項目のみである。フリースクール等に通っている人については、サンプル数が12 サンプルと僅少のため参考値ではあるが、「子どもの教育費等（予定含む）」が83.3%で私立中学校より16.1 ポイント高くなっている。

使途別、通学・通所区分別の平均使用（予定）金額（満額支給者）をみってみる。

フリースクール等に通っている人については、サンプル数が12 サンプルと僅少なため参考値ではあるが、いずれの属性についても「子どもの教育費（予定含む）」が最も高く、公立中学校では23,885 円、45.9%、私立中学校では32,047 円、61.6%、フリースクール等では39,556 円、76.1%となっている。私立中学校の方が公立中学校よりも金額で8,162 円、ポイント差で15.7 ポイント高くなっている。公立中学校では「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」（9,321 円、17.9%）、「わからない・使い道をまだ決めていない」（5,484 円、10.5%）と続いている。私立中学校では「わからない・まだ使い道を決めていない」（4,859 円、9.3%）、「子どもに限定しない日常生活費（予定含む）」（4,691 円、9.0%）と続いている。

・通学・通所区別子ども手当の使途（予定含む）\_中学生



・通学・通所区別子ども手当の使用金額（予定含む）\_中学生

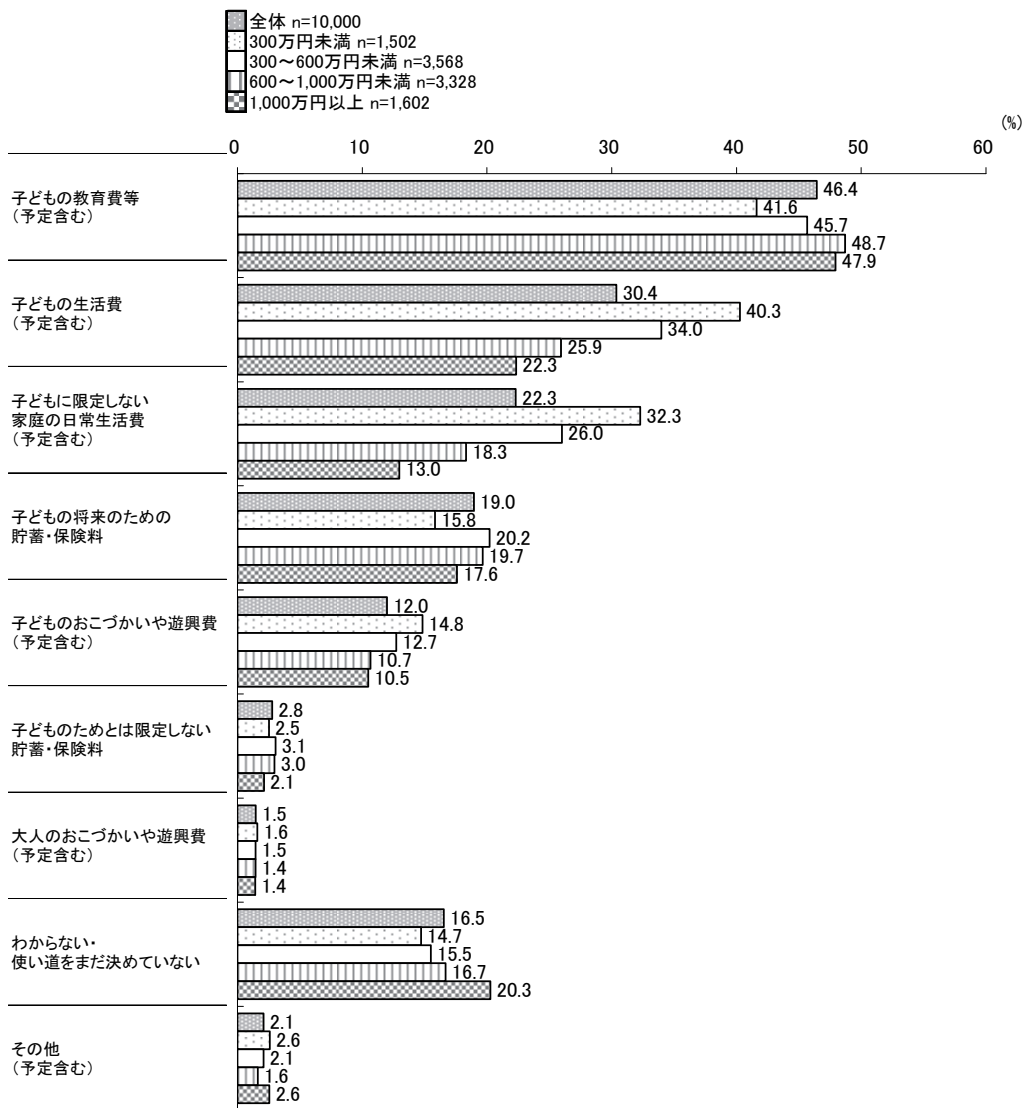
	中学生 公立中学校		中学生 私立中学校		中学生 フリースクール等		中学生 平均金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
子どもの教育費等 (予定含む)	¥23,885	45.9%	¥32,047	61.6%	¥39,556	76.1%	¥24,998	48.1%
子どもに限定しない家庭の日常生活費 (予定含む)	¥9,321	17.9%	¥4,691	9.0%	¥5,778	11.1%	¥8,721	16.8%
子どもの生活費 (予定含む)	¥5,368	10.3%	¥3,131	6.0%	¥5,556	10.7%	¥5,089	9.8%
子どもの将来のための貯蓄・保険料	¥3,869	7.4%	¥3,646	7.0%	-	-	¥3,818	7.3%
子どものおこづかいや遊興費 (予定含む)	¥2,225	4.3%	¥2,114	4.1%	¥1,111	2.1%	¥2,204	4.2%
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	¥1,046	2.0%	¥670	1.3%	-	-	¥992	1.9%
大人のおこづかいや遊興費 (予定含む)	¥157	0.3%	¥298	0.6%	-	-	¥174	0.3%
わからない・使い道をまだ決めていない	¥5,484	10.5%	¥4,859	9.3%	-	-	¥5,374	10.3%
その他 (予定含む)	¥645	1.2%	¥545	1.0%	-	-	¥629	1.2%
全体	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%	¥52,000	100.0%

### ③ 世帯年収階級別\_使途（予定含む）

世帯年収階級別に、子ども手当の使途（予定含む）の状況を見ると、「子どもの生活費（予定含む）」、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」、「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」では、世帯年収が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。一方で、「子どもの教育費等（予定含む）」では、世帯年収が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」や「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、いずれの属性においても約3%以下と低い割合となっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の割合は、世帯年収が高くなるほど割合が高くなっている。

図表Ⅱ-5-73 世帯年収階級別の子ども手当の使途（予定含む）（複数回答）



世帯年収階級別に、子ども手当の使途（予定含む）別の使用金額（満額(52,000 円)支給を受けた者ベースの平均) をみると、全ての属性において「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっている。いずれの属性でも 14,000 円以上だが、世帯年収が高くなるほど金額も高くなる傾向がみられる。特に年収 600 万円以上の世帯では平均 19,700 円前後と高い金額となっている。一方で、「子どもの生活費（予定含む）」と「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」では、世帯年収が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。

「わからない・使い道をまだ決めていない」では、世帯年収が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-79 世帯年収階級別の子ども手当の使用金額（予定含む）

・金額割合、平均金額の 母数は子ども手当支給者	5 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 円 未 満	2 1 0 0 0 0 円 未 満	3 2 0 0 0 0 円 未 満	5 3 0 0 0 0 円 未 満	5 5 2 0 0 0 円 未 満	5 2 0 0 0 0 円	平均金額		※平均金額 支給額を 受けた者 (52000円)		
								金額	構成比	金額	構成比	
全体:n=10,000 300万円未満:n=1,502 300~600万円未満:n=3,568 600~1,000万円未満:n=3,328 1,000万円以上:n=1,602												
・子どもの教育費等(予定含む)	回答者数											
0 全体	4,643	1.5	2.2	8.5	7.2	9.8	1.0	16.2	¥15,429	34.3%	¥17,878	34.4%
1 300万円未満	625	2.1	3.1	8.9	7.1	8.5	0.9	11.0	¥12,347	27.7%	¥14,612	28.1%
2 300~600万円未満	1,629	1.4	2.6	8.4	7.5	10.5	1.0	14.2	¥14,697	32.3%	¥16,846	32.4%
3 600~1,000万円未満	1,621	1.2	1.7	8.4	7.3	10.1	1.0	19.0	¥16,923	37.5%	¥19,625	37.7%
4 1,000万円以上	768	1.7	1.4	8.5	6.5	9.2	1.1	19.6	¥16,844	38.0%	¥19,755	38.0%
・子どもの生活費(予定含む)												
0 全体	3,038	3.2	3.6	10.3	5.8	4.2	0.2	3.1	¥5,975	13.3%	¥6,634	12.8%
1 300万円未満	605	4.3	4.9	13.4	7.1	5.9	0.3	4.4	¥8,103	18.2%	¥9,117	17.5%
2 300~600万円未満	1,212	3.3	4.1	11.8	6.6	4.8	0.2	3.3	¥6,642	14.6%	¥7,430	14.3%
3 600~1,000万円未満	863	2.8	3.2	8.7	5.2	3.4	0.2	2.6	¥5,023	11.1%	¥5,372	10.3%
4 1,000万円以上	358	3.1	2.4	7.2	3.8	2.8	0.4	2.6	¥4,475	10.1%	¥5,039	9.7%
・子どもに限定しない家庭の日常生活費(予定含む)												
0 全体	2,231	1.5	1.2	4.5	3.5	4.0	0.2	7.5	¥6,923	15.4%	¥8,282	15.9%
1 300万円未満	485	2.0	1.7	6.9	4.5	6.7	0.3	10.3	¥10,031	22.5%	¥11,984	23.0%
2 300~600万円未満	928	1.6	1.3	5.3	4.3	5.0	0.2	8.3	¥7,988	17.6%	¥9,440	18.2%
3 600~1,000万円未満	610	1.1	1.2	3.6	2.9	2.9	0.2	6.4	¥5,745	12.7%	¥6,901	13.3%
4 1,000万円以上	208	1.5	0.4	2.1	2.1	1.8	0.1	5.0	¥4,086	9.2%	¥4,887	9.4%
・子どもの将来のための貯蓄・保険料												
0 全体	1,895	1.2	0.9	3.1	1.9	2.2	0.4	9.3	¥6,747	15.0%	¥7,936	15.3%
1 300万円未満	238	1.5	0.9	2.8	2.0	1.9	0.4	6.3	¥5,077	11.4%	¥5,912	11.4%
2 300~600万円未満	721	1.3	1.2	3.5	2.0	2.4	0.4	9.3	¥6,972	15.3%	¥8,088	15.6%
3 600~1,000万円未満	654	1.1	0.8	2.9	1.7	2.2	0.3	10.8	¥7,386	16.4%	¥8,820	17.0%
4 1,000万円以上	282	0.9	0.4	2.9	2.1	2.0	0.5	8.8	¥6,489	14.7%	¥7,644	14.7%
・子どものおこづかいや遊興費(予定含む)												
0 全体	1,200	2.6	2.0	3.5	1.5	1.2	0.1	1.2	¥1,970	4.4%	¥2,372	4.6%
1 300万円未満	223	4.1	2.7	4.3	1.4	1.1	-	1.2	¥2,046	4.6%	¥2,569	4.9%
2 300~600万円未満	454	2.8	2.4	3.9	1.7	0.9	0.0	0.9	¥1,816	4.0%	¥2,161	4.2%
3 600~1,000万円未満	355	2.1	1.5	3.1	1.4	1.3	0.1	1.2	¥1,950	4.3%	¥2,328	4.5%
4 1,000万円以上	168	1.9	1.2	2.6	1.3	1.5	0.1	1.9	¥2,286	5.2%	¥2,779	5.3%
・子どものためとは限定しない貯蓄・保険料												
0 全体	280	0.4	0.3	0.7	0.3	0.2	0.1	0.8	¥706	1.6%	¥805	1.5%
1 300万円未満	38	0.4	0.3	0.4	0.4	0.1	0.1	0.8	¥649	1.5%	¥784	1.5%
2 300~600万円未満	109	0.4	0.4	0.8	0.4	0.2	0.0	0.8	¥719	1.6%	¥773	1.5%
3 600~1,000万円未満	99	0.5	0.3	0.8	0.3	0.3	0.0	0.8	¥724	1.6%	¥806	1.6%
4 1,000万円以上	34	0.4	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.9	¥695	1.6%	¥900	1.7%
・大人のおこづかいや遊興費(予定含む)												
0 全体	147	0.4	0.2	0.5	0.1	0.1	0.0	0.2	¥219	0.5%	¥238	0.5%
1 300万円未満	24	0.4	0.3	0.7	0.1	0.1	-	0.1	¥170	0.4%	¥198	0.4%
2 300~600万円未満	52	0.4	0.1	0.5	0.1	0.1	-	0.2	¥241	0.5%	¥257	0.5%
3 600~1,000万円未満	48	0.4	0.3	0.4	0.1	0.2	0.0	0.1	¥191	0.4%	¥207	0.4%
4 1,000万円以上	23	0.3	0.1	0.4	0.2	0.1	-	0.2	¥275	0.6%	¥298	0.6%
・わからない、使い道をまだ決めていない												
0 全体	1,654	0.9	0.4	2.7	1.7	1.8	0.1	8.9	¥6,207	13.8%	¥6,893	13.3%
1 300万円未満	221	1.1	0.6	3.5	1.3	1.6	-	6.6	¥4,918	11.1%	¥5,419	10.4%
2 300~600万円未満	553	1.1	0.4	2.6	1.5	1.8	0.2	7.8	¥5,614	12.4%	¥6,161	11.8%
3 600~1,000万円未満	555	0.6	0.3	2.3	1.9	2.1	0.1	9.3	¥6,505	14.4%	¥7,143	13.7%
4 1,000万円以上	325	0.6	0.4	2.9	2.2	1.4	0.1	12.6	¥8,118	18.3%	¥9,539	18.3%
・その他(予定含む)												
0 全体	209	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.0	1.2	¥830	1.8%	¥961	1.8%
1 300万円未満	39	0.1	-	0.1	0.2	0.6	0.1	1.6	¥1,154	2.6%	¥1,405	2.7%
2 300~600万円未満	75	0.1	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1	1.0	¥761	1.7%	¥844	1.6%
3 600~1,000万円未満	54	-	0.0	0.2	0.2	0.2	-	1.0	¥672	1.5%	¥797	1.5%
4 1,000万円以上	41	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.1	1.4	¥1,008	2.3%	¥1,158	2.2%
合計平均金額(世帯年収階級別)												
0	全体								¥45,007	100.0%	¥52,000	100.0%
1	300万円未満								¥44,495	100.0%	¥52,000	100.0%
2	300~600万円未満								¥45,450	100.0%	¥52,000	100.0%
3	600~1,000万円未満								¥45,119	100.0%	¥52,000	100.0%
4	1,000万円以上								¥44,276	100.0%	¥52,000	100.0%

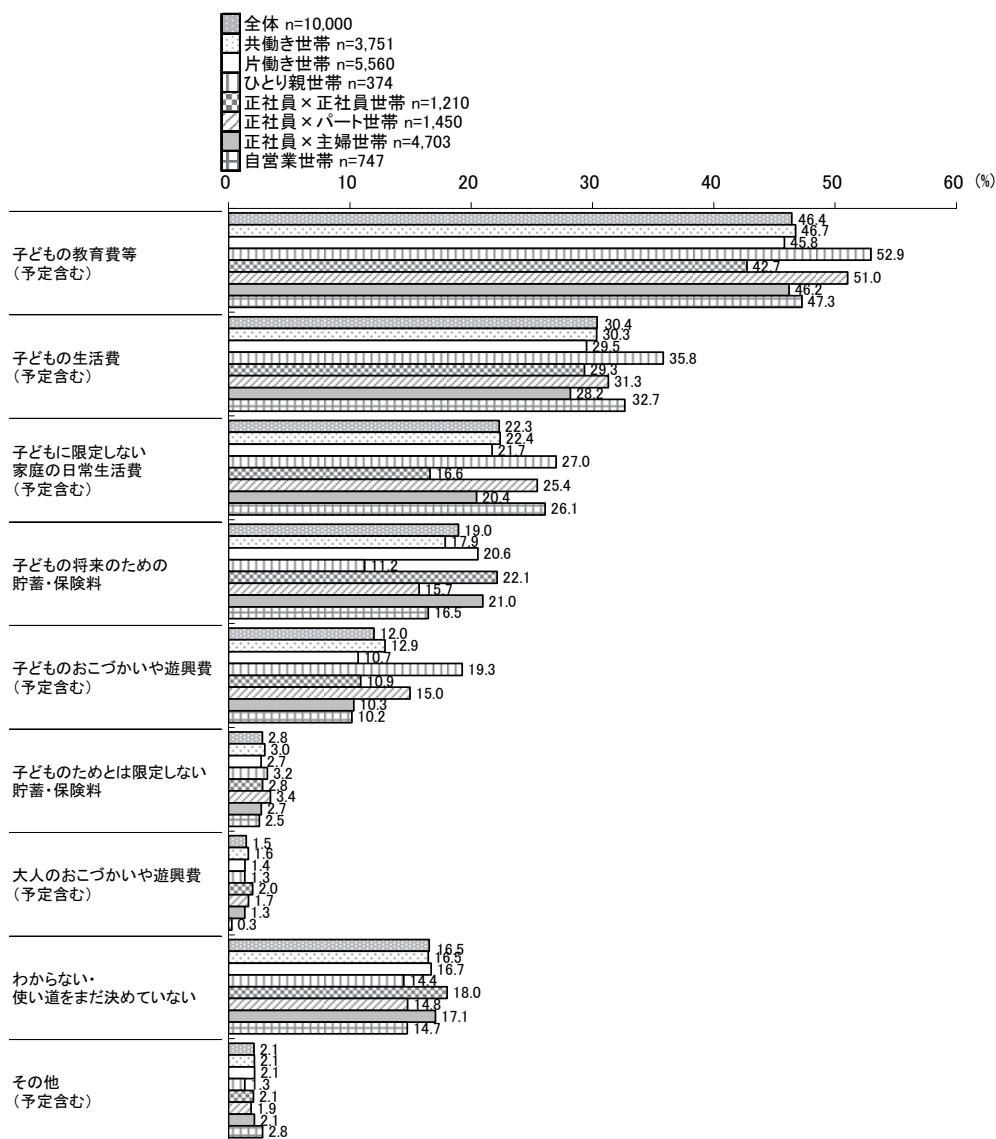
#### ④ 世帯構成別\_使途（予定含む）

共働き、片働き、ひとり親世帯で子ども手当の使途を比較すると、「子どもの教育費等（予定含む）」「子どもの生活費（予定含む）」「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」の4項目においてひとり親世帯の割合が最も高い。

両親の職業の組合せで比較すると、「子どもの教育費等（予定含む）」「子どもの生活費（予定含む）」「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」では、正社員×パート世帯と自営業世帯が平均以上の割合となっている。「子どもの将来のための貯蓄・保険料」では、正社員×正社員世帯と正社員×主婦世帯が平均以上の割合となっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の回答割合をみると、共働き世帯・片働き世帯はひとり親世帯よりも高くなっている。また、正社員×正社員世帯・正社員×主婦世帯も、他の属性よりも高くなっている。

図表Ⅱ-5-75 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）（複数回答）



世帯構成別に、子ども手当の使途（予定含む）別の使用金額（満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、全ての属性において「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっている。平均金額をみると、いずれの属性でも約 17,000 円以上だが、ひとり親世帯（19,872 円）では特に高い金額となっている。

共働き世帯と片働き世帯では使用傾向にあまり差がなく、教育費に次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」や「子どもの将来のための貯蓄・保険料」に平均 7,400～8,700 円弱を使用している。一方で、ひとり親世帯では「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」や「子どもの生活費（予定含む）」に平均 8,200～8,700 円強を使用しているが、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は平均 3,759 円にとどまっている。

両親の職業の組合せで比較すると、正社員×正社員世帯と正社員×主婦世帯では、教育費に次いで「子どもの将来のための貯蓄・保険料」に平均 8,900～9,700 円弱を使用している。一方で、正社員×パート世帯と自営業世帯では「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」に平均 9,500～11,200 円強を使用している。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の割合をみると、共働き世帯・片働き世帯及び正社員×正社員世帯・正社員×主婦世帯では平均 7,000 円前後の金額について使途を決めていないのに対し、ひとり親世帯及び正社員×パート世帯と自営業世帯では平均 5,400～6,200 円弱にとどまっている。

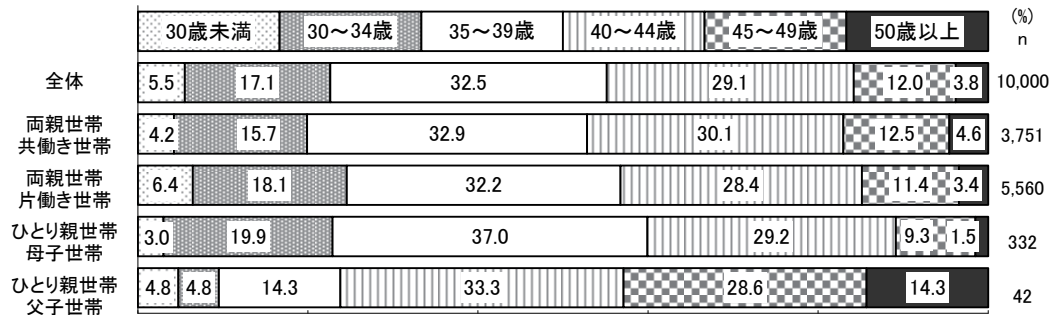




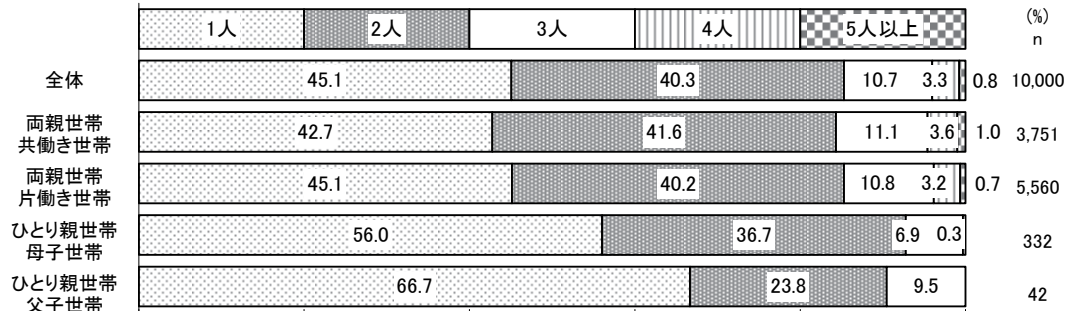
**【参考:ひとり親世帯の属性】**

ひとり親世帯（母子世帯、父子世帯）の属性は、以下のとおりとなっている。

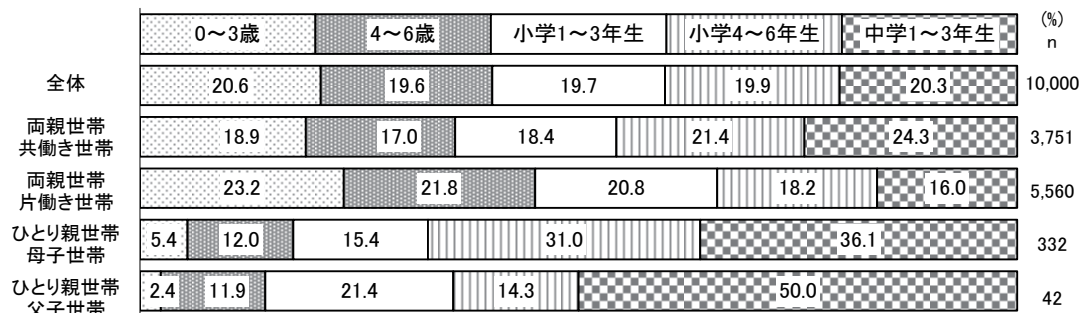
・ 回答者の年齢



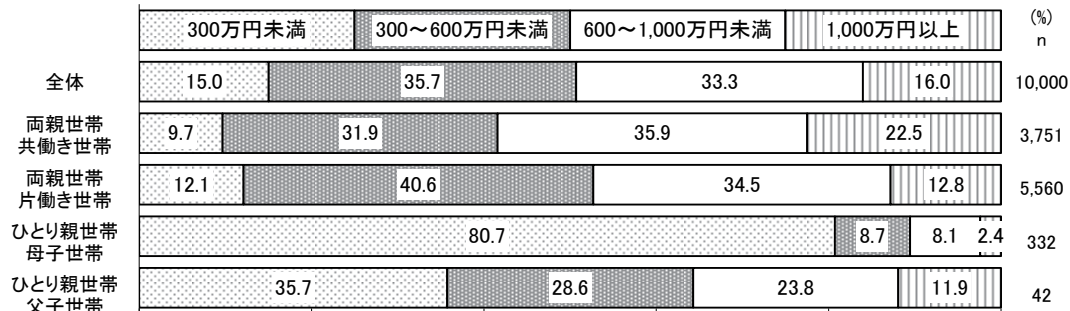
・ 子どもの人数



・ 長子学齢



・ 世帯年収



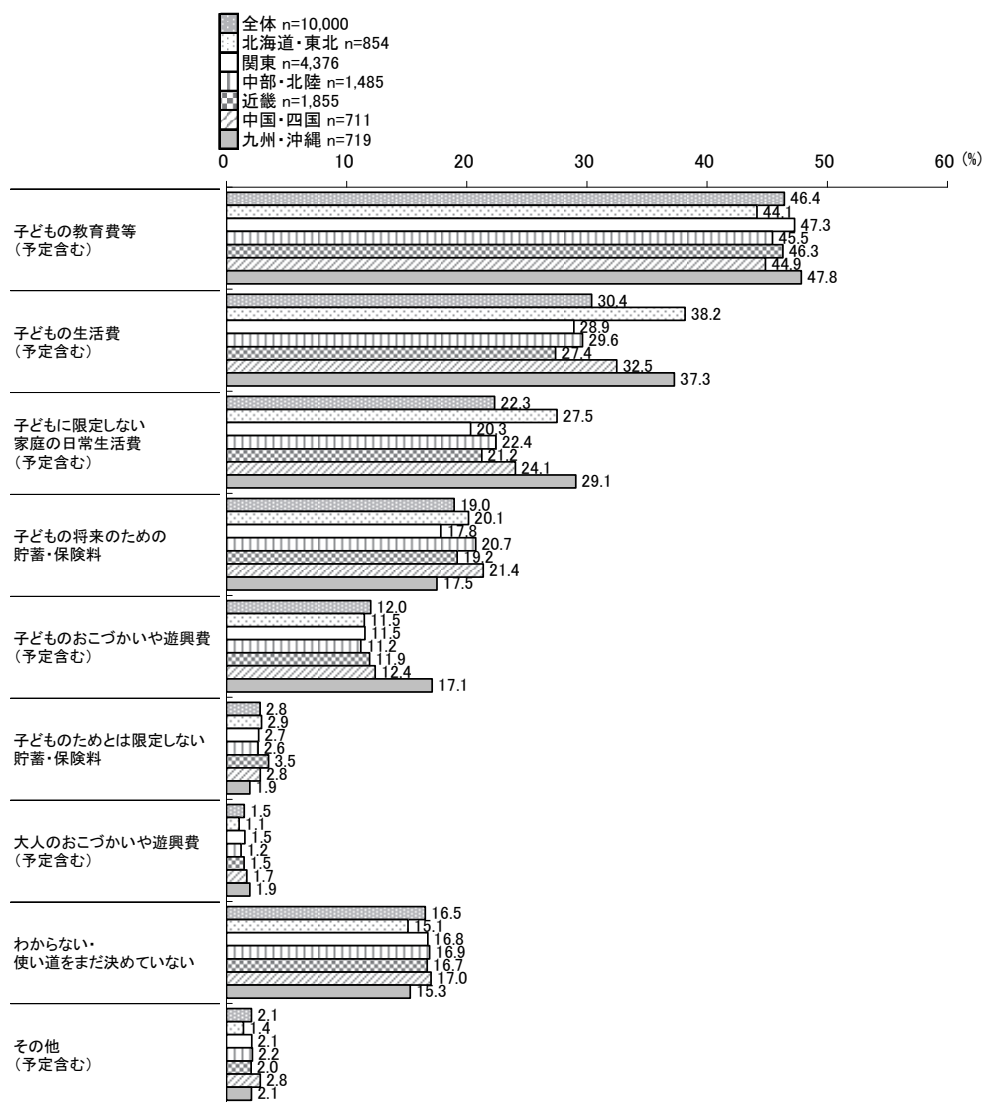
### ⑤ 居住地域別\_使途（予定含む）

居住地域別に、子ども手当の使途（予定含む）の状況を見ると、いずれの地域でも「子どもの教育費等（予定含む）」の割合が最も高くなっている。特に、九州・沖縄（47.8%）と関東（47.3%）は平均以上の割合となっている。「子どもの生活費（予定含む）」と「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」では、北海道・東北と九州・沖縄は平均よりも5ポイント以上高く、関東と近畿は平均よりも1～3ポイント以上低くなっている。「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」では九州・沖縄が17.1%と、平均よりも5.1ポイント高い割合となっている。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」では、中国・四国が21.4%で最も高く、関東（17.8%）と九州・沖縄（17.5%）は平均以下の割合となっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の割合は、北海道・東北と九州・沖縄が約15%であり、その他の地域では約17%となっている。

図表Ⅱ-5-77 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）（複数回答）



居住地域別に、子ども手当の使途（予定含む）別の使用金額（満額(52,000円)支給を受けた者ベースの平均）をみると、全ての属性において「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっている。平均金額をみると、最も高いのは関東の 18,826 円で、最も低いのは北海道・東北の 15,881 円となっている。

また、北海道・東北と九州・沖縄では、教育費に次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」(9,419円・10,861円)、「子どもの生活費（予定含む）」(平均 8,956円・8,417円)が高くなっている。一方でその他の地域では、教育費の次に高いのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（平均 7,500～9,100円程度）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」(平均 7,600～8,500円程度)を使用している。

「わからない・使い道をまだ決めていない」では、最も高いのは近畿の 7,241 円で、最も低いのは九州・沖縄の 5,557 円となっている。

